

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 資料編

中 間 市

水 巻 町

岡 垣 町

芦 屋 町

遠 賀 町

遠賀・中間地域広域行政事務組合

令和5年3月

目 次

資料 1. 人口及びごみ排出量等の実績	1
1) 人口及びごみ排出量	
2) 再生利用量・リサイクル率	
3) 最終処分量	
資料 2. 人口の将来予測	20
1) 人口の将来予測手法	
2) 人口の将来予測結果	
資料 3. ごみ排出量の将来予測	23
1) 概要	
2) 将来予測の手法	
3) 予測を行うごみ区分とごみ量単位	
4) 構成市町毎のごみ排出量実績及び予測値	
資料 4. ごみ減量化等の数値目標	57
1) 国・県等の一般廃棄物減量化目標	
2) 組合地域における数値目標	
3) 削減目標を達成した場合のごみ排出量の推移	
4) 収集運搬量の見込み	
5) 中間処理量の見込み	
6) 資源化量の見込み	
7) 最終処分量の見込み	
8) 目標達成時のごみ排出量等のまとめ	

資料 1. 人口及びごみ排出量等の実績

構成市町（中間市、水巻町、岡垣町、芦屋町、遠賀町）の人口、ごみ排出量、資源化量及び最終処分量の実績を整理すると、次のとおりとなります。なお、表中の数値については四捨五入の関係上、合計値と個々の値の計が一致しない場合があります。

1) 人口及びごみ排出量

組合全体及び構成市町における平成 29 年度から令和 3 年度にかけての人口、ごみ排出量、1 人 1 日当たりごみ排出量の実績は次のとおりです。

(1) 組合全体

組合全体におけるごみの総排出量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、集団回収の合計）は、概ね横ばいで推移しています。

令和3年度では41,001tのごみが排出されており、1人1日当たりに換算すると、846g/人・日のごみが排出されたことになります。また、全国平均値の901g/人・日（令和2年度実績）と比較すると、6%程度少なくなっています。

表1-1 ごみ排出量の推移（組合全体）

区分	H29	H30	R1	R2	R3
総人口	137,090	135,590	134,747	133,763	132,707
(人)					
計画収集人口	137,090	135,590	134,747	133,763	132,707
自家処理人口	0	0	0	0	0
ごみ総排出量 (t/年)					
計画収集	34,943	34,745	35,181	34,832	34,064
直接搬入	3,708	4,064	4,244	4,691	4,414
集団回収	3,413	3,150	2,980	2,475	2,523
計	42,064	41,959	42,405	41,998	41,001
生活系ごみ	30,580	30,000	30,594	30,966	29,648
事業系ごみ	11,484	11,959	11,811	11,032	11,353
種類別 (t/年)					
可燃ごみ	33,636	33,411	33,865	33,331	32,568
不燃ごみ	939	974	959	1,060	969
粗大ごみ	1,761	2,115	2,258	2,761	2,588
資源ごみ	2,315	2,309	2,343	2,371	2,353
集団回収	3,413	3,150	2,980	2,475	2,523
1人1日当たりごみ排出量 (g/人・日)	840	849	860	862	846
可燃ごみ	672	675	687	683	672
不燃ごみ	19	20	19	22	20
粗大ごみ	35	43	46	57	53
資源ごみ	46	47	48	49	49
集団回収	68	64	60	51	52

出典：組合資料(R3 実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2 実績)

備考：1人1日当たりごみ排出量＝ごみ総排出量（計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量）
 $\div 365(366)$ 日 $\div$ 計画収集人口 $\times 10^6$

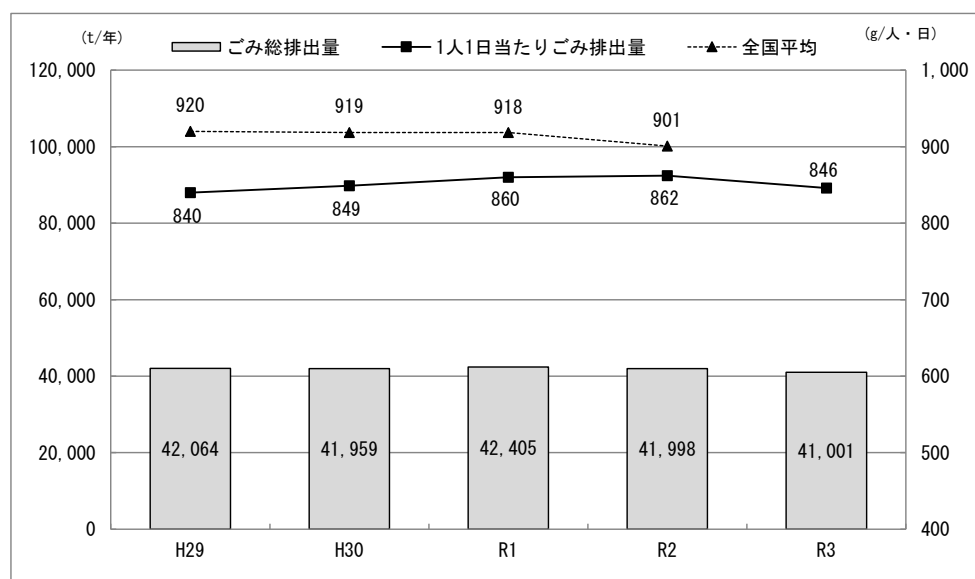


図1-1 ごみ排出量の推移（組合全体）

(2) 中間市

中間市におけるごみの総排出量(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、集団回収の合計)は、概ね横ばいで推移しており、令和3年度は12,322tのごみが排出されています。1人1日当たりに換算すると、834g/人・日のごみが排出されたことになり、全国平均値の901g/人・日(令和2年度実績)と比較すると、7%程度少なくなっています。

表1-2 ごみ排出量の推移(中間市)

区分		H29	H30	R1	R2	R3
総人口 (人)		42,563	41,785	41,574	41,161	40,478
	計画収集人口	42,563	41,785	41,574	41,161	40,478
	自家処理人口	0	0	0	0	0
ごみ 総排出量 (t/年)	計画収集	11,062	10,979	10,964	10,801	10,479
	直接搬入	702	847	925	1,024	1,004
	集団回収	1,160	1,082	1,084	841	839
	計	12,924	12,908	12,973	12,666	12,322
	生活系ごみ	9,627	9,462	9,575	9,538	9,085
	事業系ごみ	3,297	3,446	3,398	3,128	3,237
種類別 (t/年)	可燃ごみ	10,360	10,308	10,359	10,150	9,858
	不燃ごみ	277	299	291	318	295
	粗大ごみ	388	485	502	631	629
	資源ごみ	739	734	737	726	701
	集団回収	1,160	1,082	1,084	841	839
	1人1日当たりごみ排出量 (g/人・日)	833	847	852	843	834
	可燃ごみ	667	676	681	676	667
	不燃ごみ	18	20	19	21	20
	粗大ごみ	25	32	33	42	43
	資源ごみ	48	48	48	48	47
	集団回収	75	71	71	56	57

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

備考：1人1日当たりごみ排出量＝ごみ総排出量(計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量)
 $\div 365(366) \text{ 日} \div \text{計画収集人口} \times 10^6$

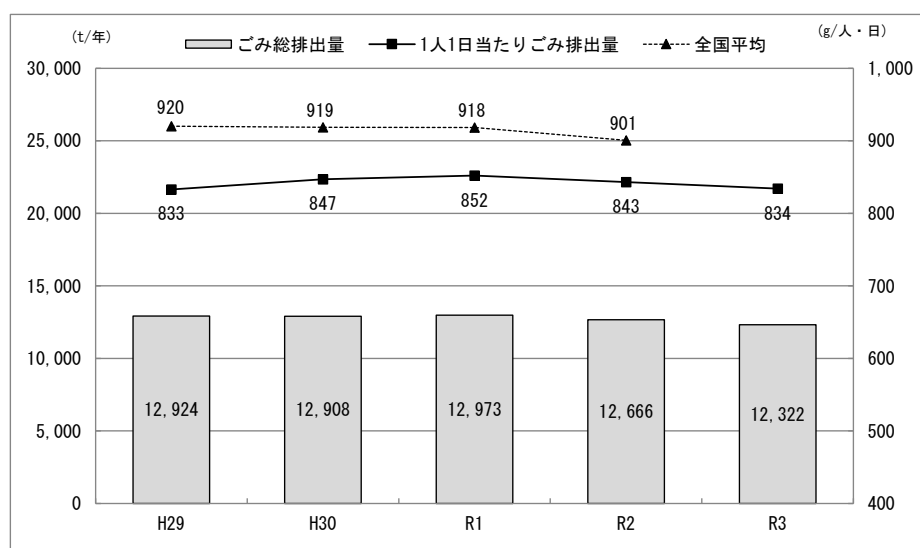


図1-2 ごみ排出量の推移(中間市)

(3) 水巻町

水巻町におけるごみの総排出量(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、集団回収の合計)は、概ね横ばいで推移しており、令和3年度は8,908 tのごみが排出されています。1人1日当たりに換算すると、876g/人・日のごみが排出されたことになり、全国平均値の901g/人・日(令和2年度実績)と比較すると、3%程度少なくなっています。

表 1-3 ごみ排出量の推移(水巻町)

区分		H29	H30	R1	R2	R3
総人口 (人)		28,898	28,612	28,205	28,030	27,893
	計画収集人口	28,898	28,612	28,205	28,030	27,893
	自家処理人口	0	0	0	0	0
ごみ 総排出量 (t/年)	計画収集	7,688	7,604	7,773	7,877	7,734
	直接搬入	808	877	837	867	779
	集団回収	583	526	468	301	395
	計	9,079	9,007	9,078	9,045	8,908
	生活系ごみ	6,356	6,193	6,370	6,460	6,299
	事業系ごみ	2,723	2,814	2,708	2,585	2,609
種類別 (t/年)	可燃ごみ	7,494	7,414	7,519	7,498	7,320
	不燃ごみ	195	204	199	221	193
	粗大ごみ	314	367	381	489	455
	資源ごみ	493	496	511	536	545
	集団回収	583	526	468	301	395
	1人1日当たりごみ排出量 (g/人・日)	860	862	879	884	876
	可燃ごみ	710	710	728	733	719
	不燃ごみ	18	20	19	22	19
	粗大ごみ	30	35	37	48	45
	資源ごみ	47	47	50	52	54
	集団回収	55	50	45	29	39

出典：組合資料(R3 実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29~R2 実績)

備考：1人1日当たりごみ排出量＝ごみ総排出量(計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量)
 $\div 365(366) \text{ 日} \div \text{計画収集人口} \times 10^6$

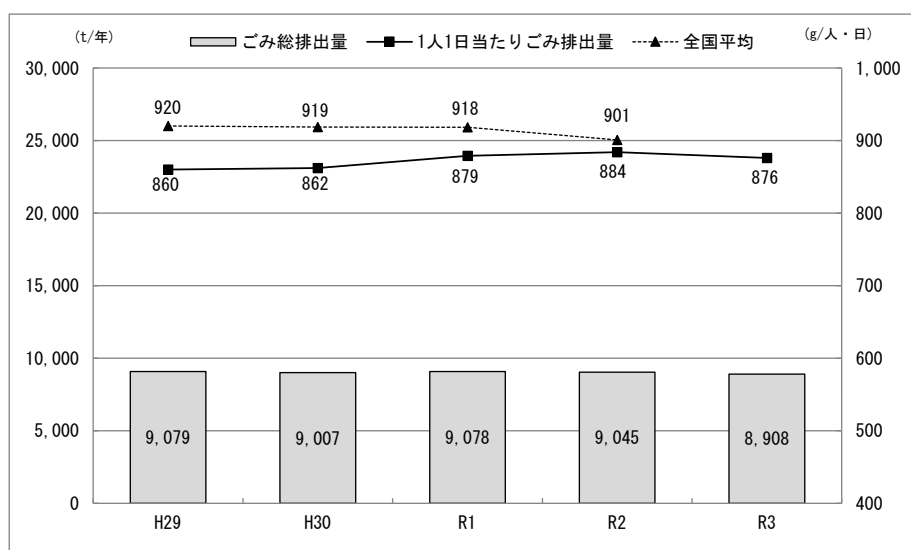


図 1-3 ごみ排出量の推移(水巻町)

(4) 岡垣町

岡垣町におけるごみの総排出量(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、集団回収の合計)は、概ね横ばいで推移しており、令和3年度は9,451tのごみが排出されています。1人1日当たりに換算すると、819g/人・日のごみが排出されたことになり、全国平均値の901g/人・日(令和2年度実績)と比較すると、9%程度少なくなっています。

表1-4 ごみ排出量の推移(岡垣町)

区分		H29	H30	R1	R2	R3
総人口 (人)	計画収集人口	32,049	31,805	31,699	31,644	31,598
	自家処理人口	0	0	0	0	0
ごみ 総排出量 (t/年)	計画収集	7,599	7,610	7,772	7,648	7,469
	直接搬入	1,174	1,182	1,258	1,459	1,355
	集団回収	793	719	658	620	627
	計	9,566	9,511	9,688	9,727	9,451
種類別 (t/年)	生活系ごみ	6,904	6,791	6,970	7,129	6,798
	事業系ごみ	2,662	2,720	2,718	2,598	2,653
	可燃ごみ	7,487	7,419	7,615	7,507	7,305
	不燃ごみ	219	221	222	246	232
	粗大ごみ	536	626	665	824	759
	資源ごみ	531	526	528	530	528
	集団回収	793	719	658	620	627
	1人1日当たりごみ排出量	818	819	835	842	819
(g/人・日)	可燃ごみ	640	639	656	650	633
	不燃ごみ	19	19	19	21	20
	粗大ごみ	46	54	57	71	66
	資源ごみ	45	45	46	46	46
	集団回収	68	62	57	54	54

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

備考：1人1日当たりごみ排出量＝ごみ総排出量(計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量)
 $\div 365(366) \text{ 日} \div \text{計画収集人口} \times 10^6$

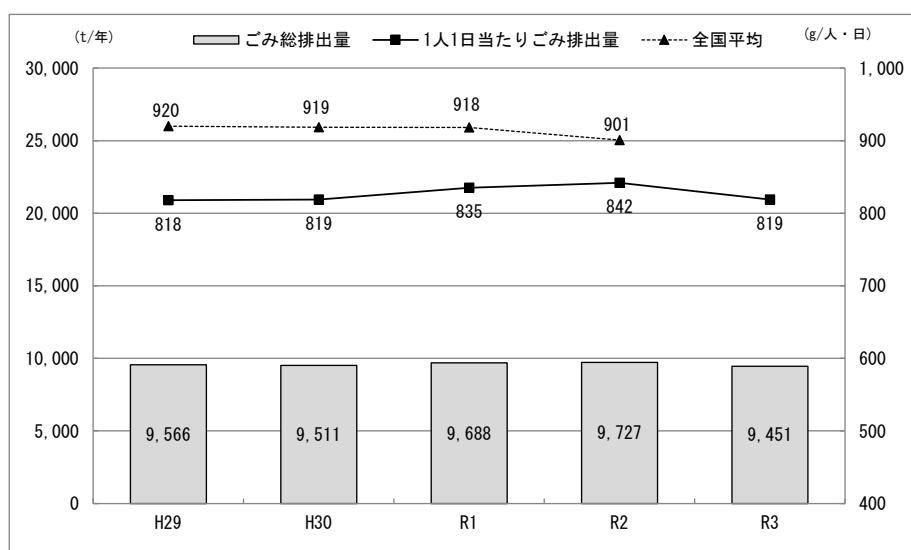


図1-4 ごみ排出量の推移(岡垣町)

(5) 芦屋町

芦屋町におけるごみの総排出量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、集団回収の合計）は、やや減少傾向にあり、令和3年度は3,977tのごみが排出されています。1人1日当たりに換算すると、808g/人・日のごみが排出されたことになり、全国平均値の901g/人・日（令和2年度実績）と比較すると、10%程度少なくなっています。

表1-5 ごみ排出量の推移（芦屋町）

区分		H29	H30	R1	R2	R3
総人口 (人)		14,260	14,064	13,905	13,752	13,500
	計画収集人口	14,260	14,064	13,905	13,752	13,500
	自家処理人口	0	0	0	0	0
ごみ 総排出量 (t/年)	計画収集	3,518	3,459	3,462	3,393	3,294
	直接搬入	334	423	420	438	422
	集団回収	390	354	323	299	261
	計	4,242	4,236	4,205	4,130	3,977
	生活系ごみ	3,113	3,032	3,058	3,101	2,917
種類別 (t/年)	事業系ごみ	1,129	1,204	1,147	1,029	1,060
	可燃ごみ	3,343	3,326	3,298	3,204	3,112
	不燃ごみ	103	106	104	120	107
	粗大ごみ	185	230	256	277	271
	資源ごみ	221	220	224	230	226
1人1日当たりごみ排出量 (g/人・日)	集団回収	390	354	323	299	261
		815	826	825	823	808
	可燃ごみ	642	648	648	638	632
	不燃ごみ	20	21	20	24	22
	粗大ごみ	36	45	50	55	55
	資源ごみ	42	43	44	46	46
	集団回収	75	69	63	60	53

出典：組合資料（R3実績）、環境省一般廃棄物処理実態調査（H29～R2実績）

備考：1人1日当たりごみ排出量＝ごみ総排出量（計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量）
 $\div 365(366)$ 日 $\div$ 計画収集人口 $\times 10^6$

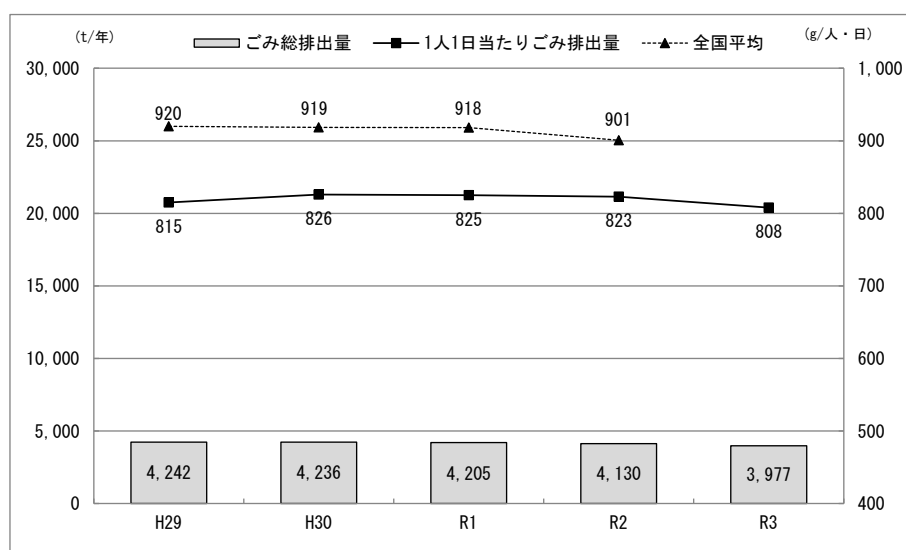


図1-5 ごみ排出量の推移（芦屋町）

(6) 遠賀町

遠賀町におけるごみの総排出量(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ、集団回収の合計)は、概ね横ばいで推移しており、令和3年度は6,343 tのごみが排出されています。1人1日当たりに換算すると、903g/人・日のごみが排出されたことになり、全国平均値の901g/人・日(令和2年度実績)と比較すると、0.2%程度多くなっています。

表1-6 ごみ排出量の推移(遠賀町)

区分		H29	H30	R1	R2	R3
総人口 (人)		19,320	19,324	19,364	19,176	19,238
	計画収集人口	19,320	19,324	19,364	19,176	19,238
	自家処理人口	0	0	0	0	0
ごみ 総排出量 (t/年)	計画収集	5,076	5,093	5,210	5,113	5,088
	直接搬入	690	735	804	903	854
	集団回収	487	469	447	414	401
	計	6,253	6,297	6,461	6,430	6,343
	生活系ごみ	4,580	4,522	4,621	4,738	4,549
	事業系ごみ	1,673	1,775	1,840	1,692	1,794
種類別 (t/年)	可燃ごみ	4,952	4,944	5,074	4,972	4,973
	不燃ごみ	145	144	143	155	142
	粗大ごみ	338	407	454	540	474
	資源ごみ	331	333	343	349	353
	集団回収	487	469	447	414	401
1人1日当たりごみ排出量 (g/人・日)		887	892	911	918	903
	可燃ごみ	702	701	716	710	708
	不燃ごみ	21	20	20	22	20
	粗大ごみ	48	58	64	77	68
	資源ごみ	47	47	48	50	50
	集団回収	69	66	63	59	57

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

備考：1人1日当たりごみ排出量＝ごみ総排出量(計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量)
 $\div 365(366)$ 日 $\div$ 計画収集人口 $\times 10^6$

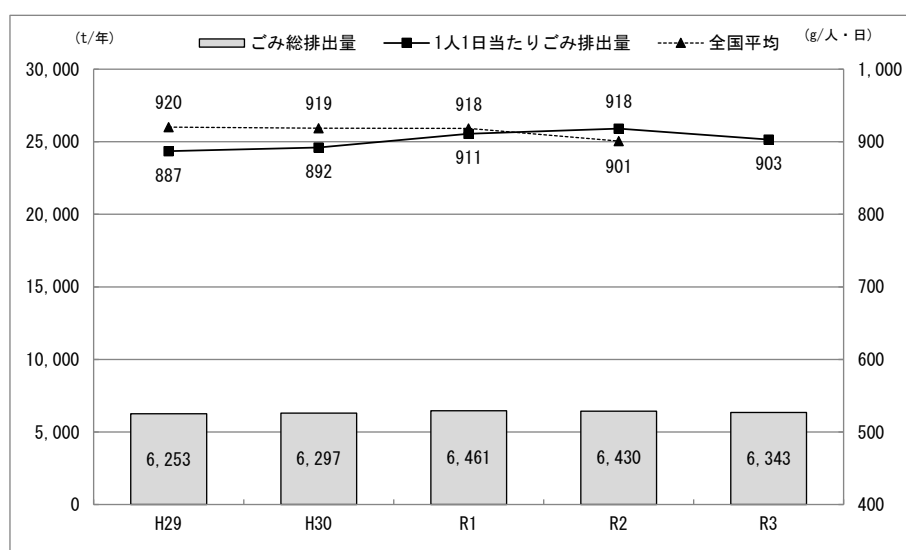


図1-6 ごみ排出量の推移(遠賀町)

2) 再生利用量・リサイクル率

組合全体及び構成市町における新聞・雑誌・プラスチック製容器包装をはじめとする再生利用量・リサイクル率の推移は、次のとおりです。

(1) 組合全体

組合全体における再生利用量・リサイクル率は、いずれの値もやや減少傾向にあります。令和3年度の再生利用量は12,840t/年であり、過去5年間で再生利用量が最も多い平成30年度実績と比較すると1,451t減少しています。

令和3年度のリサイクル率は28.3%であり、過去5年間で最も高い平成29年度実績(30.2%)から1.9ポイント減少しています。なお、全国平均(令和2年度:20.0%)と比較すると8.3ポイント上回っています。

表1-7 再生利用量・リサイクル率の推移(組合全体)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	42,064	41,959	42,405	41,998	41,001
ごみ総排出量+木くず等資源化量	46,787	47,532	47,545	47,272	45,450
再生利用量	14,131	14,291	13,431	13,584	12,840
紙類 (紙バック、紙製容器包装を除く)	3,136	2,892	2,714	2,246	2,271
紙バック	29	27	29	28	28
紙製容器包装	0	0	0	0	0
金属類	864	908	944	1,020	997
ガラス類	596	568	311	341	321
ペットボトル	248	258	271	275	293
白色トレイ	0	0	0	0	0
容器包装プラスチック (白色トレイを除く)	603	600	603	609	608
プラスチック類 (白色トレイ、容器包装プラを除く)	0	0	0	0	0
布類	253	247	252	172	219
肥料	0	0	0	0	0
飼料	0	0	0	0	0
溶融スラグ	2,353	1,775	1,710	2,076	2,270
固形燃料(RDF、RPF)	0	0	0	0	0
燃料(固形燃料を除く)	0	0	0	0	0
焼却灰・飛灰のセメント原料化	295	289	290	294	287
セメント等への直接投入	0	0	0	0	0
飛灰の山元還元	0	0	0	0	0
廃食用油(BDF)	1	6	11	8	8
その他(木くず等資源化量を除く)	1,030	1,148	1,156	1,241	1,089
その他(木くず等資源化量)	4,723	5,573	5,140	5,274	4,449
リサイクル率(%)	30.2	30.1	28.2	28.7	28.3

出典：組合資料(R3実績及び各年度木くず等資源化量実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 リサイクル率=再生利用量÷[ごみ総排出量(計画収集量+直接搬入量+集団回収量)+木くず等資源化量]×100

※2 木くず等資源化量：民間の一般廃棄物処理施設で処理された再生利用量(木くず等)

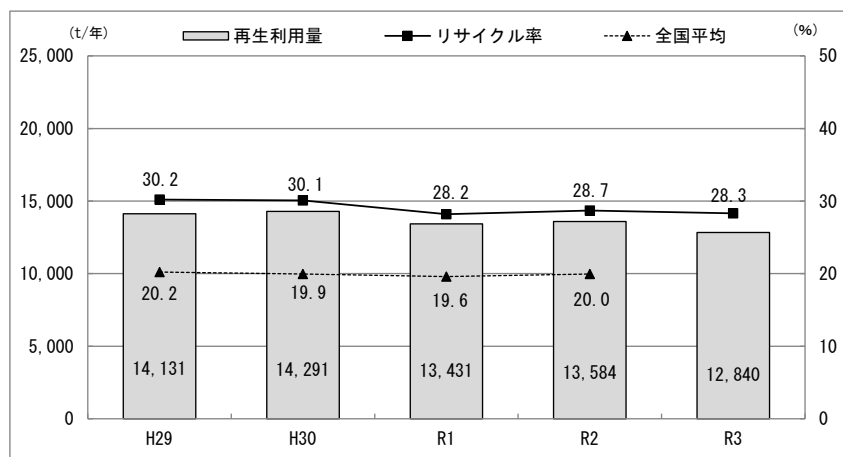


図1-7 再生利用量・リサイクル率の推移(組合全体)

(2) 中間市

中間市における再生利用量・リサイクル率は、いずれの値も概ね減少傾向にあります。令和3年度の再生利用量は3,518t/年であり、過去5年間で再生利用量が最も多い平成30年度実績と比較すると529t減少しています。

令和3年度のリサイクル率は26.5%であり、過去5年間で最も高い平成29年度実績(28.7%)から2.2ポイント減少しています。なお、全国平均(令和2年度:20.0%)と比較すると6.5ポイント上回っています。

表1-8 再生利用量・リサイクル率の推移(中間市)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	12,924	12,908	12,973	12,666	12,322
ごみ総排出量+木くず等資源化量	13,999	14,216	14,102	13,791	13,278
再生利用量	4,023	4,047	3,765	3,661	3,518
紙類 (紙パック、紙製容器包装を除く)	1,073	1,000	990	804	764
紙パック	9	9	11	8	7
紙製容器包装	0	0	0	0	0
金属類	249	263	267	259	309
ガラス類	183	175	91	101	97
ペットボトル	79	82	87	82	79
白色トレイ	0	0	0	0	0
容器包装プラスチック (白色トレイを除く)	185	184	186	183	181
プラスチック類 (白色トレイ、容器包装プラを除く)	0	0	0	0	0
布類	70	65	69	48	54
肥料	0	0	0	0	0
飼料	0	0	0	0	0
熔融スラグ	720	544	519	626	683
固形燃料(RDF、RPF)	0	0	0	0	0
燃料(固形燃料を除く)	0	0	0	0	0
焼却灰・飛灰のセメント原料化	90	88	88	89	86
セメント等への直接投入	0	0	0	0	0
飛灰の山元還元	0	0	0	0	0
廃食用油(BDF)	0	0	4	0	0
その他(木くず等資源化量を除く)	290	329	324	336	302
その他(木くず等資源化量)	1,075	1,308	1,129	1,125	956
リサイクル率(%)	28.7	28.5	26.7	26.5	26.5

出典：組合資料(R3実績及び各年度木くず等資源化量実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 リサイクル率=再生利用量÷{ごみ総排出量(計画収集量+直接搬入量+集団回収量)+木くず等資源化量}×100

※2 木くず等資源化量：民間の一般廃棄物処理施設で処理された再生利用量(木くず等)

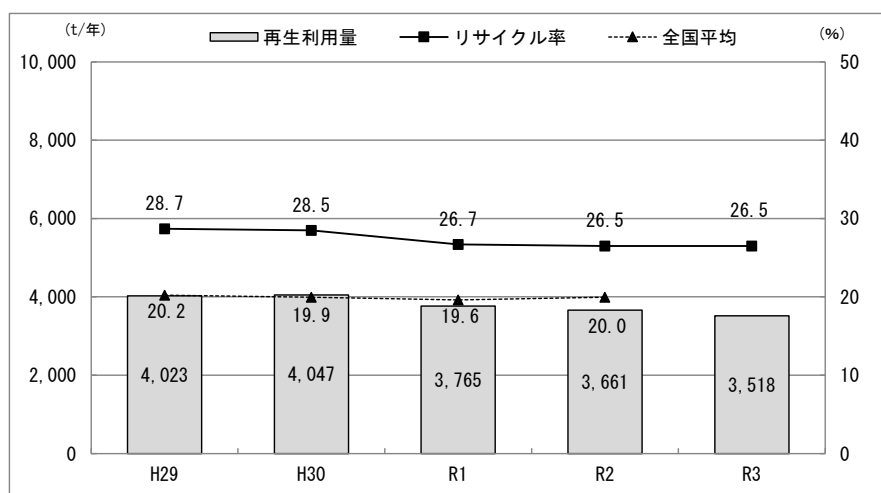


図1-8 再生利用量・リサイクル率の推移(中間市)

(3) 水巻町

水巻町における再生利用量・リサイクル率は、いずれの値も令和元年度までそれぞれ減少傾向にありましたが、その後は増加しています。令和3年度の再生利用量は2,511t/年であり、過去5年間で再生利用量が最も多い平成30年度実績と比較すると222t減少しています。

令和3年度のリサイクル率は25.8%であり、過去5年間で最も高い平成29年度実績(27.4%)から1.6ポイント減少しています。なお、全国平均(令和2年度:20.0%)と比較すると5.8ポイント上回っています。

表1-9 再生利用量・リサイクル率の推移(水巻町)

(単位:t/年)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	9,079	9,007	9,078	9,045	8,908
ごみ総排出量+木くず等資源化量	9,905	10,004	9,890	9,974	9,719
再生利用量	2,715	2,733	2,428	2,497	2,511
紙類 (紙パック、紙製容器包装を除く)	537	485	430	265	361
紙パック	7	6	6	7	8
紙製容器包装	0	0	0	0	0
金属類	170	177	180	205	203
ガラス類	124	118	68	75	69
ペットボトル	52	57	60	69	81
白色トレイ	0	0	0	0	0
容器包装プラスチック (白色トレイを除く)	138	137	137	140	138
プラスチック類 (白色トレイ、容器包装プラを除く)	0	0	0	0	0
布類	60	65	60	28	53
肥料	0	0	0	0	0
飼料	0	0	0	0	0
溶融スラグ	522	391	377	463	506
固形燃料(RDF、RPF)	0	0	0	0	0
燃料(固形燃料を除く)	0	0	0	0	0
焼却灰・飛灰のセメント原料化	65	64	64	66	64
セメント等への直接投入	0	0	0	0	0
飛灰の山元還元	0	0	0	0	0
廃食用油(BDF)	0	0	0	0	0
その他(木くず等資源化量を除く)	214	236	234	250	217
その他(木くず等資源化量)	826	997	812	929	811
リサイクル率(%)	27.4	27.3	24.6	25.0	25.8

出典: 組合資料(R3 実績及び各年度木くず等資源化量実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29~R2 実績)

※1 リサイクル率=再生利用量÷[ごみ総排出量(計画収集量+直接搬入量+集団回収量)+木くず等資源化量]×100

※2 木くず等資源化量: 民間の一般廃棄物処理施設で処理された再生利用量(木くず等)

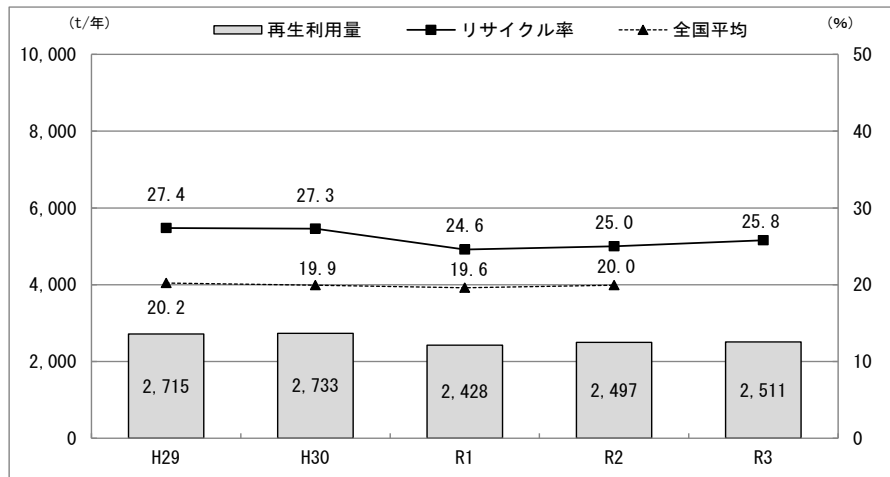


図1-9 再生利用量・リサイクル率の推移(水巻町)

(4) 岡垣町

岡垣町における再生利用量・リサイクル率は、いずれの値も概ね減少傾向にあります。令和3年度の再生利用量は2,688t/年であり、過去5年間で再生利用量が最も多い平成29、30年度実績と比較すると365t減少しています。

令和3年度のリサイクル率は26.5%であり、過去5年間で最も高い平成29年度実績(29.3%)から2.8ポイント減少しています。なお、全国平均(令和2年度:20.0%)と比較すると6.5ポイント上回っています。

表1-10 再生利用量・リサイクル率の推移(岡垣町)

(単位: t/年)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	9,566	9,511	9,688	9,727	9,451
ごみ総排出量+木くず等資源化量	10,432	10,552	10,574	10,564	10,155
再生利用量	3,053	3,053	2,790	2,845	2,688
紙類 (紙バック、紙製容器包装を除く)	712	643	583	542	546
紙バック	6	6	6	6	6
紙製容器包装	0	0	0	0	0
金属類	223	234	246	279	239
ガラス類	146	138	77	83	77
ペットボトル	55	56	57	56	61
白色トレイ	0	0	0	0	0
容器包装プラスチック (白色トレイを除く)	141	141	142	143	144
プラスチック類 (白色トレイ、容器包装プラを除く)	0	0	0	0	0
布類	55	52	54	44	52
肥料	0	0	0	0	0
飼料	0	0	0	0	0
熔融スラグ	528	398	388	473	515
固形燃料(RDF、RPF)	0	0	0	0	0
燃料(固形燃料を除く)	0	0	0	0	0
焼却灰・飛灰のセメント原料化	66	65	66	67	65
セメント等への直接投入	0	0	0	0	0
飛灰の山元還元	0	0	0	0	0
廃食用油(BDF)	0	0	0	0	0
その他(木くず等資源化量を除く)	255	279	285	315	279
その他(木くず等資源化量)	866	1,041	886	837	704
リサイクル率(%)	29.3	28.9	26.4	26.9	26.5

出典: 組合資料(R3実績及び各年度木くず等資源化量実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29~R2実績)

※1 リサイクル率=再生利用量÷{ごみ総排出量(計画収集量+直接搬入量+集団回収量)+木くず等資源化量}×100

※2 木くず等資源化量: 民間の一般廃棄物処理施設で処理された再生利用量(木くず等)

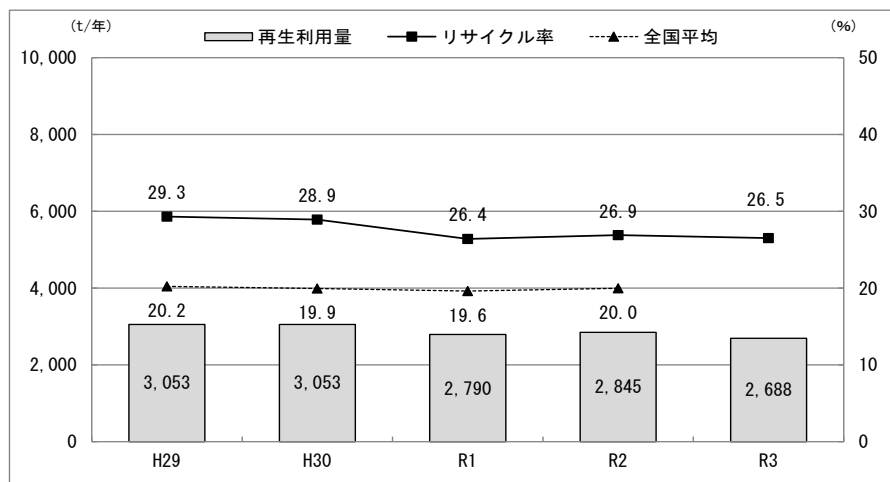


図1-10 再生利用量・リサイクル率の推移(岡垣町)

(5) 芦屋町

芦屋町における再生利用量・リサイクル率の推移は、いずれの値も令和元年度まで減少傾向にありましたが、その後は増加しています。令和3年度の再生利用量は1,694t/年であり、過去5年間では最も多くなっています。

令和3年度のリサイクル率は35.1%であり、こちらも過去5年間では最も高くなっています。

なお、全国平均（令和2年度：20.0%）と比較すると15.1ポイント上回っています。

表1-11 再生利用量・リサイクル率の推移（芦屋町）

（単位：t/年）

区分	H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	4,242	4,236	4,205	4,130	3,977
ごみ総排出量+木くず等資源化量	4,854	4,813	4,764	4,814	4,832
再生利用量	1,597	1,489	1,414	1,555	1,694
紙類 （紙パック、紙製容器包装を除く）	364	334	303	267	242
紙パック	2	2	2	2	2
紙製容器包装	0	0	0	0	0
金属類	85	90	95	104	102
ガラス類	64	61	34	36	33
ペットボトル	22	21	23	23	23
白色トレイ	0	0	0	0	0
容器包装プラスチック （白色トレイを除く）	53	52	51	56	58
プラスチック類 （白色トレイ、容器包装プラを除く）	0	0	0	0	0
布類	24	26	29	18	21
肥料	0	0	0	0	0
飼料	0	0	0	0	0
熔融スラグ	234	177	168	201	217
固形燃料（RDF、RPF）	0	0	0	0	0
燃料（固形燃料を除く）	0	0	0	0	0
焼却灰・飛灰のセメント原料化	30	29	28	28	28
セメント等への直接投入	0	0	0	0	0
飛灰の山元還元	0	0	0	0	0
廃食用油（BDF）	1	1	1	1	1
その他（木くず等資源化量を除く）	106	119	121	135	112
その他（木くず等資源化量）	612	577	559	684	855
リサイクル率（%）	32.9	30.9	29.7	32.3	35.1

出典：組合資料(R3実績及び各年度木くず等資源化量実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 リサイクル率＝再生利用量÷〔ごみ総排出量（計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量）＋木くず等資源化量〕×100

※2 木くず等資源化量：民間の一般廃棄物処理施設で処理された再生利用量（木くず等）

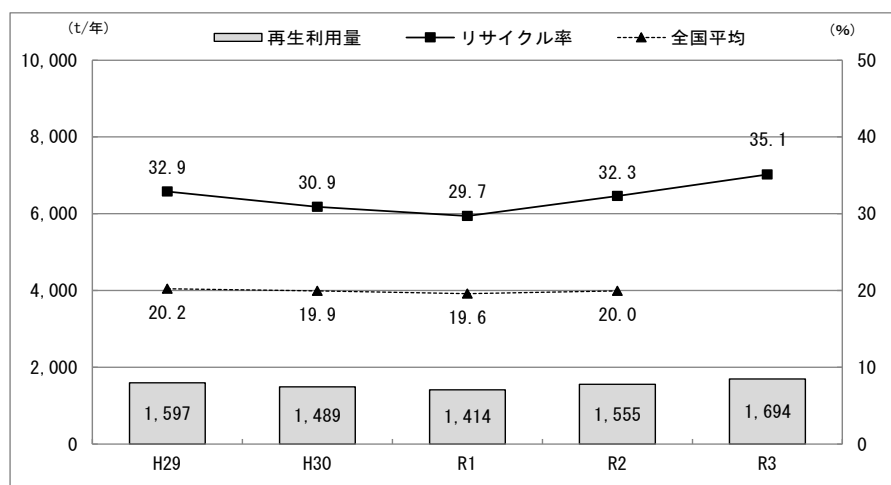


図1-11 再生利用量・リサイクル率の推移（芦屋町）

(6) 遠賀町

遠賀町における再生利用量・リサイクル率はいずれの値も令和2年度まで概ね横ばいでしたが、その後は減少しています。令和3年度の再生利用量は2,429t/年であり、過去5年間で再生利用量が最も多い令和元年度実績と比較すると605t減少しています。

令和3年度のリサイクル率は32.5%であり、過去5年間で最も高い平成30年度実績(37.4%)から4.9ポイント減少しています。なお、全国平均(令和2年度:20.0%)と比較すると12.5ポイント上回っています。

表1-12 再生利用量・リサイクル率の推移(遠賀町)

(単位: t/年)					
区分	H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	6,253	6,297	6,461	6,430	6,343
ごみ総排出量+木くず等資源化量	7,597	7,947	8,215	8,129	7,466
再生利用量	2,743	2,969	3,034	3,026	2,429
紙類 (紙パック、紙製容器包装を除く)	450	430	408	368	358
紙パック	5	4	4	5	5
紙製容器包装	0	0	0	0	0
金属類	137	144	156	173	144
ガラス類	79	76	41	46	45
ペットボトル	40	42	44	45	49
白色トレイ	0	0	0	0	0
容器包装プラスチック (白色トレイを除く)	86	86	87	87	87
プラスチック類 (白色トレイ、容器包装プラを除く)	0	0	0	0	0
布類	44	39	40	34	39
肥料	0	0	0	0	0
飼料	0	0	0	0	0
熔融スラグ	349	265	258	313	349
固形燃料(RDF、RPF)	0	0	0	0	0
燃料(固形燃料を除く)	0	0	0	0	0
焼却灰・飛灰のセメント原料化	44	43	44	44	44
セメント等への直接投入	0	0	0	0	0
飛灰の山元還元	0	0	0	0	0
廃食用油(BDF)	0	5	6	7	7
その他(木くず等資源化量を除く)	165	185	192	205	179
その他(木くず等資源化量)	1,344	1,650	1,754	1,699	1,123
リサイクル率(%)	36.1	37.4	36.9	37.2	32.5

出典: 組合資料(R3実績及び各年度木くず等資源化量実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29~R2実績)

※1 リサイクル率=再生利用量÷{ごみ総排出量(計画収集量+直接搬入量+集団回収量)+木くず等資源化量}×100

※2 木くず等資源化量: 民間の一般廃棄物処理施設で処理された再生利用量(木くず等)

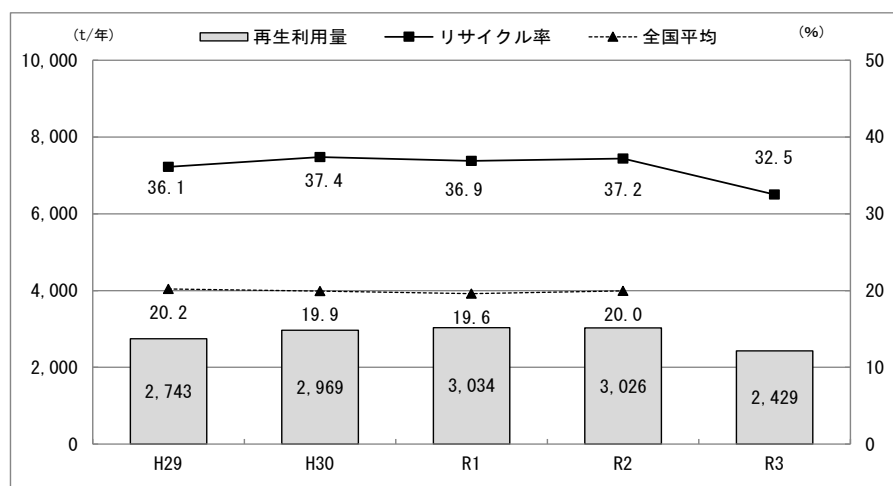


図1-12 再生利用量・リサイクル率の推移(遠賀町)

3) 最終処分量

組合全体及び構成市町における最終処分の状況は、次のとおりです。

(1) 組合全体

組合全体における最終処分量は令和元年度まで増加傾向にありましたが、その後は減少傾向で推移しています。令和3年度における最終処分量は5,384tであり、最終処分率では13.1%と、全国平均（令和2年度：8.7%）と比較して4.4ポイント上回っています。

令和3年度最終処分量のうち、焼却残渣埋立量は4,162t（77.3%）、中間処理残渣埋立量は1,222t（22.7%）となっており、約8割に当たる焼却残渣は、「遠賀・中間地域広域行政事務組合構成市町内から発生する一般廃棄物の処理に関する基本協定書（以下、「基本協定書」という。）」に基づき可燃ごみ処理業務を委託している北九州市において最終処分されています。中間処理残渣は組合の所管する最終処分場にて最終処分されています。

表 1－13 最終処分量・最終処分率の推移（組合全体）

区分		H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	t/年	42,064	41,959	42,405	41,998	41,001
直接埋立量	t/年	0	0	0	0	0
焼却残渣埋立量	t/年	4,106	4,331	4,436	4,213	4,162
中間処理残渣埋立量	t/年	1,020	1,055	1,281	1,344	1,222
最終処分量 計	t/年	5,126	5,386	5,717	5,557	5,384
最終処分率	%	12.2	12.8	13.5	13.2	13.1

出典：組合資料（R3実績）、環境省一般廃棄物処理実態調査（H29～R2実績）

備考：最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量（計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量）×100

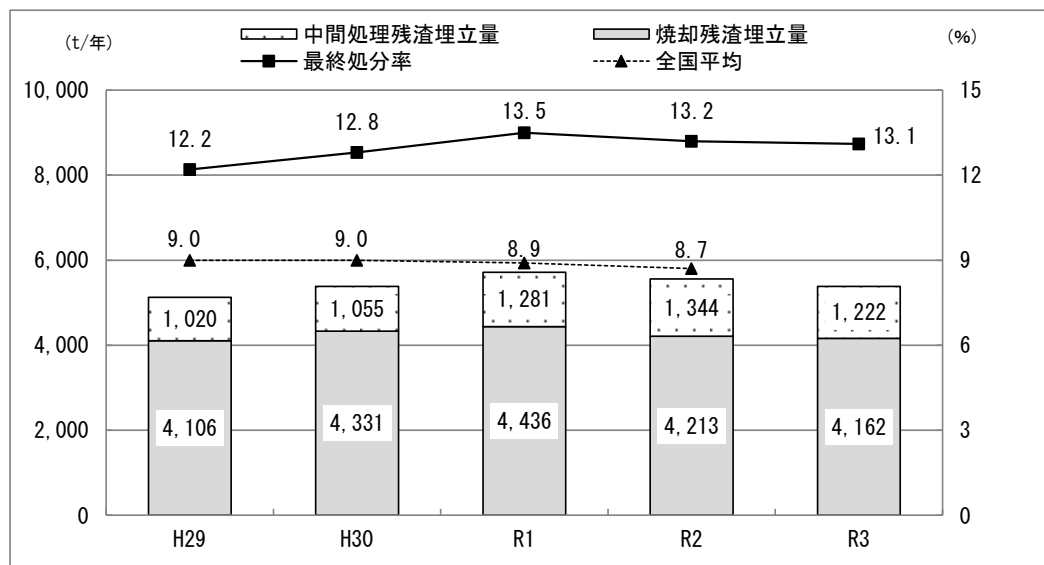


図 1－13 最終処分量、最終処分率の推移（組合全体）

(2) 中間市

中間市における最終処分量は令和元年度まで増加傾向にありましたが、その後は減少傾向で推移しています。令和3年度における最終処分量は1,619tであり、最終処分率では13.1%と、全国平均（令和2年度：8.7%）と比較して4.4ポイント上回っています。

令和3年度最終処分量のうち、焼却残渣埋立量は1,251t（77.3%）、中間処理残渣埋立量は368t（22.7%）となっており、約8割に当たる焼却残渣は、基本協定書に基づき可燃ごみ処理業務を委託している北九州市において最終処分されています。中間処理残渣は組合の所管する最終処分場にて最終処分されています。

表1-14 最終処分量・最終処分率の推移（中間市）

区分		H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	t/年	12,924	12,908	12,973	12,666	12,322
直接埋立量	t/年	0	0	0	0	0
焼却残渣埋立量	t/年	1,256	1,326	1,347	1,272	1,251
中間処理残渣埋立量	t/年	279	289	353	363	368
最終処分量 計	t/年	1,535	1,615	1,700	1,635	1,619
最終処分率	%	11.9	12.5	13.1	12.9	13.1

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

備考：最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量（計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量）×100

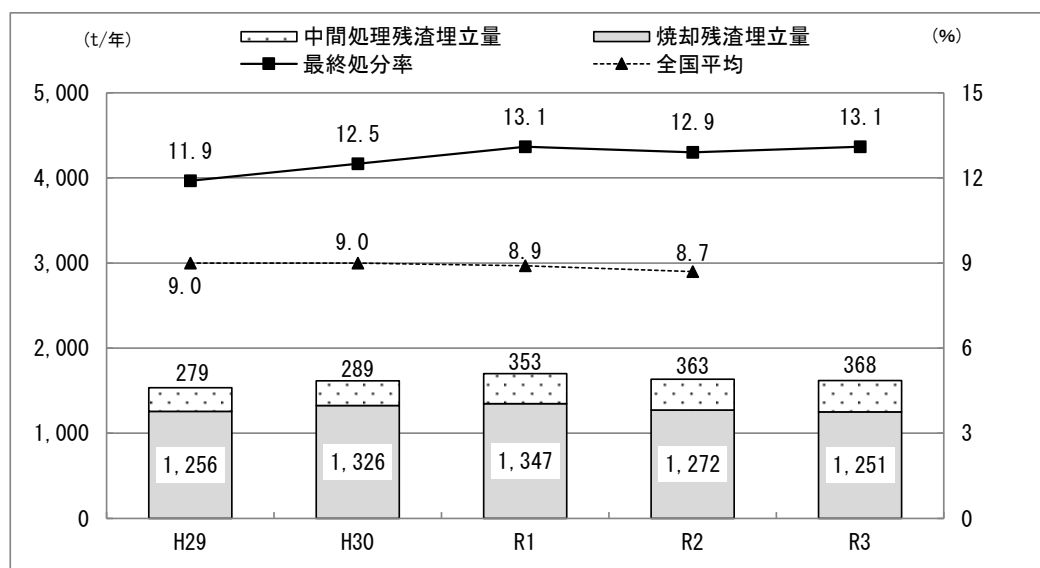


図1-14 最終処分量、最終処分率の推移（中間市）

(3) 水巻町

水巻町における最終処分量は令和元年度まで増加傾向にありましたが、その後は減少傾向で推移しています。令和3年度における最終処分量は1,187tであり、最終処分率では13.3%と、全国平均（令和2年度：8.7%）と比較して4.6ポイント上回っています。

令和3年度最終処分量のうち、焼却残渣埋立量は928t（78.2%）、中間処理残渣埋立量は259t（21.8%）となっており、約8割に当たる焼却残渣は、基本協定書に基づき可燃ごみ処理業務を委託している北九州市において最終処分されています。中間処理残渣は組合が所管する最終処分場にて最終処分されています。

表 1－15 最終処分量・最終処分率の推移（水巻町）

区分		H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	t/年	9,079	9,007	9,078	9,045	8,908
直接埋立量	t/年	0	0	0	0	0
焼却残渣埋立量	t/年	910	955	977	940	928
中間処理残渣埋立量	t/年	201	205	252	270	259
最終処分量 計	t/年	1,111	1,160	1,229	1,210	1,187
最終処分率	%	12.2	12.9	13.5	13.4	13.3

出典：組合資料（R3 実績）、環境省一般廃棄物処理実態調査（H29～R2 実績）

備考：最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量（計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量）×100

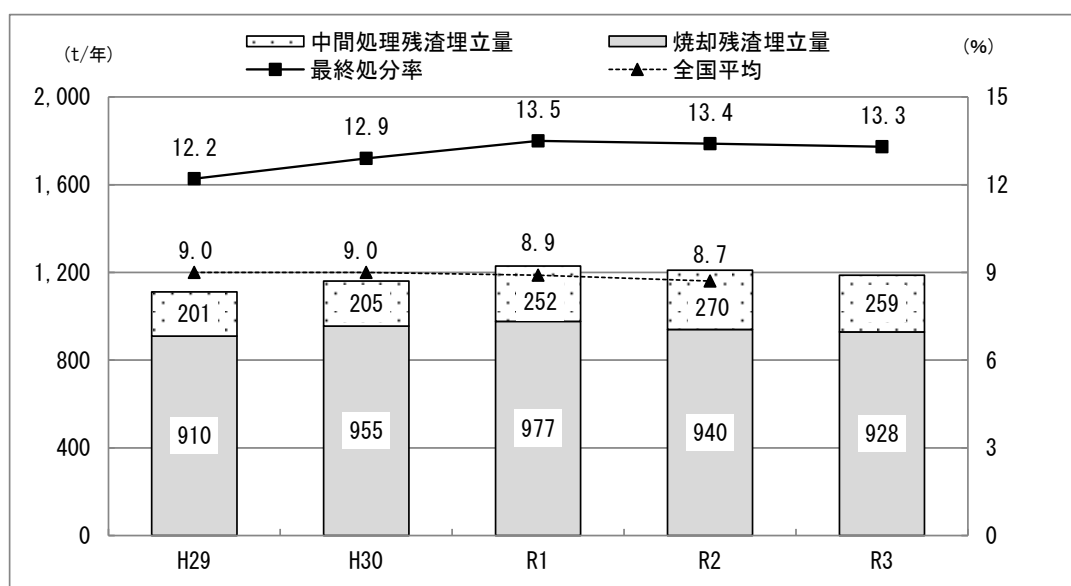


図 1－15 最終処分量、最終処分率の推移（水巻町）

(4) 岡垣町

岡垣町における最終処分量は令和元年度まで増加傾向にありましたが、その後は減少傾向で推移しています。令和3年度における最終処分量は1,229tであり、最終処分率では13.0%と、全国平均（令和2年度：8.7%）と比較して4.3ポイント上回っています。

令和3年度最終処分量のうち、焼却残渣埋立量は944t（76.8%）、中間処理残渣埋立量は285t（23.2%）となっており、約8割に当たる焼却残渣は、基本協定書に基づき可燃ごみ処理業務を委託している北九州市において最終処分されています。中間処理残渣は組合が所管する最終処分場にて最終処分されています。

表 1－16 最終処分量・最終処分率の推移（岡垣町）

区分		H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	t/年	9,566	9,511	9,688	9,727	9,451
直接埋立量	t/年	0	0	0	0	0
焼却残渣埋立量	t/年	922	971	1,006	960	944
中間処理残渣埋立量	t/年	267	274	325	347	285
最終処分量 計	t/年	1,189	1,245	1,331	1,307	1,229
最終処分率	%	12.4	13.1	13.7	13.4	13.0

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

備考：最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量（計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量）×100

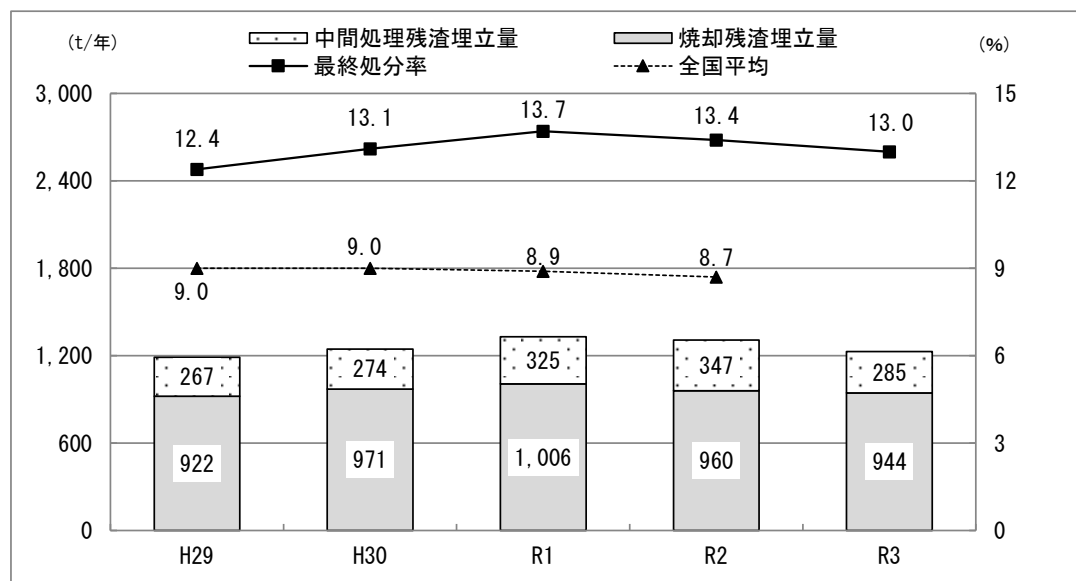


図 1－16 最終処分量、最終処分率の推移（岡垣町）

(5) 芦屋町

芦屋町における最終処分量は令和元年度まで増加傾向にありましたが、その後は減少傾向で推移しています。令和3年度における最終処分量は529tであり、最終処分率では13.3%と、全国平均（令和2年度：8.7%）と比較して4.6ポイント上回っています。

令和3年度最終処分量のうち、焼却残渣埋立量は400t（75.6%）、中間処理残渣埋立量は129t（24.4%）となっており、約8割に当たる焼却残渣は、基本協定書に基づき可燃ごみ処理業務を委託している北九州市において最終処分されています。中間処理残渣は組合が所管する最終処分場にて最終処分されています。

表 1－17 最終処分量・最終処分率の推移（芦屋町）

区分		H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	t/年	4,242	4,236	4,205	4,130	3,977
直接埋立量	t/年	0	0	0	0	0
焼却残渣埋立量	t/年	409	433	435	406	400
中間処理残渣埋立量	t/年	104	110	135	137	129
最終処分量 計	t/年	513	543	570	543	529
最終処分率	%	12.1	12.8	13.6	13.1	13.3

出典：組合資料（R3実績）、環境省一般廃棄物処理実態調査（H29～R2実績）

備考：最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量（計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量）×100

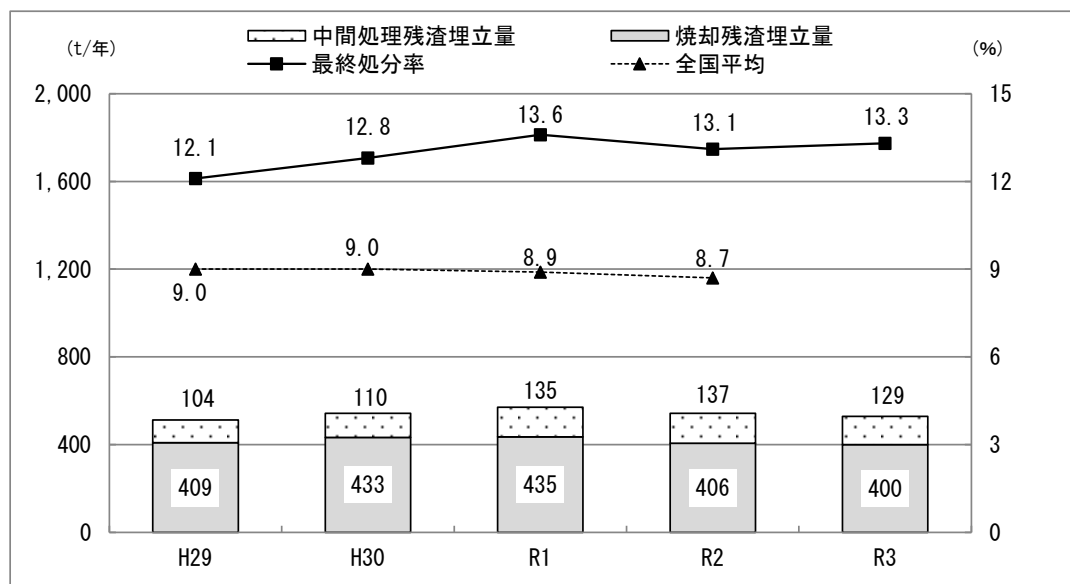


図 1－17 最終処分量、最終処分率の推移（芦屋町）

(6) 遠賀町

遠賀町における最終処分量は令和元年度まで増加傾向にありましたが、その後は減少傾向で推移しています。令和3年度における最終処分量は820tであり、最終処分率では12.9%と、全国平均(令和2年度:8.7%)と比較して4.2ポイント上回っています。

令和3年度 of 最終処分量のうち、焼却残渣埋立量は639t(77.9%)、中間処理残渣埋立量は181t(22.1%)となっており、約8割に当たる焼却残渣は、基本協定書に基づき可燃ごみ処理業務を委託している北九州市において最終処分されています。中間処理残渣は組合が所管する最終処分場にて最終処分されています。

表 1-18 最終処分量・最終処分率の推移(遠賀町)

区分		H29	H30	R1	R2	R3
ごみ総排出量	t/年	6,253	6,297	6,461	6,430	6,343
直接埋立量	t/年	0	0	0	0	0
焼却残渣埋立量	t/年	609	646	671	635	639
中間処理残渣埋立量	t/年	169	177	216	227	181
最終処分量 計	t/年	778	823	887	862	820
最終処分率	%	12.4	13.1	13.7	13.4	12.9

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

備考：最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量(計画収集量＋直接搬入量＋集団回収量)×100

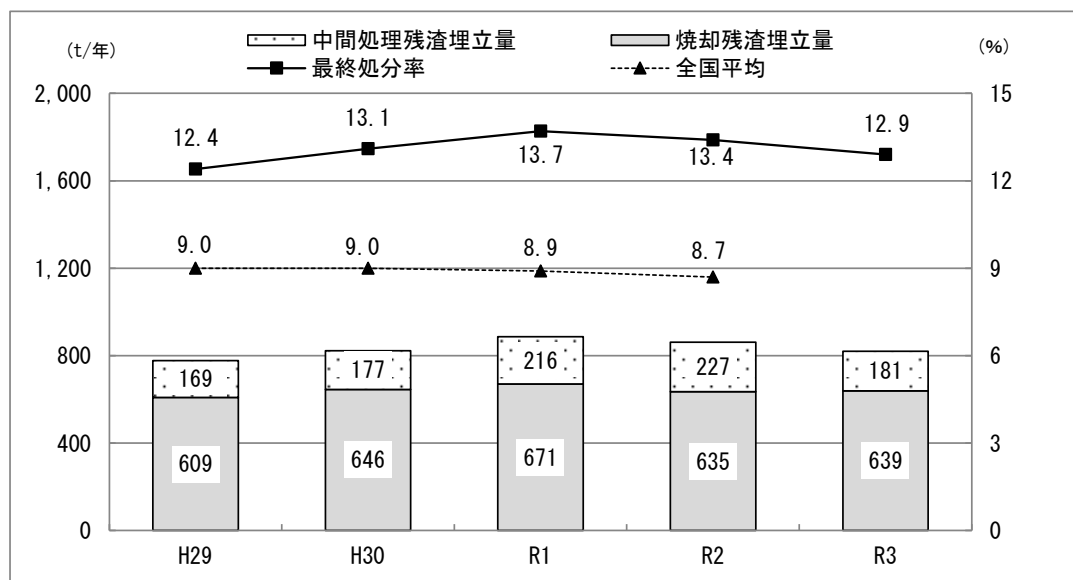


図 1-18 最終処分量、最終処分率の推移(遠賀町)

資料２．人口の将来予測

1) 人口の将来予測手法

人口の将来予測にあたっては、構成市町の総合計画・人口ビジョン等における将来人口に基づく予測値を採用することとします。

2) 人口の将来予測結果

組合では構成市町（中間市、水巻町、岡垣町、芦屋町、遠賀町）全域を計画収集区域としており、自家処理人口は０人です。今後も全域を対象として収集を実施するため、将来の自家処理人口も０人としてします。

行政区域内人口（＝計画収集人口）の予測結果は下表のとおりです。いずれの市町とも、減少傾向で推移すると予測されます。

表２－１ 人口の将来予測結果

（単位：人）

	年度	西暦	中間市	水巻町	岡垣町	芦屋町	遠賀町	計
実績値	H29	2017	42,563	28,898	32,049	14,260	19,320	137,090
	H30	2018	41,785	28,612	31,805	14,064	19,324	135,590
	R1	2019	41,574	28,205	31,699	13,905	19,364	134,747
	R2	2020	41,161	28,030	31,644	13,752	19,176	133,763
	R3	2021	40,478	27,893	31,598	13,500	19,238	132,707
予測値	R4	2022	39,842	27,560	31,373	13,081	19,174	131,030
	R5	2023	39,206	27,227	31,148	12,662	19,110	129,353
	R6	2024	38,570	26,894	30,923	12,243	19,046	127,676
	R7	2025	37,932	26,559	30,697	11,823	18,982	125,993
	R8	2026	37,648	26,381	30,476	11,596	18,918	125,019
	R9	2027	37,364	26,203	30,255	11,369	18,854	124,045
	R10	2028	37,080	26,025	30,034	11,142	18,790	123,071
	R11	2029	36,796	25,847	29,813	10,915	18,726	122,097
	R12	2030	36,513	25,670	29,592	10,690	18,662	121,127
	R13	2031	36,219	25,465	29,348	10,485	18,598	120,115
	R14	2032	35,925	25,260	29,104	10,280	18,534	119,103
	R15	2033	35,631	25,055	28,860	10,075	18,469	118,090
	R16	2034	35,337	24,850	28,616	9,870	18,404	117,077
	R17	2035	35,042	24,645	28,373	9,666	18,339	116,065
	R18	2036	34,767	24,418	28,116	9,570	18,274	115,145
	R19	2037	34,492	24,191	27,859	9,474	18,209	114,225
	R20	2038	34,217	23,964	27,602	9,378	18,144	113,305
	R21	2039	33,942	23,737	27,345	9,282	18,079	112,385
	R22	2040	33,665	23,512	27,087	9,186	18,014	111,464

：補間値

出典 中間市：第2期中間市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月)p22

水巻町：第2期水巻町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月)p5

岡垣町：岡垣町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年8月改訂版)p3, グラフ2

芦屋町：芦屋町人口ビジョン(令和3年2月)p34

遠賀町：遠賀町人口ビジョン及び総合戦略 まち・ひと・しごと創生(令和2年3月改訂)p29, ケース1

※遠賀町は令和22年度の予測値(18,014人)を基に補間を行った。

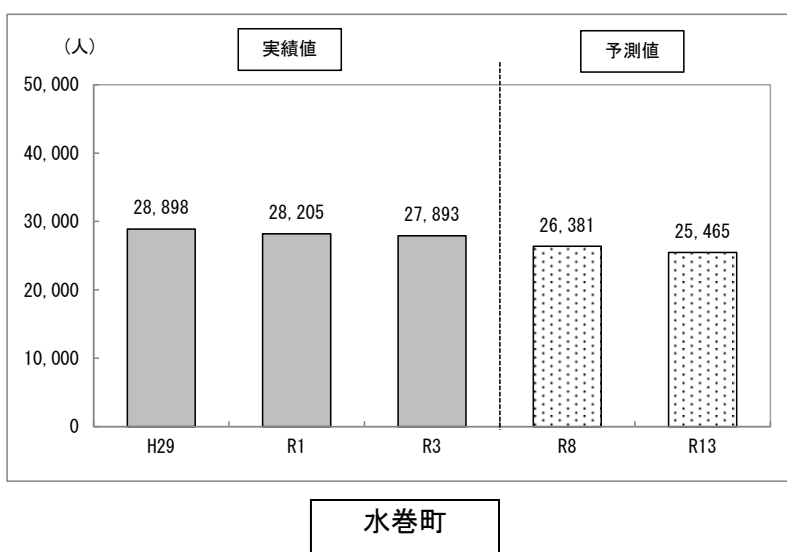
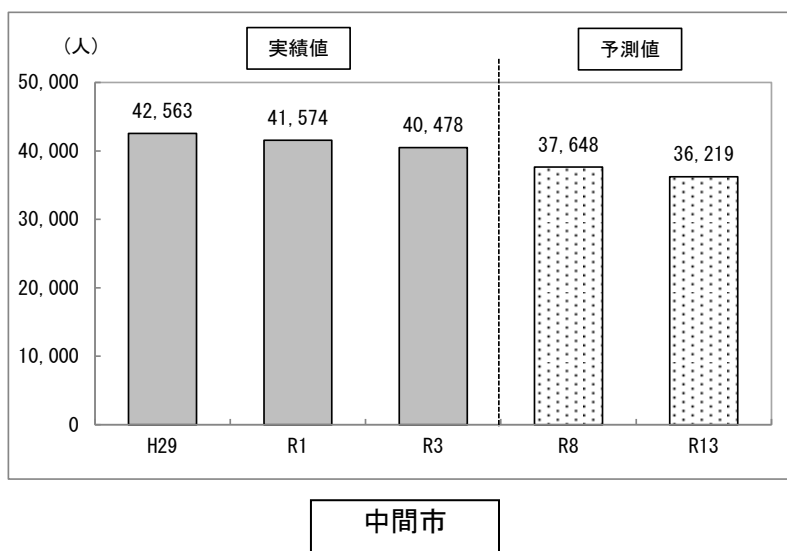
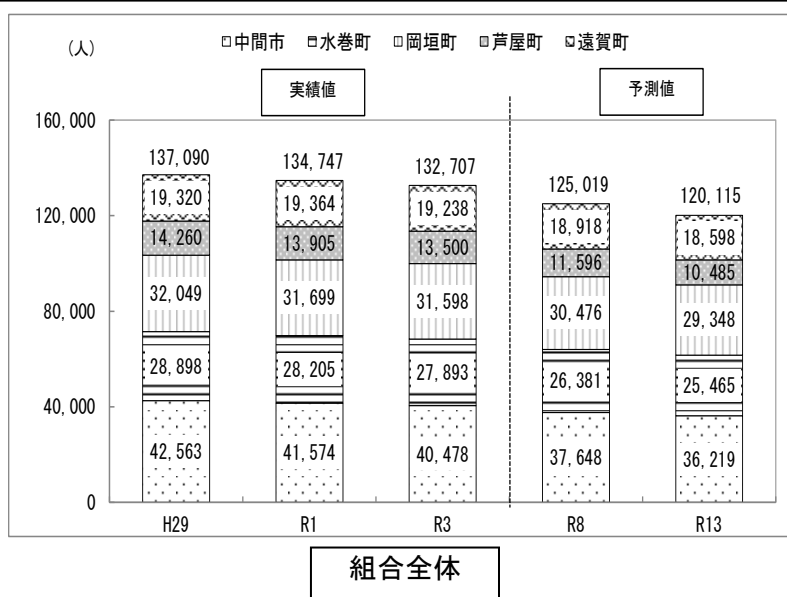


図 2 - 1 人口の将来予測結果 (1)

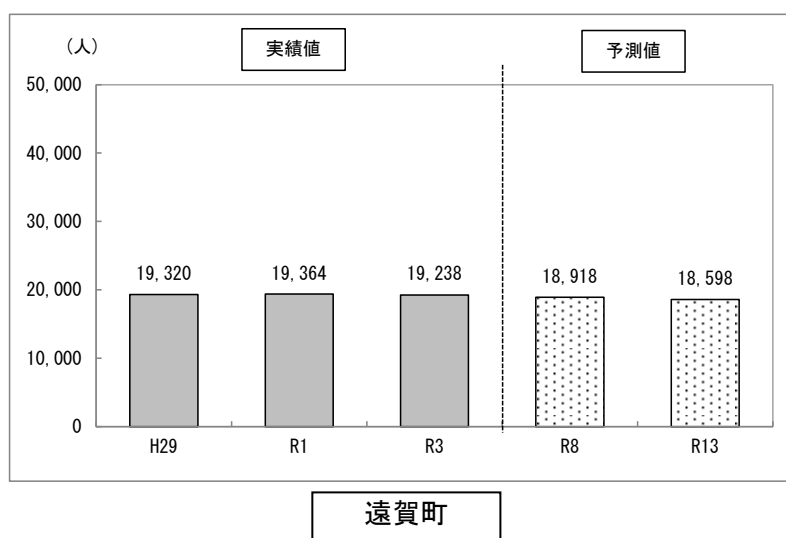
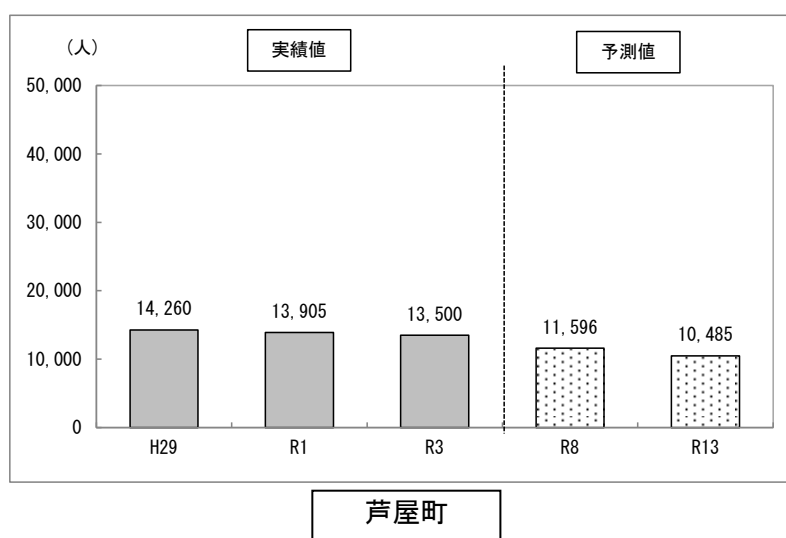
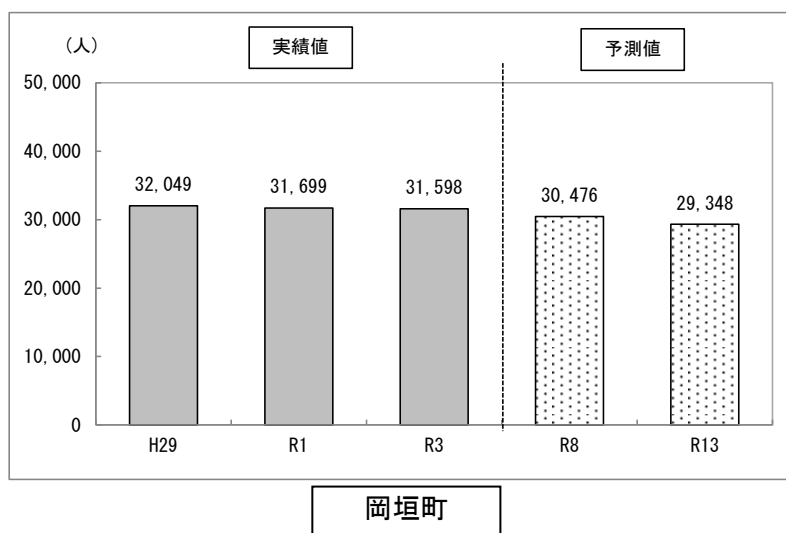


図 2 - 1 人口の将来予測結果 (2)

資料 3. ごみ排出量の将来予測

1) 概要

ごみ処理・処分の将来計画を検討するためには、ごみ排出量の将来予測を実施し、その動向を把握する必要があります。

ごみ排出量の予測は、過去のごみ排出実績を基に、1人1日当たりのごみ排出量を予測し、これを排出原単位として、地域の将来人口との積によって求める下記の方法が基本となっています。

$$W = m \times P \times 10^{-6}$$

W: 1日当たりのごみ排出量(t/日)

m: 1人1日当たりの排出原単位(g/人・日)

P: 当該区域の処理対象人口(人)

なお、ここでの予測は、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間の排出実績の傾向で今後も推移した場合の予測であり、予測の期間は計画目標年度（令和 13 年度）までとし、5 年後（令和 8 年度）に中間目標年度を設定します。

2) 将来予測の手法

各種ごみ排出原単位の将来予測手法は、過去の実績数値を基本に経年変化の傾向を抽出するトレンド法を用いることとします。

予測に用いる傾向線は、次の 4 種類とします。傾向線の採用に当たっては、実績として増加または減少傾向がみられたとしても、現状の取り組みを継続する中で、将来にわたり大きく増減し続けることは現実的ではないと考えられることから、比較的緩やかな増加傾向または減少傾向を示す傾向線を採用することを基本とします。

しかし、近年の実績の変動が大きく将来の傾向把握に適切でない、あるいは、実績の推移と著しくかけ離れると判断される場合は、近年の実績の平均値または最新年度の実績値を採用するものとします。

<予測に用いる傾向線>

①一次回帰式 : $Y = a \cdot X + b$

②指数回帰式 : $Y = b \cdot \text{EXP}(a \cdot X)$

③対数回帰式 : $Y = a \cdot \text{Ln}(X) + b$

④べき乗回帰式 : $Y = b \cdot X^a$

【予測に用いる傾向線について】

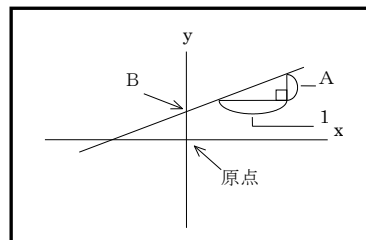
過去から将来に向かって変化する現象（Y）が一定の規則性を持っているとの仮定のもと、理論的傾向線をあてはめて予測式を作ります。ここで、Xは時間（年度）、a、bは定数です。

① 直線： $Y = a \cdot X + b$

将来の発生量は直線的に増加または減少する

a：直線の増加（減少）の割合の大きさを表す

b：X = 0 の時の値を表す

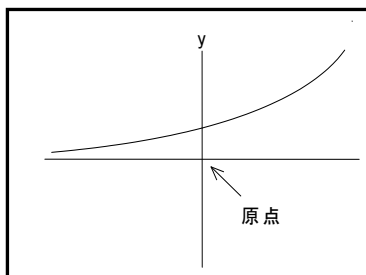


② 指数曲線： $Y = b \cdot \text{EXP}(a \cdot X)$

過去の実績が等比級数的に増加（減少）する場合に採用

a：曲線が立ち上がる傾斜の大きさを表す

b：曲線の位置を決める値

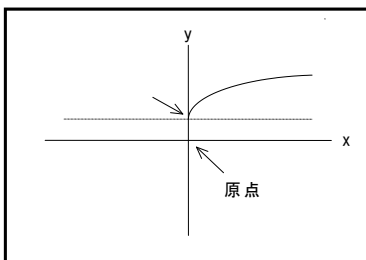


③ 対数曲線： $Y = a \cdot \text{Ln}(X) + b$

将来の発生量の増加（減少）の動きは徐々に穏やかになる

a：曲線が立ち上がる傾斜の大きさを表す

b：式の始まりを表す値

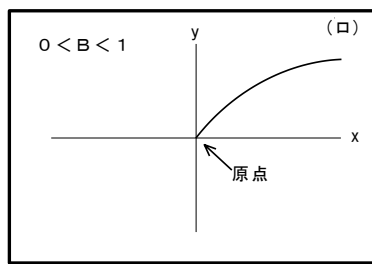
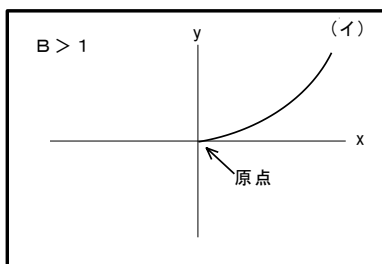


④ べき曲線： $Y = b \cdot X^a$

将来の発生量は急増（急減）するか、増加の傾向が徐々に穏やかになる

a：カーブの凹凸を表す

b：曲線が立ち上がる傾斜の大きさを表す



3) 予測を行うごみ区分とごみ量単位

ごみ排出量の将来予測は、組合では生活系ごみと事業系ごみの混合収集を認めていることを踏まえ、表3-1に示すごみ種類別の排出原単位を基本に行います。

表3-1 予測を行うごみ区分とごみ量単位

予測の区分	ごみ種別	単位
可燃ごみ	可燃ごみ	g/人・日
不燃ごみ	不燃ごみ	g/人・日
粗大ごみ	粗大ごみ	g/人・日
資源ごみ	資源ごみ（缶、ビン、ペットボトル等）	g/人・日
集団回収	資源ごみ（集団回収による）	g/人・日

4) 構成市町毎のごみ排出量実績及び予測値

構成市町毎に、平成29年度から令和3年度までのごみ排出量実績及び令和4年度以降の将来予測値を整理すると、次のとおりです。

(1) 組合全体

組合全体としてはごみの種類別の予測を行わず、(2) から (6) までに示す構成市町におけるごみ種類別排出量の合計値を組合全体の予測値とします。ごみ総排出量は減少傾向で推移し、中間目標年度である令和 8 年度で 38,626t/年 (1 人 1 日当たり 846g/人・日) になると予測されます。

組合全体		収集人口	可燃ごみ			不燃ごみ			粗大ごみ			資源ごみ			集団回収			ごみ総排出量		
		人	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日
実績値	H29	137,090	33,636	92.153	672	939	2,573	19	1,761	4,825	35	2,315	6,342	46	3,413	9,351	68	42,064	115,244	841
	H30	135,590	33,411	91.537	675	974	2,668	20	2,115	5,795	43	2,309	6,326	47	3,150	8,630	64	41,959	114,956	848
	R1	134,747	33,865	92.527	687	959	2,620	19	2,258	6,169	46	2,343	6,402	48	2,980	8,142	60	42,405	115,861	860
	R2	133,763	33,331	91.318	683	1,060	2,904	22	2,761	7,564	57	2,371	6,496	49	2,475	6,781	51	41,998	115,063	860
	R3	132,707	32,568	89.227	672	969	2,655	20	2,588	7,090	53	2,353	6,447	49	2,523	6,912	52	41,001	112,332	846
予測値	R4	131,030	32,159	88.107	672	956	2,619	20	2,572	7,047	54	2,345	6,425	49	2,456	6,729	51	40,488	110,926	847
	R5	129,353	31,828	86.962	672	946	2,585	20	2,547	6,959	54	2,366	6,464	50	2,405	6,571	51	40,092	109,541	847
	R6	127,676	31,326	85.825	672	931	2,551	20	2,512	6,882	54	2,341	6,414	50	2,339	6,408	50	39,449	108,079	847
	R7	125,993	30,903	84.666	672	919	2,518	20	2,478	6,789	54	2,343	6,419	51	2,282	6,252	50	38,925	106,644	846
	R8	125,019	30,660	84.000	672	912	2,499	20	2,460	6,740	54	2,345	6,425	51	2,249	6,162	49	38,626	105,825	846
	R9	124,045	30,499	83.331	672	906	2,475	20	2,449	6,691	54	2,367	6,467	52	2,212	6,044	49	38,433	105,008	847
	R10	123,071	30,173	82.666	672	896	2,455	20	2,422	6,636	54	2,345	6,425	52	2,167	5,937	48	38,003	104,118	846
	R11	122,097	29,930	82.000	672	891	2,441	20	2,403	6,584	54	2,347	6,430	53	2,135	5,849	48	37,706	103,304	846
	R12	121,127	29,694	81.353	672	882	2,416	20	2,386	6,537	54	2,341	6,414	53	2,108	5,775	48	37,411	102,496	846
	R13	120,115	29,521	80.658	672	878	2,399	20	2,372	6,481	54	2,355	6,434	54	2,081	5,686	47	37,207	101,658	846

出典: 組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 四捨五入の関係上、合計と個々の値の和が一致しない場合がある。

※2 各種ごみの排出量は、生活系ごみ及び事業系ごみの合計値

(2) 中間市

中間市の1人1日当たりごみ排出量は、資源ごみがやや減少傾向を示すほかは、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び集団回収は横ばいで推移するものと予測されます。その結果、総排出量としては概ね横ばいで推移し、中間目標年度である令和8年度で11,461t/年(1人1日当たり834g/人・日)になるものと予測されます。

中間市		収集人口	可燃ごみ			不燃ごみ			粗大ごみ			資源ごみ			集団回収			ごみ総排出量		
		人	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日
実績値	H29	42,563	10,360	28.384	667	277	0.759	18	388	1.063	25	739	2.025	48	1,160	3.178	75	12,924	35.409	833
	H30	41,785	10,308	28.241	676	299	0.819	20	485	1.329	32	734	2.011	48	1,082	2.964	71	12,908	35.364	847
	R1	41,574	10,359	28.303	681	291	0.795	19	502	1.372	33	737	2.014	48	1,084	2.962	71	12,973	35.446	852
	R2	41,161	10,150	27.808	676	318	0.871	21	631	1.729	42	726	1.989	48	841	2.304	56	12,666	34.701	843
	R3	40,478	9,858	27.008	667	295	0.808	20	629	1.723	43	701	1.921	47	839	2.299	57	12,322	33.759	834
予測値	R4	39,842	9,700	26.575	667	291	0.797	20	625	1.713	43	684	1.873	47	829	2.271	57	12,129	33.229	834
	R5	39,206	9,571	26.150	667	287	0.784	20	617	1.686	43	675	1.843	47	818	2.235	57	11,968	32.698	834
	R6	38,570	9,390	25.726	667	281	0.771	20	606	1.659	43	662	1.813	47	802	2.198	57	11,741	32.167	834
	R7	37,932	9,235	25.301	667	277	0.759	20	595	1.631	43	651	1.783	47	789	2.162	57	11,547	31.636	834
	R8	37,648	9,166	25.111	667	275	0.753	20	591	1.619	43	646	1.769	47	783	2.146	57	11,461	31.398	834
	R9	37,364	9,121	24.922	667	273	0.747	20	588	1.607	43	643	1.756	47	780	2.130	57	11,405	31.162	834
	R10	37,080	9,027	24.732	667	271	0.742	20	582	1.594	43	623	1.706	46	772	2.114	57	11,275	30.888	833
	R11	36,796	8,958	24.543	667	269	0.736	20	577	1.582	43	618	1.693	46	765	2.097	57	11,187	30.651	833
	R12	36,513	8,889	24.354	667	266	0.730	20	573	1.570	43	613	1.680	46	760	2.081	57	11,101	30.415	833
	R13	36,219	8,842	24.158	667	265	0.724	20	570	1.557	43	610	1.666	46	755	2.064	57	11,042	30.169	833

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 四捨五入の関係上、合計と個々の値の和が一致しない場合がある。

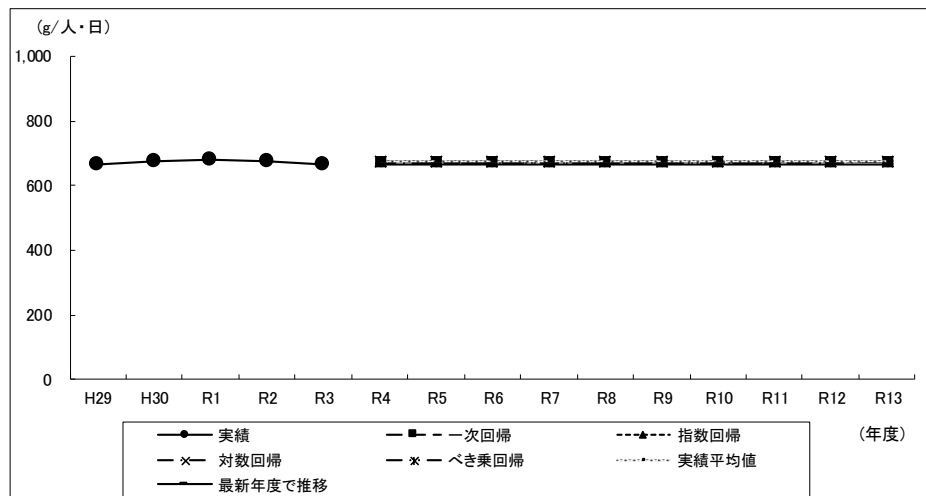
※2 各種ごみの排出量は、生活系ごみ及び事業系ごみの合計値

①可燃ごみ

中間市
可燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	667
H30	676
R1	681
R2	676
R3	667



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	0	673.4	0.0000
×	指数回帰	0	673.3772417	0.0000
×	対数回帰	2.297131404	666.6426302	0.0010
×	べき乗回帰	0.003413277	666.649903	0.0010
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	673	673	674	674	673	667	667
R5	673	673	674	674	673	667	667
R6	673	673	674	674	673	667	667
R7	673	673	674	674	673	667	667
R8	673	673	674	674	673	667	667
R9	673	673	674	674	673	667	667
R10	673	673	674	674	673	667	667
R11	673	673	674	674	673	667	667
R12	673	673	674	674	673	667	667
R13	673	673	675	675	673	667	667

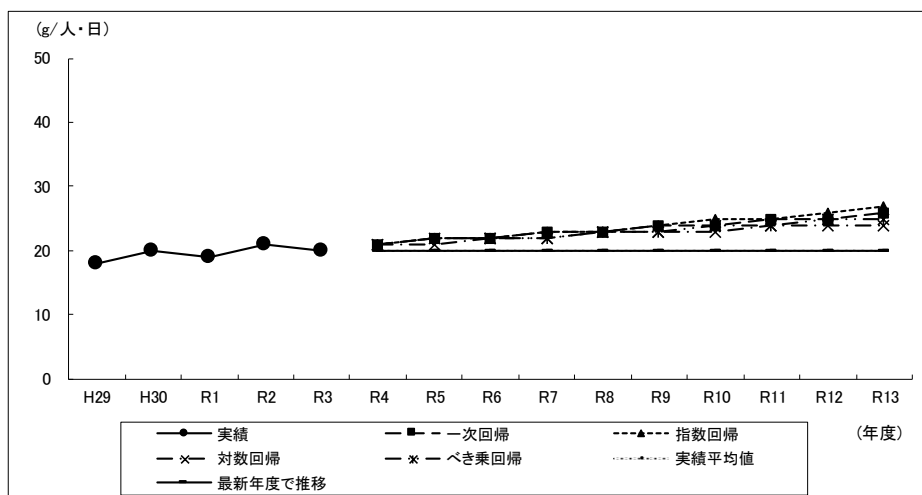
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績に明確な傾向がなく、回帰式による予測は、いずれも適切ではないと考えられるため、最新年度の値を採用することとする。

②不燃ごみ

中間市
不燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	18
H30	20
R1	19
R2	21
R3	20



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	0.5	10.1	0.4808
×	指数回帰	0.02595112	11.95426685	0.4885
×	対数回帰	9.610956338	-8.67212506	0.4957
×	べき乗回帰	0.498907031	4.511126069	0.5038
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	21	21	21	21	20	20	20
R5	22	22	21	22	20	20	20
R6	22	22	22	22	20	20	20
R7	23	23	22	22	20	20	20
R8	23	23	23	23	20	20	20
R9	24	24	23	23	20	20	20
R10	24	25	23	24	20	20	20
R11	25	25	24	24	20	20	20
R12	25	26	24	25	20	20	20
R13	26	27	24	25	20	20	20

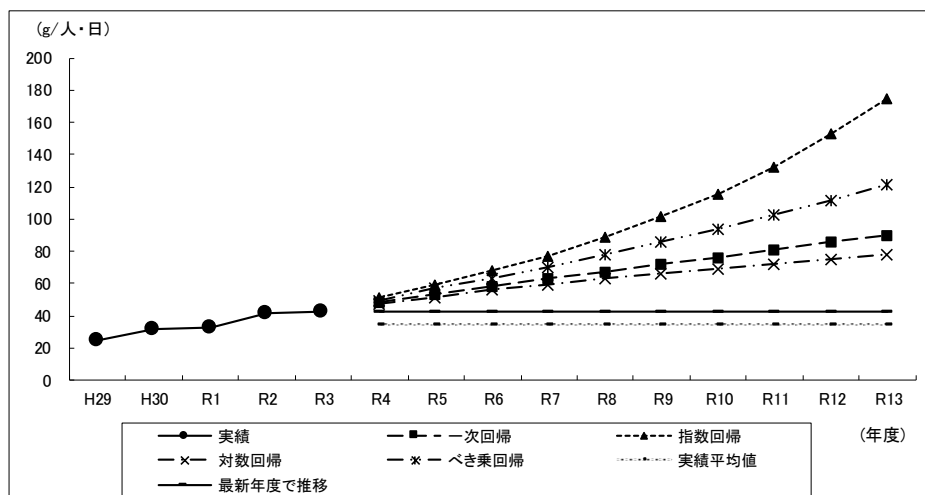
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

③粗大ごみ

中間市
粗大ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	25
H30	32
R1	33
R2	42
R3	43



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	4.6	-52.4	0.9363
×	指数回帰	0.13565823	2.607759543	0.9273
×	対数回帰	87.23599579	-221.618269	0.9396
×	べき乗回帰	2.578698673	0.017428543	0.9350
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	49	52	48	50	35	43	43
R5	53	59	52	57	35	43	43
R6	58	68	56	63	35	43	43
R7	63	77	59	70	35	43	43
R8	67	89	63	78	35	43	43
R9	72	102	66	86	35	43	43
R10	76	116	69	94	35	43	43
R11	81	133	72	103	35	43	43
R12	86	153	75	112	35	43	43
R13	90	175	78	122	35	43	43

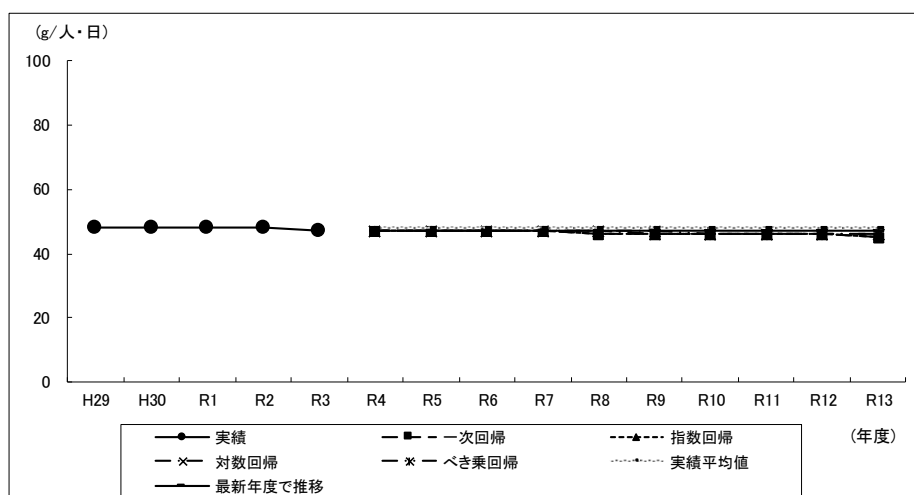
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

④資源ごみ

中間市
資源ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	48
H30	48
R1	48
R2	48
R3	47



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	-0.2	51.6	0.5000
×	指数回帰	-0.00421068	51.77944646	0.5000
×	対数回帰	-3.68653174	58.64450732	0.4740
○	べき乗回帰	-0.07761406	60.05760465	0.4740
×	実績平均値			
×	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	47	47	47	47	48	47	47
R5	47	47	47	47	48	47	47
R6	47	47	47	47	48	47	47
R7	47	47	47	47	48	47	47
R8	46	46	47	47	48	47	47
R9	46	46	46	47	48	47	47
R10	46	46	46	46	48	47	46
R11	46	46	46	46	48	47	46
R12	46	46	46	46	48	47	46
R13	45	45	46	46	48	47	46

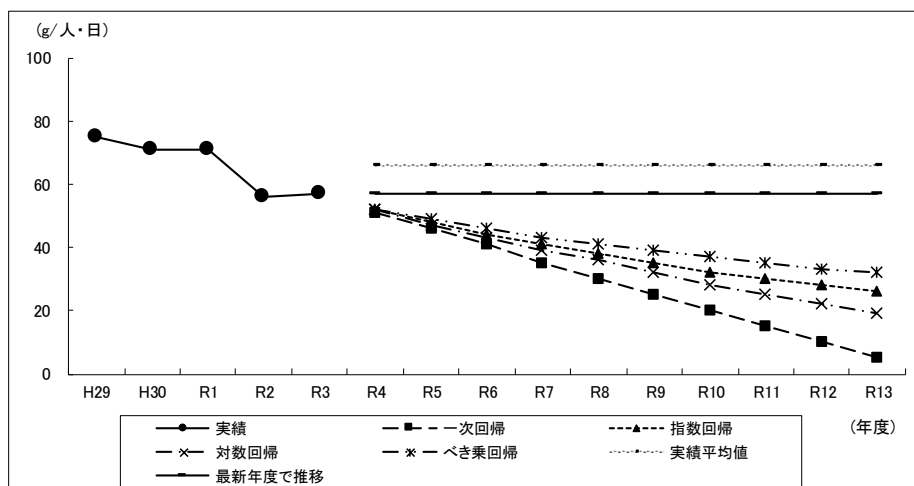
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も減少傾向を示していることから、これらの傾向線のうち比較的緩やかな減少傾向を示す、べき乗回帰式による値を採用することとする。

⑤ 集団回収

中間市
集団回収

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	75
H30	71
R1	71
R2	56
R3	57



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	-5.1	162.9	0.8337
×	指数回帰	-0.07862019	291.7898154	0.8217
×	対数回帰	-96.2267414	349.0659478	0.8281
×	べき乗回帰	-1.48261218	5133.714932	0.8154
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	51	52	52	52	66	57	57
R5	46	48	47	49	66	57	57
R6	41	44	43	46	66	57	57
R7	35	41	39	43	66	57	57
R8	30	38	36	41	66	57	57
R9	25	35	32	39	66	57	57
R10	20	32	28	37	66	57	57
R11	15	30	25	35	66	57	57
R12	10	28	22	33	66	57	57
R13	5	26	19	32	66	57	57

平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も減少傾向を示している。しかし、実績の変動が大きく、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

(3) 水巻町

水巻町の1人1日当たりごみ排出量は、資源ごみが増加傾向を示すほかは、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び集団回収は横ばいで推移するものと予測されます。その結果、総排出量としては増加傾向で推移し、中間目標年度である令和8年度で8,502t/年（1人1日当たり883g/人・日）になるものと予測されます。

水巻町		収集人口	可燃ごみ				不燃ごみ			粗大ごみ			資源ごみ			集団回収			ごみ総排出量		
		人	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	
実績値	H29	28,898	7,494	20.532	710	195	0.534	18	314	0.860	30	493	1.351	47	583	1.597	55	9,079	24.874	860	
	H30	28,612	7,414	20.312	710	204	0.559	20	367	1.005	35	496	1.359	47	526	1.441	50	9,007	24.676	862	
	R1	28,205	7,519	20.544	728	199	0.544	19	381	1.041	37	511	1.396	50	468	1.279	45	9,078	24.804	879	
	R2	28,030	7,498	20.542	733	221	0.605	22	489	1.340	48	536	1.468	52	301	0.825	29	9,045	24.780	884	
	R3	27,893	7,320	20.055	719	193	0.529	19	455	1.247	45	545	1.493	54	395	1.082	39	8,908	24.406	876	
予測値	R4	27,560	7,233	19.816	719	191	0.524	19	453	1.240	45	553	1.516	55	392	1.075	39	8,822	24.171	877	
	R5	27,227	7,165	19.576	719	189	0.517	19	448	1.225	45	568	1.552	57	389	1.062	39	8,759	23.932	879	
	R6	26,894	7,058	19.337	719	187	0.511	19	442	1.210	45	569	1.560	58	383	1.049	39	8,639	23.667	880	
	R7	26,559	6,970	19.096	719	184	0.505	19	436	1.195	45	582	1.594	60	378	1.036	39	8,550	23.426	882	
	R8	26,381	6,923	18.968	719	183	0.501	19	433	1.187	45	587	1.609	61	376	1.029	39	8,502	23.294	883	
	R9	26,203	6,895	18.840	719	182	0.498	19	432	1.179	45	604	1.651	63	374	1.022	39	8,487	23.190	885	
	R10	26,025	6,830	18.712	719	180	0.494	19	427	1.171	45	608	1.666	64	370	1.015	39	8,415	23.058	886	
	R11	25,847	6,783	18.584	719	179	0.491	19	424	1.163	45	613	1.680	65	368	1.008	39	8,367	22.926	887	
	R12	25,670	6,737	18.457	719	178	0.488	19	422	1.155	45	618	1.694	66	365	1.001	39	8,320	22.795	888	
	R13	25,465	6,701	18.309	719	177	0.484	19	419	1.146	45	634	1.732	68	363	0.993	39	8,294	22.664	890	

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 四捨五入の関係上、合計と個々の値の和が一致しない場合がある。

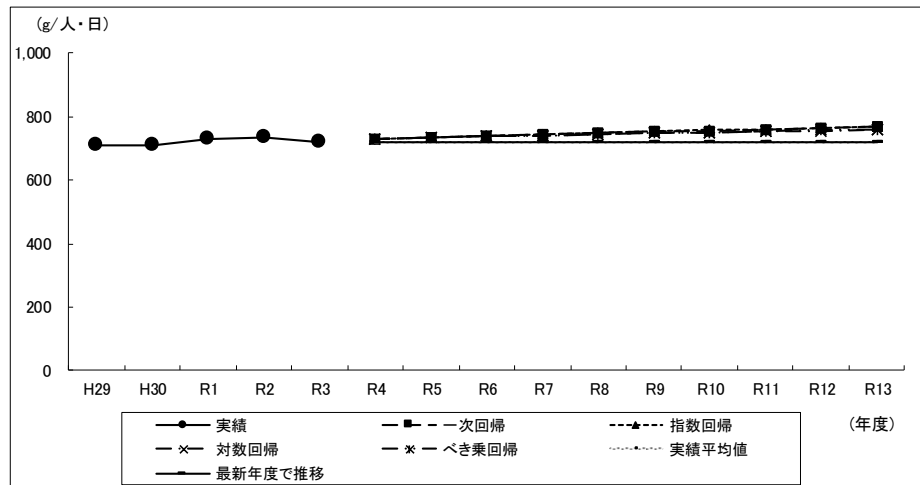
※2 各種ごみの排出量は、生活系ごみ及び事業系ごみの合計値

①可燃ごみ

水巻町
可燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	710
H30	710
R1	728
R2	733
R3	719



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	4.1	642.1	0.3873
×	指数回帰	0.005707351	645.9537752	0.3899
×	対数回帰	79.54800793	485.9971444	0.4068
×	べき乗回帰	0.110718805	519.8139713	0.4094
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	732	732	732	732	720	719	719
R5	736	737	735	736	720	719	719
R6	741	741	739	739	720	719	719
R7	745	745	742	742	720	719	719
R8	749	749	745	746	720	719	719
R9	753	754	748	749	720	719	719
R10	757	758	751	752	720	719	719
R11	761	762	754	755	720	719	719
R12	765	767	757	758	720	719	719
R13	769	771	759	760	720	719	719

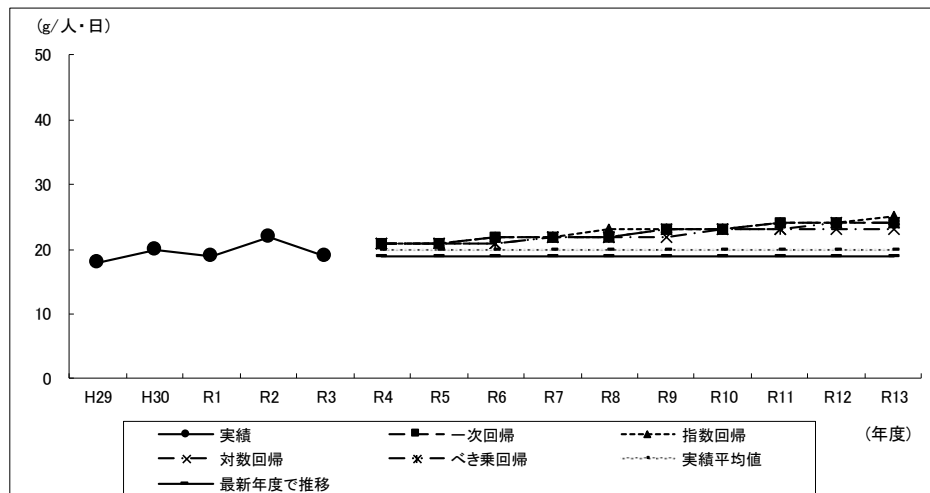
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、実績の推移からは明確な傾向が見られないことから、最新年度の値を採用することとする。

②不燃ごみ

水巻町
不燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	18
H30	20
R1	19
R2	22
R3	19



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	0.4	12	0.1739
×	指数回帰	0.020344462	13.28532584	0.1807
×	対数回帰	7.86241648	-3.52852271	0.1875
×	べき乗回帰	0.399968085	6.029333458	0.1948
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	21	21	21	21	20	19	19
R5	21	21	21	21	20	19	19
R6	22	22	21	21	20	19	19
R7	22	22	22	22	20	19	19
R8	22	23	22	22	20	19	19
R9	23	23	22	23	20	19	19
R10	23	23	23	23	20	19	19
R11	24	24	23	23	20	19	19
R12	24	24	23	24	20	19	19
R13	24	25	23	24	20	19	19

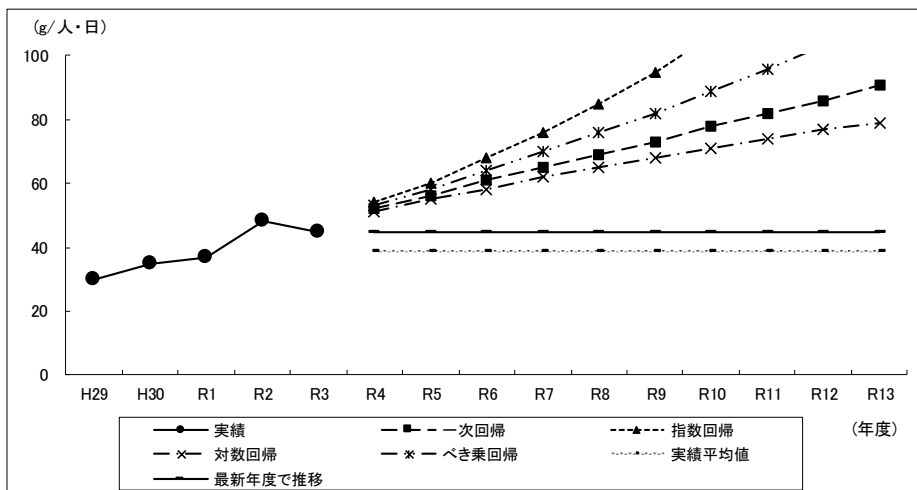
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、実績の推移からは明確な傾向が見られないことから、最新年度の値を採用することとする。

③粗大ごみ

水巻町
粗大ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	30
H30	35
R1	37
R2	48
R3	45



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	4.3	-42.7	0.8482
×	指数回帰	0.112678317	4.518487693	0.8705
×	対数回帰	81.69047523	-201.305257	0.8542
×	べき乗回帰	2.143226099	0.070258919	0.8787
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	52	54	51	53	39	45	45
R5	56	60	55	58	39	45	45
R6	61	68	58	64	39	45	45
R7	65	76	62	70	39	45	45
R8	69	85	65	76	39	45	45
R9	73	95	68	82	39	45	45
R10	78	106	71	89	39	45	45
R11	82	119	74	96	39	45	45
R12	86	133	77	103	39	45	45
R13	91	149	79	110	39	45	45

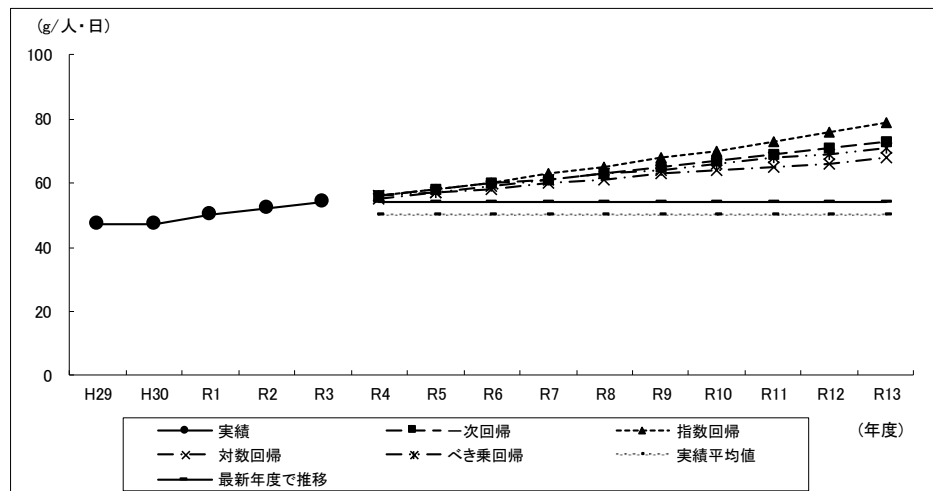
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

④資源ごみ

水巻町
資源ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	47
H30	47
R1	50
R2	52
R3	54



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	1.9	13.9	0.9500
×	指数回帰	0.037876901	24.30903477	0.9497
○	対数回帰	35.79491641	-55.296322	0.9408
×	べき乗回帰	0.713920173	6.112903148	0.9414
×	実績平均値			
×	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	56	56	55	56	50	54	55
R5	58	58	57	57	50	54	57
R6	60	60	58	59	50	54	58
R7	61	63	60	61	50	54	60
R8	63	65	61	63	50	54	61
R9	65	68	63	64	50	54	63
R10	67	70	64	66	50	54	64
R11	69	73	65	68	50	54	65
R12	71	76	66	69	50	54	66
R13	73	79	68	71	50	54	68

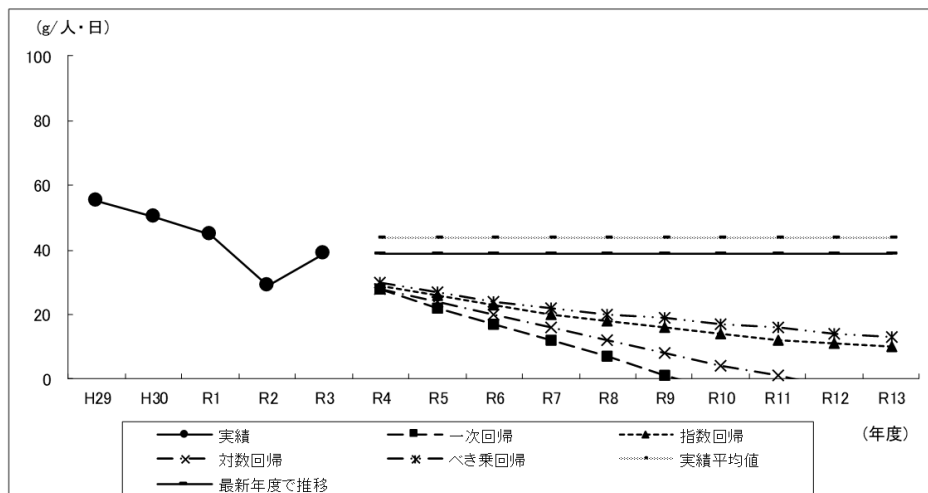
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示していることから、これらの傾向線のうち比較的緩やかな減少傾向を示す、対数回帰式による値を採用することとする。

⑤集団回収

水巻町
集団回収

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	55
H30	50
R1	45
R2	29
R3	39



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	-5.3	144.3	0.6898
×	指数回帰	-0.12322703	442.6098637	0.6084
×	対数回帰	-101.180177	341.2372499	0.7015
×	べき乗回帰	-2.35255587	43121.83524	0.6187
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	28	29	28	30	44	39	39
R5	22	26	24	27	44	39	39
R6	17	23	20	24	44	39	39
R7	12	20	16	22	44	39	39
R8	7	18	12	20	44	39	39
R9	1	16	8	19	44	39	39
R10	-4	14	4	17	44	39	39
R11	-9	12	1	16	44	39	39
R12	-15	11	-3	14	44	39	39
R13	-20	10	-6	13	44	39	39

平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も減少傾向を示している。しかし、実績の変動が大きく、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

(4) 岡垣町

岡垣町の1人1日当たりごみ排出量は、資源ごみはやや増加傾向を示すほかは、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び集団回収は横ばいで推移するものと予測されます。その結果、総排出量としてはやや増加傾向で推移し、中間目標年度である令和8年度で9,122t/年（1人1日当たり820g/人・日）になるものと予測されます。

岡垣町		収集人口	可燃ごみ			不燃ごみ			粗大ごみ			資源ごみ			集団回収			ごみ総排出量		
		人	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日
実績値	H29	32,049	7,487	20.512	640	219	0.600	19	536	1.468	46	531	1.455	45	793	2.173	68	9,566	26.208	818
	H30	31,805	7,419	20.326	639	221	0.605	19	626	1.715	54	526	1.441	45	719	1.970	62	9,511	26.057	819
	R1	31,699	7,615	20.806	656	222	0.607	19	665	1.817	57	528	1.443	46	658	1.798	57	9,688	26.471	835
	R2	31,644	7,507	20.567	650	246	0.674	21	824	2.258	71	530	1.452	46	620	1.699	54	9,727	26.650	842
	R3	31,598	7,305	20.014	633	232	0.636	20	759	2.079	66	528	1.447	46	627	1.718	54	9,451	25.894	819
予測値	R4	31,373	7,249	19.859	633	229	0.627	20	756	2.071	66	527	1.443	46	618	1.694	54	9,379	25.694	819
	R5	31,148	7,216	19.717	633	228	0.623	20	752	2.056	66	536	1.464	47	616	1.682	54	9,348	25.542	820
	R6	30,923	7,145	19.574	633	226	0.618	20	745	2.041	66	530	1.453	47	610	1.670	54	9,256	25.356	820
	R7	30,697	7,092	19.431	633	224	0.614	20	739	2.026	66	527	1.443	47	605	1.658	54	9,187	25.172	820
	R8	30,476	7,041	19.291	633	223	0.610	20	734	2.011	66	523	1.432	47	601	1.646	54	9,122	24.990	820
	R9	30,255	7,009	19.151	633	221	0.605	20	731	1.997	66	531	1.452	48	598	1.634	54	9,090	24.839	821
	R10	30,034	6,939	19.012	633	219	0.601	20	723	1.982	66	526	1.442	48	592	1.622	54	8,999	24.659	821
	R11	29,813	6,888	18.872	633	218	0.596	20	718	1.968	66	522	1.431	48	588	1.610	54	8,934	24.477	821
	R12	29,592	6,837	18.732	633	216	0.592	20	713	1.953	66	518	1.420	48	583	1.598	54	8,867	24.295	821
	R13	29,348	6,799	18.577	633	215	0.587	20	709	1.937	66	516	1.409	48	580	1.585	54	8,819	24.095	821

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 四捨五入の関係上、合計と個々の値の和が一致しない場合がある。

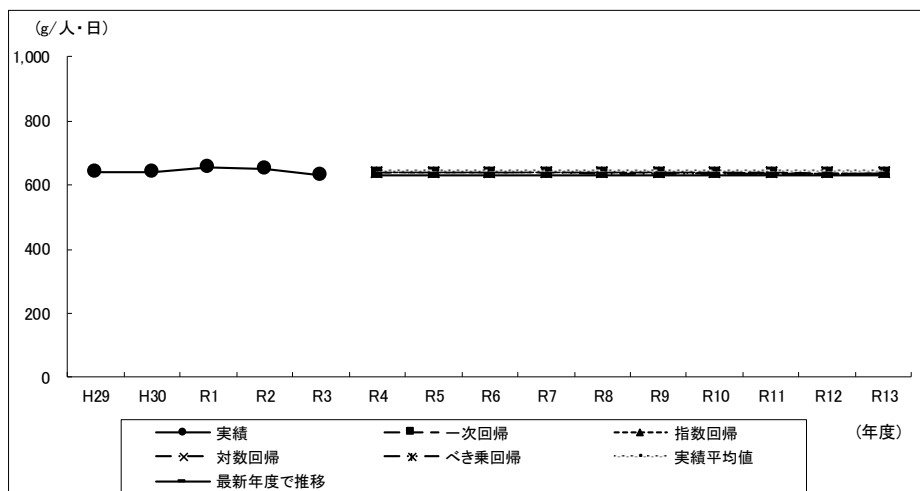
※2 各種ごみの排出量は、生活系ごみ及び事業系ごみの合計値

①可燃ごみ

岡垣町
可燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	640
H30	639
R1	656
R2	650
R3	633



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	-0.3	649.3	0.0026
×	指数回帰	-0.00049276	649.6005794	0.0030
×	対数回帰	-2.99197036	652.4013468	0.0007
×	べき乗回帰	-0.00515963	653.3892876	0.0009
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	643	643	643	643	644	633	633
R5	642	642	643	643	644	633	633
R6	642	642	643	643	644	633	633
R7	642	642	643	643	644	633	633
R8	642	641	643	642	644	633	633
R9	641	641	643	642	644	633	633
R10	641	641	642	642	644	633	633
R11	641	640	642	642	644	633	633
R12	640	640	642	642	644	633	633
R13	640	640	642	642	644	633	633

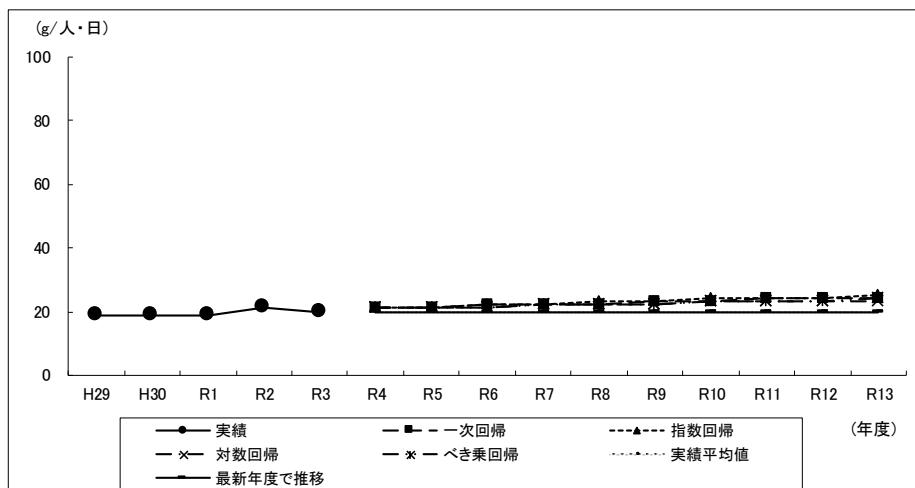
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も減少傾向を示している。しかし、実績の推移からは明確な傾向が見られないことから、最新年度の値を採用することとする。

②不燃ごみ

岡垣町
不燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	19
H30	19
R1	19
R2	21
R3	20



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	0.4	12	0.5000
×	指数回帰	0.020267005	13.32499027	0.5093
×	対数回帰	7.562515499	-2.64631727	0.4987
×	べき乗回帰	0.383055288	6.346462282	0.5077
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	21	21	21	21	20	20	20
R5	21	21	21	21	20	20	20
R6	22	22	21	21	20	20	20
R7	22	22	22	22	20	20	20
R8	22	23	22	22	20	20	20
R9	23	23	22	22	20	20	20
R10	23	24	23	23	20	20	20
R11	24	24	23	23	20	20	20
R12	24	24	23	23	20	20	20
R13	24	25	23	24	20	20	20

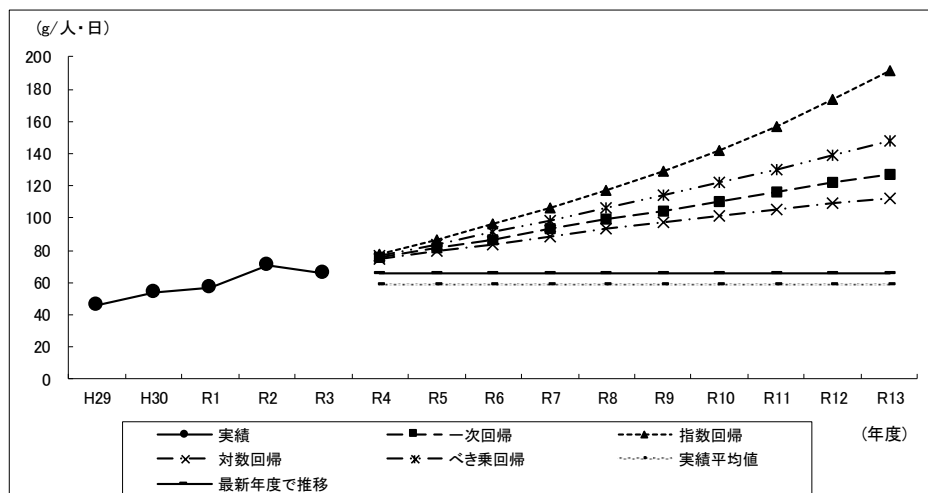
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、実績は概ね横ばいで推移していることから、最新年度の値を採用することとする。

③粗大ごみ

岡垣町
粗大ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	46
H30	54
R1	57
R2	71
R3	66



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	5.7	-49.5	0.8314
×	指数回帰	0.099572252	8.764675321	0.8495
×	対数回帰	108.5743153	-260.58826	0.8417
×	べき乗回帰	1.898740529	0.2180919	0.8619
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	76	78	75	77	59	66	66
R5	82	87	80	84	59	66	66
R6	87	96	84	91	59	66	66
R7	93	106	89	98	59	66	66
R8	99	117	93	106	59	66	66
R9	104	129	97	114	59	66	66
R10	110	142	101	122	59	66	66
R11	116	157	105	130	59	66	66
R12	122	174	109	139	59	66	66
R13	127	192	112	148	59	66	66

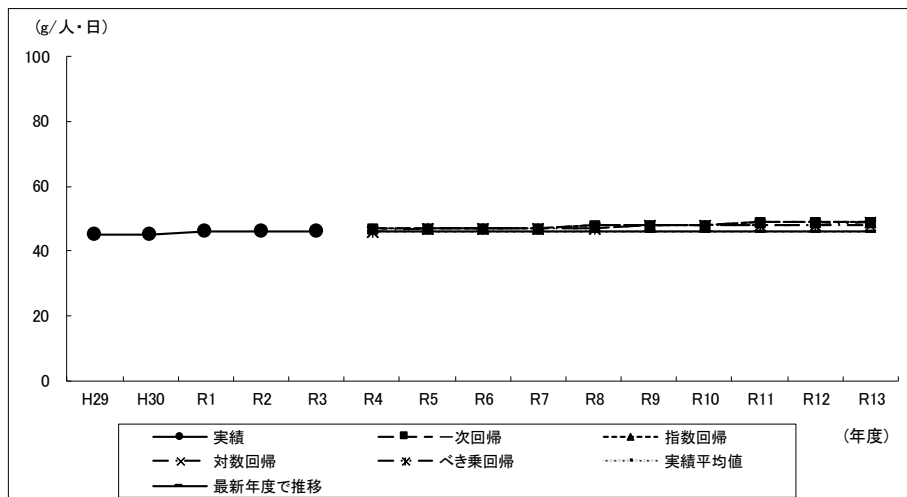
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

④資源ごみ

岡垣町
資源ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	45
H30	45
R1	46
R2	46
R3	46



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	0.3	39.9	0.7500
×	指数回帰	0.006593672	40.22827335	0.7500
○	対数回帰	5.724268565	28.76117241	0.7619
×	べき乗回帰	0.125813165	31.4925438	0.7619
×	実績平均値			
×	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	47	47	46	46	46	46	46
R5	47	47	47	47	46	46	47
R6	47	47	47	47	46	46	47
R7	47	47	47	47	46	46	47
R8	48	48	47	47	46	46	47
R9	48	48	48	48	46	46	48
R10	48	48	48	48	46	46	48
R11	49	49	48	48	46	46	48
R12	49	49	48	48	46	46	48
R13	49	49	48	49	46	46	48

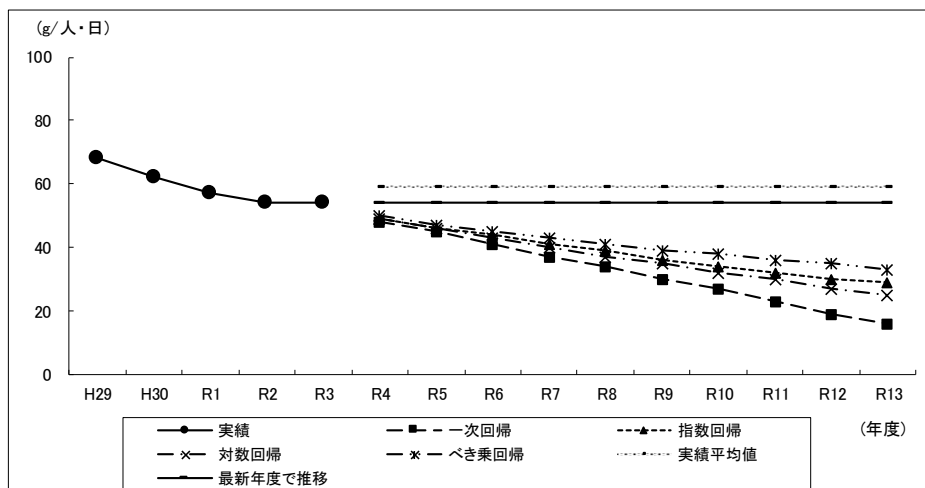
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示していることから、これらの傾向線のうち比較的緩やかな増加傾向を示す、対数回帰式による値を採用することとする。

⑤ 集団回収

岡垣町
集団回収

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	68
H30	62
R1	57
R2	54
R3	54



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	-3.6	127.4	0.9000
×	指数回帰	-0.05991977	183.4620504	0.9111
×	対数回帰	-68.8130419	261.4242809	0.9176
×	べき乗回帰	-1.14441219	1702.748541	0.9273
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	48	49	49	50	59	54	54
R5	45	46	46	47	59	54	54
R6	41	44	43	45	59	54	54
R7	37	41	40	43	59	54	54
R8	34	39	37	41	59	54	54
R9	30	36	35	39	59	54	54
R10	27	34	32	38	59	54	54
R11	23	32	30	36	59	54	54
R12	19	30	27	35	59	54	54
R13	16	29	25	33	59	54	54

平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も減少傾向を示している。しかし、実績の変動が大きく、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

(5) 芦屋町

芦屋町の1人1日当たりごみ排出量は、資源ごみがやや増加傾向を示すほかは、可燃ごみ及び集団回収が減少傾向、不燃ごみ及び粗大ごみは横ばいで推移するものと予測されます。その結果、総排出量としては減少傾向で推移し、中間目標年度である令和8年度で3,348t/年（1人1日当たり791g/人・日）になるものと予測されます。

芦屋町		収集人口	可燃ごみ				不燃ごみ			粗大ごみ			資源ごみ			集団回収			ごみ総排出量		
		人	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	
実績値	H29	14,260	3,343	9.159	642	103	0.282	20	185	0.507	36	221	0.605	42	390	1.068	75	4,242	11.621	815	
	H30	14,064	3,326	9.112	648	106	0.290	21	230	0.630	45	220	0.603	43	354	0.970	69	4,236	11.605	826	
	R1	13,905	3,298	9.011	648	104	0.284	20	256	0.699	50	224	0.612	44	323	0.883	63	4,205	11.489	825	
	R2	13,752	3,204	8.778	638	120	0.329	24	277	0.759	55	230	0.630	46	299	0.819	60	4,130	11.315	823	
	R3	13,500	3,112	8.526	632	107	0.293	22	271	0.742	55	226	0.619	46	261	0.715	53	3,977	10.895	808	
予測値	R4	13,081	3,022	8.280	633	105	0.288	22	262	0.719	55	224	0.615	47	239	0.654	50	3,852	10.556	807	
	R5	12,662	2,924	7.990	631	102	0.279	22	255	0.696	55	223	0.608	48	218	0.595	47	3,722	10.168	803	
	R6	12,243	2,811	7.701	629	98	0.269	22	246	0.673	55	219	0.600	49	197	0.539	44	3,571	9.782	799	
	R7	11,823	2,701	7.401	626	95	0.260	22	237	0.650	55	216	0.591	50	177	0.485	41	3,426	9.387	794	
	R8	11,596	2,641	7.236	624	93	0.255	22	233	0.638	55	216	0.591	51	165	0.452	39	3,348	9.172	791	
	R9	11,369	2,588	7.072	622	92	0.250	22	229	0.625	55	216	0.591	52	150	0.409	36	3,275	8.947	787	
	R10	11,142	2,521	6.908	620	89	0.245	22	224	0.613	55	211	0.579	52	138	0.379	34	3,183	8.724	783	
	R11	10,915	2,462	6.745	618	88	0.240	22	219	0.600	55	211	0.578	53	127	0.349	32	3,107	8.512	780	
	R12	10,690	2,408	6.596	617	86	0.235	22	215	0.588	55	211	0.577	54	121	0.331	31	3,041	8.327	779	
	R13	10,485	2,360	6.448	615	85	0.231	22	211	0.577	55	207	0.566	54	111	0.304	29	2,974	8.126	775	

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 四捨五入の関係上、合計と個々の値の和が一致しない場合がある。

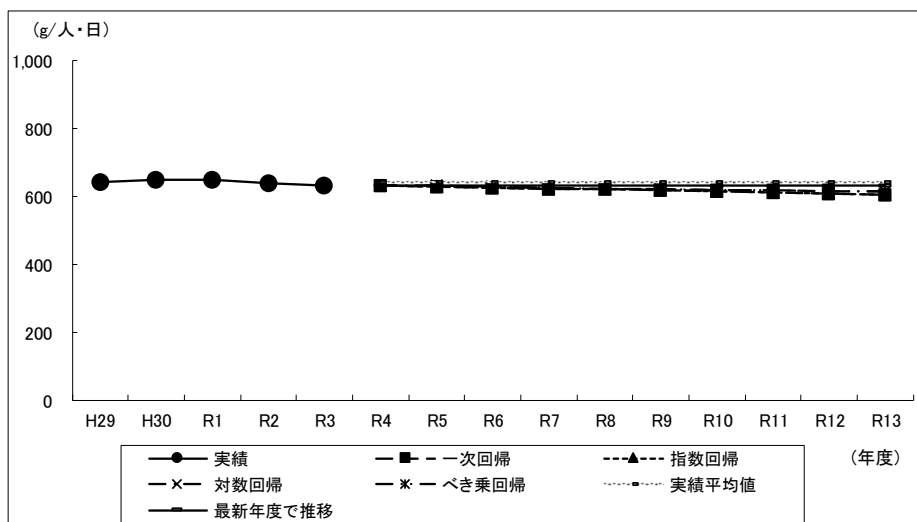
※2 各種ごみの排出量は、生活系ごみ及び事業系ごみの合計値

①可燃ごみ

芦屋町
可燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	642
H30	648
R1	648
R2	638
R3	632



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	-3	698.6	0.4808
×	指数回帰	-0.00469502	701.4326706	0.4830
×	対数回帰	-55.0462984	803.5272607	0.4517
○	べき乗回帰	-0.08615615	826.6333109	0.4539
×	実績平均値			
×	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	633	633	633	633	642	632	633
R5	630	630	631	631	642	632	631
R6	627	627	629	629	642	632	629
R7	624	624	626	626	642	632	626
R8	621	621	624	624	642	632	624
R9	618	618	622	622	642	632	622
R10	615	615	620	620	642	632	620
R11	612	612	618	618	642	632	618
R12	609	609	616	617	642	632	617
R13	606	606	614	615	642	632	615

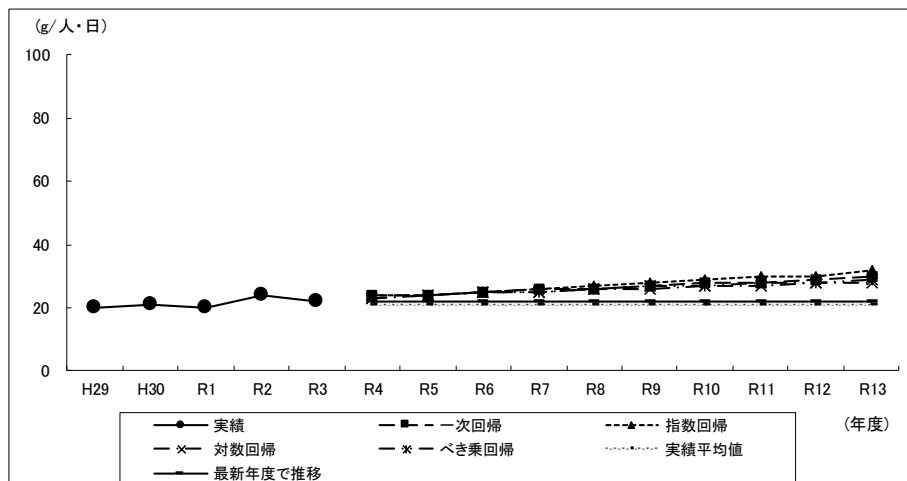
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も減少傾向を示していることから、これらの傾向線のうち比較的緩やかな減少傾向を示す、べき乗回帰式による値を採用することとする。

②不燃ごみ

芦屋町
不燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	20
H30	21
R1	20
R2	24
R3	22



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	0.7	8.1	0.4375
×	指数回帰	0.032415175	11.53202935	0.4491
×	対数回帰	13.28711713	-17.6861246	0.4398
×	べき乗回帰	0.61502958	3.496670909	0.4511
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	24	24	23	23	21	22	22
R5	24	24	24	24	21	22	22
R6	25	25	25	25	21	22	22
R7	26	26	25	25	21	22	22
R8	26	27	26	26	21	22	22
R9	27	28	26	27	21	22	22
R10	28	29	27	27	21	22	22
R11	28	30	27	28	21	22	22
R12	29	30	28	28	21	22	22
R13	30	32	28	29	21	22	22

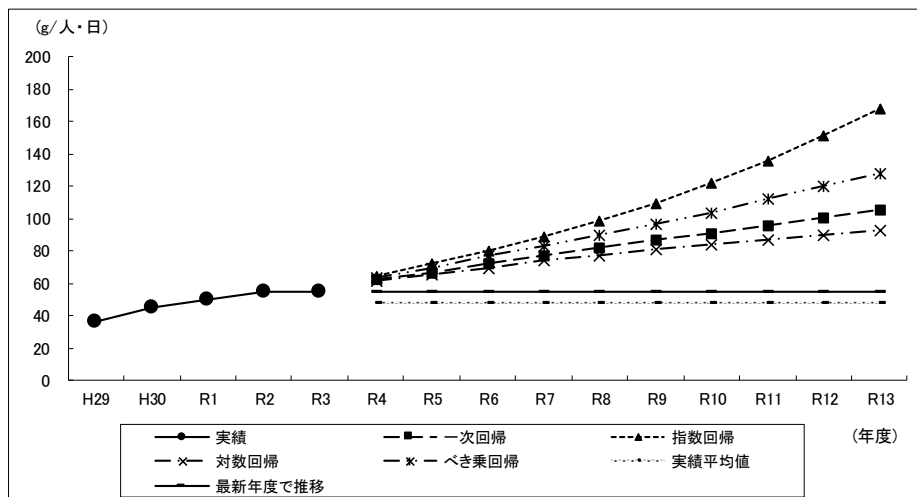
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、実績の推移からは明確な傾向が見られないことから、最新年度の値を採用することとする。

③粗大ごみ

芦屋町
粗大ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	36
H30	45
R1	50
R2	55
R3	55



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	4.8	-43	0.9042
×	指数回帰	0.104829919	6.498723037	0.8767
×	対数回帰	91.72115324	-221.612059	0.9213
×	べき乗回帰	2.006401235	0.130189059	0.8961
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	63	65	62	64	48	55	55
R5	67	72	66	70	48	55	55
R6	72	80	70	77	48	55	55
R7	77	89	74	83	48	55	55
R8	82	99	77	90	48	55	55
R9	87	110	81	97	48	55	55
R10	91	122	84	104	48	55	55
R11	96	136	87	112	48	55	55
R12	101	151	90	120	48	55	55
R13	106	168	93	128	48	55	55

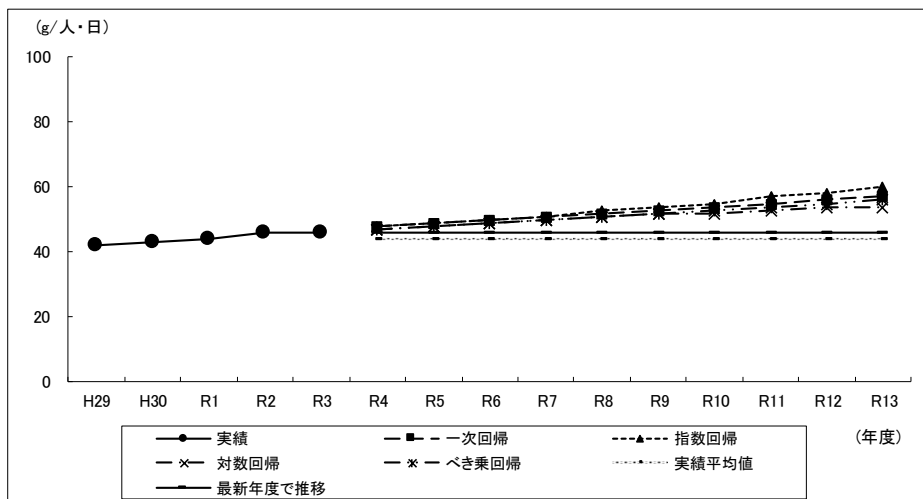
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

④資源ごみ

芦屋町
資源ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	42
H30	43
R1	44
R2	46
R3	46



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	1.1	23.3	0.9453
×	指数回帰	0.024938484	27.50140905	0.9467
○	対数回帰	20.8596705	-17.1619699	0.9486
×	べき乗回帰	0.473066024	10.98434457	0.9506
×	実績平均値			
×	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	48	48	47	47	44	46	47
R5	49	49	48	48	44	46	48
R6	50	50	49	49	44	46	49
R7	51	51	50	50	44	46	50
R8	52	53	51	51	44	46	51
R9	53	54	52	52	44	46	52
R10	54	55	52	53	44	46	52
R11	55	57	53	54	44	46	53
R12	56	58	54	55	44	46	54
R13	57	60	54	56	44	46	54

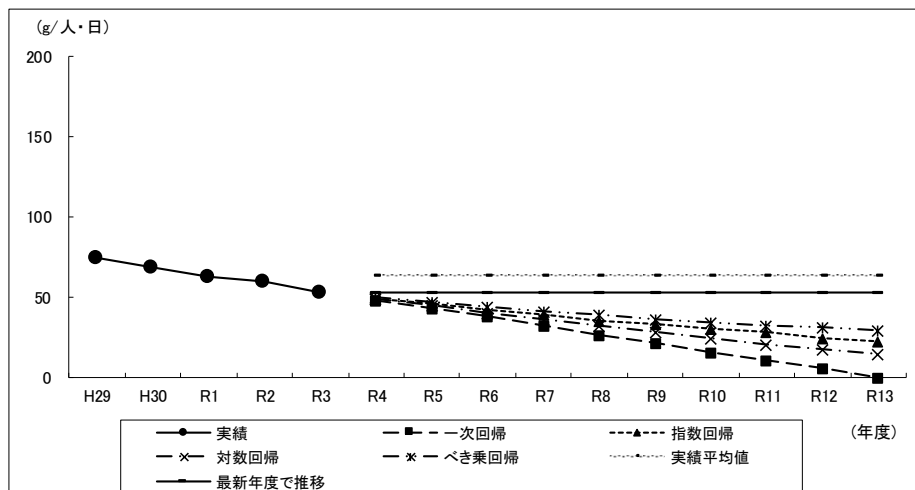
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示していることから、これらの傾向線のうち比較的緩やかな増加傾向を示す、対数回帰式による値を採用することとする。

⑤ 集団回収

芦屋町
集団回収

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	75
H30	69
R1	63
R2	60
R3	53



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	-5.3	164.7	0.9891
×	指数回帰	-0.08341543	310.0601821	0.9863
×	対数回帰	-100.343033	359.1746598	0.9893
○	べき乗回帰	-1.57654286	6565.077118	0.9831
×	実績平均値			
×	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	48	49	49	50	64	53	50
R5	43	46	45	47	64	53	47
R6	38	42	40	44	64	53	44
R7	32	39	36	41	64	53	41
R8	27	35	32	39	64	53	39
R9	22	33	28	36	64	53	36
R10	16	30	25	34	64	53	34
R11	11	28	21	32	64	53	32
R12	6	25	18	31	64	53	31
R13	0	23	15	29	64	53	29

平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も減少傾向を示していることから、これらの傾向線のうち比較的緩やかな減少傾向を示す、べき乗回帰式による値を採用することとする。

(6) 遠賀町

遠賀町の1人1日当たりごみ排出量は、資源ごみがやや増加傾向を示すほか、集団回収が減少傾向を示し、可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみが横ばいで推移するものと予測されます。その結果、総排出量としてやや減少傾向で推移し、中間目標年度である令和8年度で6,193t/年（1人1日当たり897g/人・日）になると予測されます。

遠賀町		収集人口	可燃ごみ			不燃ごみ			粗大ごみ			資源ごみ			集団回収			ごみ総排出量		
		人	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日	t/年	t/日	g/人・日
実績値	H29	19,320	4,952	13.567	702	145	0.397	21	338	0.926	48	331	0.907	47	487	1.334	69	6,253	17.132	887
	H30	19,324	4,944	13.545	701	144	0.395	20	407	1.115	58	333	0.912	47	469	1.285	66	6,297	17.252	892
	R1	19,364	5,074	13.863	716	143	0.391	20	454	1.240	64	343	0.937	48	447	1.221	63	6,461	17.653	911
	R2	19,176	4,972	13.622	710	155	0.425	22	540	1.479	77	349	0.956	50	414	1.134	59	6,430	17.616	918
	R3	19,238	4,973	13.625	708	142	0.389	20	474	1.299	68	353	0.967	50	401	1.099	57	6,343	17.378	903
予測値	R4	19,174	4,955	13.575	708	140	0.383	20	476	1.304	68	357	0.978	51	378	1.035	54	6,306	17.275	901
	R5	19,110	4,952	13.530	708	140	0.382	20	475	1.299	68	364	0.994	52	364	0.994	52	6,295	17.199	900
	R6	19,046	4,922	13.485	708	139	0.381	20	473	1.295	68	361	0.990	52	347	0.952	50	6,242	17.103	898
	R7	18,982	4,905	13.439	708	139	0.380	20	471	1.291	68	367	1.006	53	333	0.911	48	6,215	25.172	897
	R8	18,918	4,889	13.394	708	138	0.378	20	469	1.286	68	373	1.022	54	324	0.889	47	6,193	16.969	897
	R9	18,854	4,886	13.349	708	138	0.377	20	469	1.282	68	373	1.018	54	310	0.848	45	6,176	16.874	895
	R10	18,790	4,856	13.303	708	137	0.376	20	466	1.278	68	377	1.033	55	295	0.808	43	6,131	16.798	894
	R11	18,726	4,839	13.258	708	137	0.375	20	465	1.273	68	383	1.049	56	287	0.786	42	6,111	16.741	894
	R12	18,662	4,823	13.213	708	136	0.373	20	463	1.269	68	381	1.045	56	279	0.765	41	6,082	16.665	893
	R13	18,598	4,819	13.167	708	136	0.372	20	463	1.265	68	388	1.060	57	272	0.744	40	6,078	16.608	893

出典：組合資料(R3実績)、環境省一般廃棄物処理実態調査(H29～R2実績)

※1 四捨五入の関係上、合計と個々の値の和が一致しない場合がある。

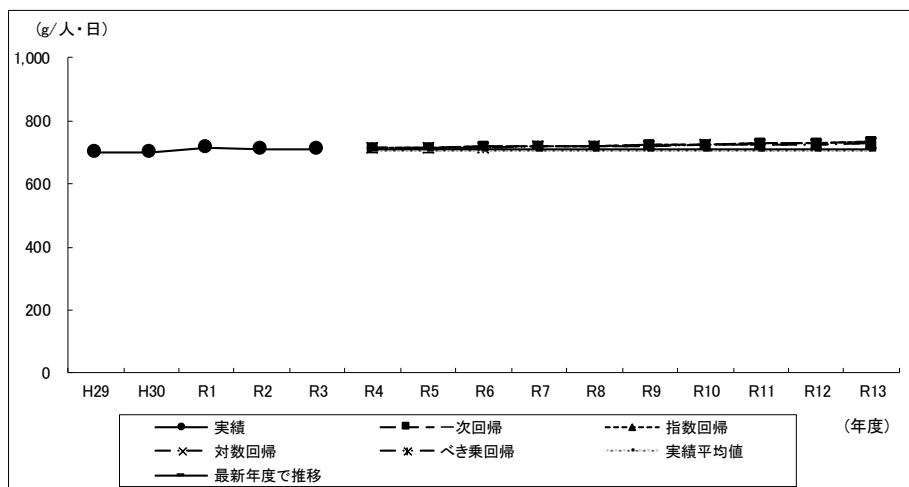
※2 各種ごみの排出量は、生活系ごみ及び事業系ごみの合計値

①可燃ごみ

遠賀町
可燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	702
H30	701
R1	716
R2	710
R3	708



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	2.1	667.5	0.2917
×	指数回帰	0.002977846	668.4669965	0.2941
×	対数回帰	40.85746858	587.2113923	0.3081
×	べき乗回帰	0.057925028	596.5545055	0.3105
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	714	714	714	714	707	708	708
R5	716	716	715	715	707	708	708
R6	718	718	717	717	707	708	708
R7	720	720	719	719	707	708	708
R8	722	722	720	720	707	708	708
R9	724	724	722	722	707	708	708
R10	726	727	723	724	707	708	708
R11	728	729	725	725	707	708	708
R12	731	731	726	726	707	708	708
R13	733	733	728	728	707	708	708

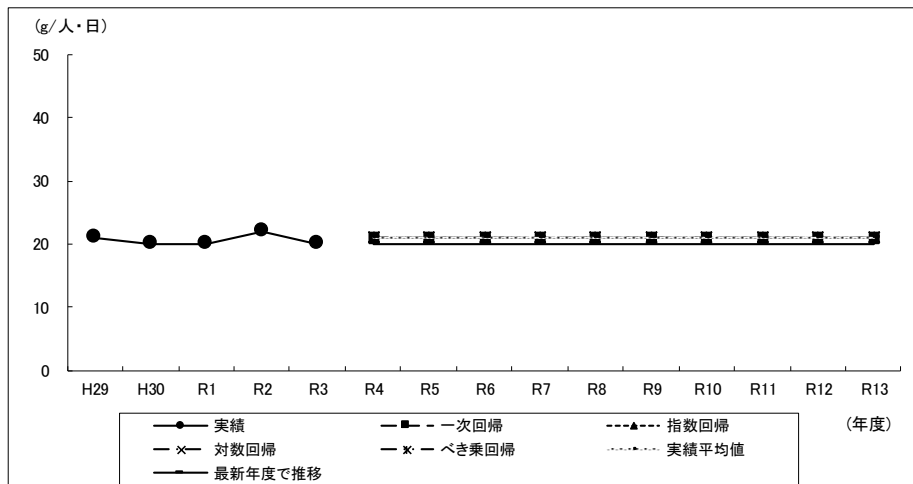
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、実績の推移からは明確な傾向が見られないことから、最新年度の値を採用することとする。

②不燃ごみ

遠賀町
不燃ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	21
H30	20
R1	20
R2	22
R3	20



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	0	20.6	0.0000
×	指数回帰	-0.00022701	20.67376747	0.0001
×	対数回帰	-0.01037094	20.63050774	0.0000
×	べき乗回帰	-0.00490553	20.88398758	0.0001
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	21	21	21	21	21	20	20
R5	21	21	21	21	21	20	20
R6	21	21	21	21	21	20	20
R7	21	21	21	21	21	20	20
R8	21	21	21	21	21	20	20
R9	21	21	21	21	21	20	20
R10	21	21	21	21	21	20	20
R11	21	21	21	21	21	20	20
R12	21	21	21	21	21	20	20
R13	21	21	21	21	21	20	20

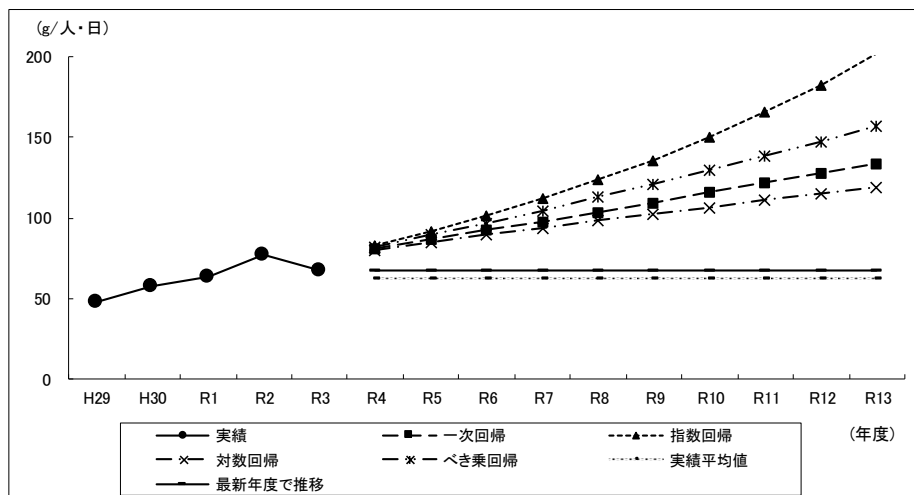
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績に明確な傾向がなく、回帰式による予測は、いずれも適切ではないと考えられるため、最新年度の値を採用することとする。

③粗大ごみ

遠賀町
粗大ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	48
H30	58
R1	64
R2	77
R3	68



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	5.9	-49.1	0.7375
×	指数回帰	0.09799758	9.667928107	0.7599
×	対数回帰	113.1491798	-269.845936	0.7569
×	べき乗回帰	1.880831532	0.246106512	0.7811
×	実績平均値			
○	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	81	83	80	82	63	68	68
R5	87	92	85	90	63	68	68
R6	93	102	90	97	63	68	68
R7	98	112	94	105	63	68	68
R8	104	124	99	113	63	68	68
R9	110	136	103	121	63	68	68
R10	116	150	107	130	63	68	68
R11	122	166	111	139	63	68	68
R12	128	183	115	148	63	68	68
R13	134	202	119	157	63	68	68

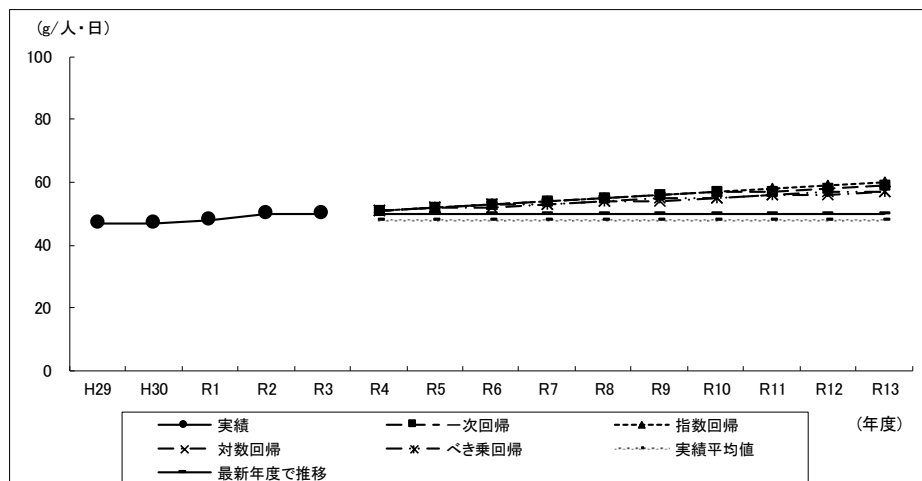
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示している。しかし、いずれの傾向線も現実的でないと考えられることから、最新年度の値を採用することとする。

④資源ごみ

遠賀町
資源ごみ

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	47
H30	47
R1	48
R2	50
R3	50



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	0.9	31.3	0.8804
×	指数回帰	0.018562621	34.00197611	0.8820
○	対数回帰	16.9733158	-1.52965217	0.8738
×	べき乗回帰	0.350119641	17.27355963	0.8755
×	実績平均値			
×	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	51	51	51	51	48	50	51
R5	52	52	52	52	48	50	52
R6	53	53	52	53	48	50	52
R7	54	54	53	53	48	50	53
R8	55	55	54	54	48	50	54
R9	56	56	54	55	48	50	54
R10	57	57	55	55	48	50	55
R11	57	58	56	56	48	50	56
R12	58	59	56	57	48	50	56
R13	59	60	57	57	48	50	57

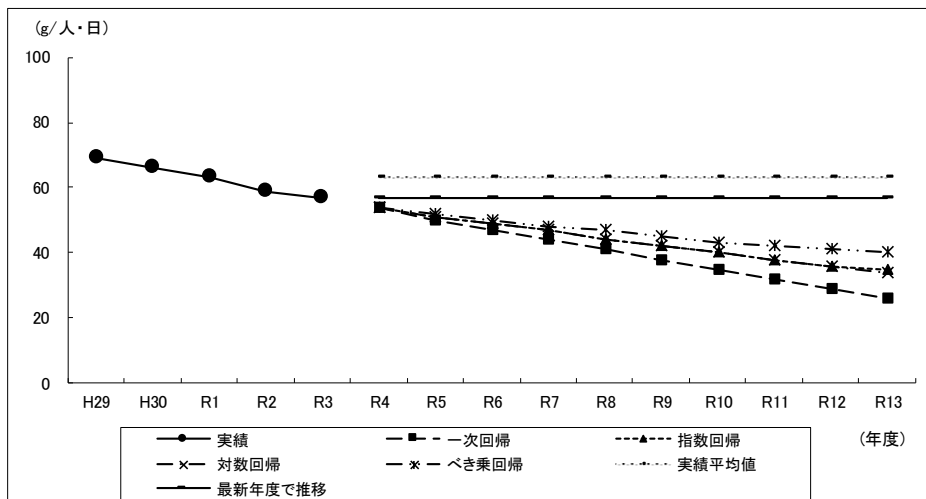
平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も増加傾向を示していることから、これらの傾向線のうち比較的緩やかな増加傾向を示す、対数回帰式による値を採用することとする。

⑤ 集団回収

遠賀町
集団回収

単位: (g/人・日)

年度	排出量
H29	69
H30	66
R1	63
R2	59
R3	57



採用	回帰式	回帰係数		寄与率 r2
		a	b	
×	一次回帰	-3.1	121.7	0.9928
×	指数回帰	-0.04942278	160.2170892	0.9929
×	対数回帰	-58.7030278	235.4840996	0.9934
○	べき乗回帰	-0.93513623	980.7776759	0.9919
×	実績平均値			
×	最新年度で推移			

予測結果	一次回帰	指数回帰	対数回帰	べき乗回帰	実績平均値	最新年度で推移	採用値
R4	54	54	54	54	63	57	54
R5	50	51	51	52	63	57	52
R6	47	49	49	50	63	57	50
R7	44	47	47	48	63	57	48
R8	41	44	44	47	63	57	47
R9	38	42	42	45	63	57	45
R10	35	40	40	43	63	57	43
R11	32	38	38	42	63	57	42
R12	29	36	36	41	63	57	41
R13	26	35	34	40	63	57	40

平成 29 年度から令和 3 年度までの実績の推移に対し、いずれの傾向線も減少傾向を示していることから、これらの傾向線のうち比較的緩やかな減少傾向を示す、べき乗回帰式による値を採用することとする。

資料 4. ごみ減量化等の数値目標

1) 国・県等の一般廃棄物減量化目標

ごみの排出抑制や再資源化及び最終処分については、廃棄物処理の基本方針や循環型社会形成推進基本計画において国の目標値が設定されています。また、福岡県廃棄物処理計画においては、国の目標値を踏まえて県の目標値が設定されています。組合管内の可燃ごみ処理業務を基本協定書に基づき委託している北九州市においても北九州市循環型社会形成推進基本計画の中で、市の目標値が設定されています。よって、これらの目標値等を勘案しつつ、組合の目標値を設定します。

表 4－1 廃棄物処理法の基本方針（令和 2 年 3 月通知）における一般廃棄物の目標値

	令和7年度目標値
排出量	1人1日当たりの家庭系ごみ※排出量：440グラム
再生利用率	約28%に増加
最終処分量	320万トン

※生活系ごみから資源ごみ量、集団回収量を除いた量

表 4－2 循環型社会形成推進基本計画における一般廃棄物の目標値

	令和7年度目標値
国民、事業者双方に係る取組指標	「1人1日当たりのごみ排出量（計画収集量、直接搬入量、集団回収量を加えた一般廃棄物の排出量を、1人1日当たりに換算）」を約850グラムとすることを目標
家庭系ごみについて	国民のごみ減量化への努力や分別収集の努力を表す代表的な指標として、集団回収量、資源ごみ等を除いた、家庭からの1人1日当たりごみ排出量を、約440グラムとすることを目標
事業系ごみについて	事業所数の変動が大きいこと、事業所規模によってごみの排出量に顕著な差が見られることなどから、1事業所当たりではなく、事業系ごみの「総量」について、年間1,100万トンとすることを目標

表 4－3 福岡県廃棄物処理計画の目標値

	令和7年度目標値
ごみ総排出量の増減率	平成30(2018)年度比 -5%
1人1日当たりの家庭系ごみ排出量※	516g（平成30(2018)年度比 約-2%）
再生利用率（排出量比）	22%（民間リサイクルを加味した再生利用率40%）
最終処分量の増減率	平成30(2018)年度比 -6%

出典：福岡県廃棄物処理計画（令和3年3月）

※生活系ごみから資源ごみを控除した量

表 4－4 北九州市循環型社会形成推進基本計画の目標値

	令和 7 年度目標値
市民 1 人一日当たりの家庭ごみ量※	440 グラム以下 （令和元年度：468g/人・日であり、令和元年度比で約 6%削減）
リサイクル率	30%以上（令和元年度：28.0%）

出典：令和 3 年 8 月 第 2 期北九州市循環型社会形成推進基本計画

※生活系ごみから資源ごみ量、集団回収量を除いた量

2) 組合地域における数値目標

現行計画において設定した、中間目標年度（令和 3 年度）の目標値と令和 3 年度実績値を比較すると、「ごみ排出量の削減目標」及び「資源化の目標」が未達成の状況にあります。

このため、本計画における目標値としては、計画策定時（平成 29 年度）に設定した目標値を継承することとします。目標値は、令和 8 年度（中間目標年度）に達成することを目指し、令和 13 年度（計画目標年度）まではこの目標の水準を維持することとします。

現行計画目標値（令和 3 年度目標）	
○ごみ排出量の削減目標：	
①可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの 1 人 1 日当たり排出量	平成 28 年度比で 5%削減
(平成 28 年度：733g/人・日 → 令和 3 年度：697g/人・日)	
②ごみ受入量※（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ）	平成 28 年度比で 10%削減
(平成 28 年度：39,128t/年 → 令和 3 年度：35,216t/年)	
○資源化の目標： <u>リサイクル率 30%以上</u>	
(組合地域全体のリサイクル率 平成 28 年度：22.5% → 令和 3 年度：30%以上)	
○最終処分の目標： <u>最終処分率を極力増加させないこと</u>	

※ごみ受入量：遠賀・中間リレーセンター及び中間・遠賀リサイクルプラザにおいて受け入れるごみ量

(1) ごみ排出量の削減目標

令和 8 年度（中間目標年度）における可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの 1 人 1 日当たり排出量を、697g/人・日に削減することとします。また、遠賀・中間リレーセンター及び中間・遠賀リサイクルプラザにおけるごみ受入量を、35,216t/年以下に削減することとします。

(2) 資源化の目標

資源化の目標は、資源化の取組をさらに進めることにより、令和 8 年度（中間目標年度）におけるリサイクル率を 30%以上とすることとします。

(3) 最終処分の目標

組合が行う最終処分については、ごみ排出量の削減と資源化を推進することにより、組合地域全体における令和 8 年度（中間目標年度）の最終処分率を極力増加させないこととします。

(4) 数値目標のまとめ

組合地域全体におけるごみ減量化等の目標（令和 8 年度目標）	
○ごみ排出量の削減目標：	
①可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの 1 人 1 日当たり排出量	<u>697g/人・日</u>
(令和 3 年度：745g/人・日 → 令和 8 年度：697g/人・日)	
②ごみ受入量※（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ）	<u>35,216t/年以下</u>
(令和 3 年度：38,478t/年 → 令和 8 年度：35,216t/年以下)	
○資源化の目標： <u>リサイクル率 30%以上</u>	
(組合地域全体のリサイクル率 令和 3 年度：28.3% → 令和 8 年度：30%以上)	
○最終処分の目標： <u>最終処分率を極力増加させないこと</u>	

※ごみ受入量：遠賀・中間リレーセンター及び中間・遠賀リサイクルプラザにおいて受け入れるごみ量

3) 削減目標を達成した場合のごみ排出量の推移

前項で設定したごみ排出量の削減目標（2 種類）を構成市町ごとに当てはめて、それぞれ目標を達成した場合のごみ排出量を以下の要領で試算します。

(1) 試算手法

ごみ排出量に関する削減目標が2つあることから、それぞれの目標を達成した場合のごみ排出量の試算方法は以下のとおりです。

- ・パターン1：令和8年度における可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの1人1日当たり排出量を組合全体で697g/人・日に削減した場合

【構成市町分の試算方法】

- ①構成市町の令和8年度の1人1日当たり排出量を697g/人・日とします。
- ②令和8年度におけるごみ区分（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ）ごとの1人1日当たり排出量は、過去5年間の区分ごとの排出量の平均値を算出し、その割合×697g/人・日から算出します。
- ③令和4～7年度の区分ごとの1人1日当たり排出量は、それぞれ令和3年度及び②の比例按分とし、令和9～13年度は、令和8年度の1人1日当たり排出量を維持するものとします。

【組合全体分の試算方法】

- ④組合全体の数値は構成市町の排出量を合算し、算出します。

- ・パターン2：ごみ受入量（令和8年度における可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの年間ごみ排出量）を組合全体で35,216t/年以下に削減した場合

【構成市町分の試算方法】

- ①令和8年度のごみ受入量は、35,216t/年（1人1日当たり排出量換算で772g/人・日）とします。
- ②1人1日当たり排出量772g/人・日に対して、構成市町の令和3年度実績がこれを上回る場合は772g/人・日を目標とします（中間市・水巻町・遠賀町：772g/人・日）。既に772g/人・日以下を達成している岡垣町（765g/人・日）、芦屋町（755g/人・日）については令和3年度実績を維持するものとします。
- ③令和8年度のごみ受入量(t/年)は②で定めた1人1日当たり排出量より算出します。なお、構成市町のごみ区分ごとの受入量は、令和3年度の割合に同じとします。
中間市・水巻町・遠賀町：772g/人・日×令和8年度の将来予測人口×365日
岡垣町：765g/人・日×令和8年度の将来予測人口×365日
芦屋町：755g/人・日×令和8年度の将来予測人口×365日
- ④令和4～7年度のごみ区分ごとの受入量(t/年)は、それぞれ令和3年度及び令和8年度の1人1日当たり排出量の比例按分とし、令和8年度以降は、②で定めた1人1日当たり排出量を維持するものとし、ごみ受入量を算出します。

【組合全体分】

- ⑤組合全体の数値は、構成市町の試算結果を合算し、算出します。

(2) 組合全体及び構成市町別の試算結果

組合全体及び構成市町において、パターン1、パターン2それぞれの目標を達成した場合のごみ排出量の推移を試算した結果は、次のとおりです。なお、目標値の()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値を示しています。

①組合全体

組合全体のごみ排出量及びごみ受入量は②～⑥に示す構成市町の合計値とし、組合全体の行政区域内人口（＝計画収集人口）に基づき1人1日当たりごみ排出量を試算します。

(i) パターン1（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの1人1日当たり排出量を組合全体で697g/人・日に削減した場合）

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (g/人・日)	672	665 (668)	657 (664)	649 (660)	642 (655)	634 (651)	634 (651)	634 (651)	634 (651)	634 (651)	634 (651)
不燃ごみ (g/人・日)	20	20 (20)	19 (20)	19 (19)	19 (19)	19 (19)	19 (19)	19 (19)	19 (19)	19 (19)	19 (19)
粗大ごみ (g/人・日)	53	52 (48)	50 (43)	48 (37)	46 (32)	44 (26)	44 (26)	44 (26)	44 (26)	44 (26)	44 (26)
合計 (g/人・日)	745	737 (736)	726 (727)	716 (716)	707 (706)	697 (696)	697 (696)	697 (696)	697 (696)	697 (696)	697 (696)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

(ii) パターン2（ごみ受入量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計）を組合全体で35,216t/年以下に削減した場合）

試算の結果、組合全体の令和8年度のごみ受入量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計）は、35,079t/年となると見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	32,568	31,944 (32,041)	31,410 (31,605)	30,730 (30,991)	30,114 (30,467)	29,682 (30,116)	29,532 (29,951)	29,220 (29,629)	28,990 (29,390)	28,760 (29,155)	28,599 (28,985)
不燃ごみ (t/年)	969	956 (956)	939 (946)	914 (918)	895 (905)	885 (896)	883 (893)	873 (882)	868 (877)	860 (869)	856 (865)
粗大ごみ (t/年)	2,588	2,555 (2,301)	2,515 (2,038)	2,449 (1,753)	2,401 (1,496)	2,368 (1,218)	2,355 (1,217)	2,329 (1,205)	2,312 (1,195)	2,294 (1,185)	2,281 (1,179)
資源ごみ (t/年)	2,353	2,307 (2,295)	2,266 (2,255)	2,221 (2,180)	2,176 (2,134)	2,144 (2,094)	2,130 (2,078)	2,107 (2,043)	2,090 (2,027)	2,075 (2,010)	2,063 (1,998)
合計 (t/年)	38,478	37,762 (37,593)	37,130 (36,844)	36,314 (35,842)	35,586 (35,002)	35,079 (34,324)	34,900 (34,139)	34,529 (33,759)	34,260 (33,489)	33,989 (33,219)	33,799 (33,027)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

②中間市

中間市において、パターン 1、パターン 2 それぞれの目標を達成した場合、ごみ排出量の試算結果は次のとおりです。

(i)パターン 1 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの 1 人 1 日当たり排出量を組合全体で 697g/人・日に削減した場合)

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (g/人・日)	667	662 (662)	658 (658)	653 (653)	649 (649)	644 (644)	644 (644)	644 (644)	644 (644)	644 (644)	644 (644)
不燃ごみ (g/人・日)	20	20 (20)	19 (19)	19 (19)	19 (18)	19 (18)	19 (18)	19 (18)	19 (18)	19 (18)	19 (18)
粗大ごみ (g/人・日)	43	41 (38)	39 (33)	38 (28)	36 (23)	34 (18)	34 (18)	34 (18)	34 (18)	34 (18)	34 (18)
合計 (g/人・日)	730	723 (720)	716 (710)	710 (700)	704 (690)	697 (680)	697 (680)	697 (680)	697 (680)	697 (680)	697 (680)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

19

(ii)パターン 2 (ごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) を組合全体で 35,216t/年以下に削減した場合)

試算の結果、中間市の令和 8 年度のごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) は、10,608t/年となると見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	9,858	9,685 (9,700)	9,542 (9,571)	9,362 (9,390)	9,193 (9,235)	9,106 (9,166)	9,067 (9,121)	8,973 (9,027)	8,905 (8,958)	8,836 (8,889)	8,789 (8,842)
不燃ごみ (t/年)	295	291 (291)	287 (287)	281 (268)	277 (263)	273 (263)	273 (260)	271 (257)	269 (255)	266 (253)	265 (252)
粗大ごみ (t/年)	629	625 (553)	617 (488)	591 (408)	581 (346)	581 (268)	574 (273)	568 (271)	564 (269)	560 (266)	557 (265)
資源ごみ (t/年)	701	684 (684)	675 (675)	662 (662)	651 (651)	648 (646)	643 (643)	636 (623)	631 (618)	626 (613)	623 (610)
合計 (t/年)	11,483	11,285 (11,228)	11,121 (11,021)	10,896 (10,728)	10,702 (10,495)	10,608 (10,343)	10,557 (10,297)	10,448 (10,178)	10,369 (10,100)	10,288 (10,021)	10,234 (9,969)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

③水巻町

水巻町において、パターン 1、パターン 2 それぞれの目標を達成した場合、ごみ排出量の試算結果は次のとおりです。

(i) パターン 1 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの 1 人 1 日当たり排出量を組合全体で 697g/人・日に削減した場合)

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (g/人・日)	719	704 (712)	689 (705)	674 (698)	659 (691)	644 (684)	644 (684)	644 (684)	644 (684)	644 (684)	644 (684)
不燃ごみ (g/人・日)	19	19 (19)	19 (19)	18 (18)	18 (18)	18 (18)	18 (18)	18 (18)	18 (18)	18 (18)	18 (18)
粗大ごみ (g/人・日)	45	43 (40)	41 (36)	39 (31)	37 (27)	35 (22)	35 (22)	35 (22)	35 (22)	35 (22)	35 (22)
合計 (g/人・日)	783	766 (771)	749 (760)	731 (747)	714 (736)	697 (724)	697 (724)	697 (724)	697 (724)	697 (724)	697 (724)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値



(ii) パターン 2 (ごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) を組合全体で 35,216t/年以下に削減した場合)

試算の結果、水巻町の令和 8 年度のごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) は、7,434t/年となると見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	7,320	7,122 (7,230)	6,946 (7,160)	6,734 (7,061)	6,543 (6,902)	6,392 (6,836)	6,368 (6,809)	6,308 (6,744)	6,264 (6,698)	6,221 (6,652)	6,189 (6,617)
不燃ごみ (t/年)	193	191 (192)	189 (190)	177 (188)	174 (184)	169 (181)	173 (182)	171 (180)	170 (179)	169 (178)	168 (177)
粗大ごみ (t/年)	455	443 (403)	429 (361)	422 (307)	407 (262)	397 (214)	393 (211)	389 (209)	387 (208)	384 (206)	382 (205)
資源ごみ (t/年)	545	533 (534)	518 (521)	501 (495)	485 (475)	476 (462)	470 (460)	465 (456)	462 (453)	459 (450)	457 (447)
合計 (t/年)	8,513	8,289 (8,359)	8,082 (8,232)	7,834 (8,051)	7,609 (7,823)	7,434 (7,693)	7,404 (7,662)	7,333 (7,589)	7,283 (7,538)	7,233 (7,486)	7,196 (7,446)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

④岡垣町

岡垣町において、パターン 1、パターン 2 それぞれの目標を達成した場合、ごみ排出量の試算結果は次のとおりです。

(i) パターン 1 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの 1 人 1 日当たり排出量を組合全体で 697g/人・日以下に削減した場合)

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (g/人・日)	633	631 (631)	628 (628)	626 (626)	623 (623)	621 (621)	621 (621)	621 (621)	621 (621)	621 (621)	621 (621)
不燃ごみ (g/人・日)	20	20 (20)	20 (20)	19 (20)	19 (20)	19 (20)	19 (20)	19 (20)	19 (20)	19 (20)	19 (20)
粗大ごみ (g/人・日)	66	64 (59)	62 (52)	61 (46)	59 (39)	57 (32)	57 (32)	57 (32)	57 (32)	57 (32)	57 (32)
合計 (g/人・日)	719	715 (710)	710 (700)	706 (692)	701 (682)	697 (673)	697 (673)	697 (673)	697 (673)	697 (673)	697 (673)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値



(ii) パターン 2 (ごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) を組合全体で 35,216t/年以下に削減した場合)

試算の結果、岡垣町の令和 8 年度のごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) は、8,510t/年となると見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	7,305	7,249 (7,224)	7,216 (7,180)	7,145 (7,085)	7,092 (6,980)	7,045 (6,899)	7,009 (6,865)	6,939 (6,797)	6,888 (6,747)	6,837 (6,697)	6,799 (6,660)
不燃ごみ (t/年)	232	229 (229)	228 (229)	226 (227)	224 (224)	224 (223)	221 (221)	219 (219)	218 (218)	216 (216)	215 (215)
粗大ごみ (t/年)	759	756 (677)	752 (594)	745 (522)	739 (437)	732 (356)	731 (354)	723 (351)	718 (348)	713 (346)	709 (344)
資源ごみ (t/年)	528	527 (516)	524 (515)	519 (499)	515 (493)	509 (481)	509 (476)	504 (471)	500 (468)	497 (464)	494 (462)
合計 (t/年)	8,824	8,761 (8,646)	8,720 (8,518)	8,635 (8,333)	8,570 (8,134)	8,510 (7,959)	8,470 (7,916)	8,385 (7,838)	8,324 (7,781)	8,263 (7,723)	8,217 (7,681)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

⑤芦屋町

芦屋町において、パターン 1、パターン 2 それぞれの目標を達成した場合、ごみ排出量の試算結果は次のとおりです。

(i)パターン 1 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの 1 人 1 日当たり排出量を組合全体で 697g/人・日に削減した場合)

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (g/人・日)	632	631 (633)	631 (631)	630 (629)	630 (626)	629 (624)	629 (622)	629 (620)	629 (618)	629 (617)	629 (615)
不燃ごみ (g/人・日)	22	22 (22)	22 (22)	21 (22)	21 (22)	21 (22)	21 (22)	21 (22)	21 (22)	21 (22)	21 (22)
粗大ごみ (g/人・日)	55	53 (50)	52 (45)	50 (39)	49 (34)	47 (29)	47 (29)	47 (29)	47 (29)	47 (29)	47 (29)
合計 (g/人・日)	709	706 (705)	705 (698)	701 (690)	700 (682)	697 (675)	697 (673)	697 (671)	697 (669)	697 (668)	697 (666)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

49

(ii)パターン 2 (ごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) を組合全体で 35,216t/年以下に削減した場合)

試算の結果、芦屋町の令和 8 年度のごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) は、3,196t/年となると見込まれます。

区分		目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	3,112	3,017 (3,042)	2,929 (2,963)	2,824 (2,869)	2,727 (2,701)	2,677 (2,641)	2,630 (2,588)	2,570 (2,521)	2,518 (2,462)	2,466 (2,408)	2,425 (2,360)
不燃ごみ (t/年)	107	105 (106)	102 (103)	98 (100)	95 (95)	92 (93)	92 (92)	89 (89)	88 (88)	86 (86)	85 (85)
粗大ごみ (t/年)	271	262 (245)	255 (216)	246 (192)	237 (160)	233 (139)	229 (137)	224 (134)	219 (131)	215 (129)	211 (127)
資源ごみ (t/年)	226	220 (221)	213 (216)	205 (214)	199 (203)	194 (201)	191 (195)	187 (191)	183 (187)	180 (183)	176 (180)
合計 (t/年)	3,716	3,604 (3,614)	3,499 (3,498)	3,373 (3,375)	3,258 (3,159)	3,196 (3,074)	3,142 (3,012)	3,070 (2,935)	3,008 (2,868)	2,947 (2,806)	2,897 (2,752)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

⑥遠賀町

遠賀町において、パターン 1、パターン 2 それぞれの目標を達成した場合、ごみ排出量の試算結果は次のとおりです。

(i)パターン 1 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの 1 人 1 日当たり排出量を組合全体で 697g/人・日に削減した場合)

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (g/人・日)	708	691 (703)	674 (698)	657 (694)	640 (689)	623 (684)	623 (684)	623 (684)	623 (684)	623 (684)	623 (684)
不燃ごみ (g/人・日)	20	20 (20)	19 (20)	19 (20)	19 (20)	18 (20)	18 (20)	18 (20)	18 (20)	18 (20)	18 (20)
粗大ごみ (g/人・日)	68	66 (62)	63 (55)	61 (49)	58 (42)	56 (36)	56 (36)	56 (36)	56 (36)	56 (36)	56 (36)
合計 (g/人・日)	796	777 (785)	756 (773)	737 (763)	717 (751)	697 (740)	697 (740)	697 (740)	697 (740)	697 (740)	697 (740)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値



(ii)パターン 2 (ごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) を組合全体で 35,216t/年以下に削減した場合)

試算の結果、遠賀町の令和 8 年度のごみ受入量 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計) は、5,331t/年となると見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	4,973	4,871 (4,892)	4,777 (4,826)	4,665 (4,727)	4,559 (4,649)	4,462 (4,574)	4,458 (4,568)	4,430 (4,540)	4,415 (4,525)	4,400 (4,509)	4,397 (4,506)
不燃ごみ (t/年)	142	140 (140)	133 (140)	132 (139)	125 (139)	127 (136)	124 (138)	123 (137)	123 (137)	123 (136)	123 (136)
粗大ごみ (t/年)	474	469 (427)	462 (385)	445 (334)	437 (291)	425 (241)	428 (242)	425 (240)	424 (239)	422 (238)	422 (238)
資源ごみ (t/年)	353	343 (343)	336 (336)	334 (320)	326 (312)	317 (304)	317 (304)	315 (302)	314 (301)	313 (300)	313 (299)
合計 (t/年)	5,942	5,823 (5,802)	5,708 (5,687)	5,576 (5,520)	5,447 (5,391)	5,331 (5,255)	5,327 (5,252)	5,293 (5,219)	5,276 (5,202)	5,258 (5,183)	5,255 (5,179)

※目標値:()内の数値は、構成市町均等な割合でごみ排出削減を行い、目標達成時のごみ排出量と将来予測値をごみ区分ごとに比較し、将来予測値が下回っていた場合は、そのごみ区分は将来予測値を目標値とした場合の参考値

4) 収集運搬量の見込み

構成市町において、ごみ排出量の削減目標を達成した場合、ごみの収集運搬量は次のとおりと見込まれます。なお、収集運搬量は、組合所管の遠賀・中間リレーセンター及び中間・遠賀リサイクルプラザにおけるごみ受入量を表すことから、3) で試算した2つのごみ排出量の目標のうち、パターン2（組合全体のごみ受入量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計）を35,216t/年以下に削減）を達成した場合のごみ排出量と同量とします。

(1) 組合全体

構成市町別の試算結果に基づき、組合全体の収集運搬量の推移を試算すると次のとおりであり、令和8年度における収集運搬量は35,079t/年と見込まれます。

区分	実績 R3	目標									
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	32,568	31,944	31,410	30,730	30,114	29,682	29,532	29,220	28,990	28,760	28,599
不燃ごみ (t/年)	969	956	939	914	895	885	883	873	868	860	856
粗大ごみ (t/年)	2,588	2,555	2,515	2,449	2,401	2,368	2,355	2,329	2,312	2,294	2,281
資源ごみ (t/年)	2,353	2,307	2,266	2,221	2,176	2,144	2,130	2,107	2,090	2,075	2,063
合計 (t/年)	38,478	37,762	37,130	36,314	35,586	35,079	34,900	34,529	34,260	33,989	33,799

(2) 中間市

目標達成時、中間市における収集運搬量の推移は次のとおりであり、令和8年度における収集運搬量は10,608t/年と見込まれます。

区分	実績 R3	目標									
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	9,858	9,685	9,542	9,362	9,193	9,106	9,067	8,973	8,905	8,836	8,789
不燃ごみ (t/年)	295	291	287	281	277	273	273	271	269	266	265
粗大ごみ (t/年)	629	625	617	591	581	581	574	568	564	560	557
資源ごみ (t/年)	701	684	675	662	651	648	643	636	631	626	623
合計 (t/年)	11,483	11,285	11,121	10,896	10,702	10,608	10,557	10,448	10,369	10,288	10,234

(3) 水巻町

目標達成時、水巻町における収集運搬量の推移は次のとおりであり、令和8年度における収集運搬量は7,434t/年と見込まれます。

区分	実績 R3	目標									
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	7,320	7,122	6,946	6,734	6,543	6,392	6,368	6,308	6,264	6,221	6,189
不燃ごみ (t/年)	193	191	189	177	174	169	173	171	170	169	168
粗大ごみ (t/年)	455	443	429	422	407	397	393	389	387	384	382
資源ごみ (t/年)	545	533	518	501	485	476	470	465	462	459	457
合計 (t/年)	8,513	8,289	8,082	7,834	7,609	7,434	7,404	7,333	7,283	7,233	7,196

(4) 岡垣町

目標達成時、岡垣町における収集運搬量の推移は次のとおりであり、令和8年度における収集運搬量は8,510t/年と見込まれます。

区分	実績 R3	目標									
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	7,305	7,249	7,216	7,145	7,092	7,045	7,009	6,939	6,888	6,837	6,799
不燃ごみ (t/年)	232	229	228	226	224	224	221	219	218	216	215
粗大ごみ (t/年)	759	756	752	745	739	732	731	723	718	713	709
資源ごみ (t/年)	528	527	524	519	515	509	509	504	500	497	494
合計 (t/年)	8,824	8,761	8,720	8,635	8,570	8,510	8,470	8,385	8,324	8,263	8,217

(5) 芦屋町

目標達成時、芦屋町における収集運搬量の推移は次のとおりであり、令和8年度における収集運搬量は3,196t/年と見込まれます。

区分	実績 R3	目標									
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	3,112	3,017	2,929	2,824	2,727	2,677	2,630	2,570	2,518	2,466	2,425
不燃ごみ (t/年)	107	105	102	98	95	92	92	89	88	86	85
粗大ごみ (t/年)	271	262	255	246	237	233	229	224	219	215	211
資源ごみ (t/年)	226	220	213	205	199	194	191	187	183	180	176
合計 (t/年)	3,716	3,604	3,499	3,373	3,258	3,196	3,142	3,070	3,008	2,947	2,897

(6) 遠賀町

目標達成時、遠賀町における収集運搬量の推移は次のとおりであり、令和8年度における収集運搬量は5,331t/年と見込まれます。

区分	実績 R3	目標									
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ (t/年)	4,973	4,871	4,777	4,665	4,559	4,462	4,458	4,430	4,415	4,400	4,397
不燃ごみ (t/年)	142	140	133	132	125	127	124	123	123	123	123
粗大ごみ (t/年)	474	469	462	445	437	425	428	425	424	422	422
資源ごみ (t/年)	353	343	336	334	326	317	317	315	314	313	313
合計 (t/年)	5,942	5,823	5,708	5,576	5,447	5,331	5,327	5,293	5,276	5,258	5,255

5) 中間処理量の見込み

構成市町において、ごみ排出量の削減目標を達成した場合、ごみの中間処理量は次のとおりと見込まれます。なお、中間処理量は、組合所管の遠賀・中間リレーセンター及び中間・遠賀リサイクルプラザへ搬入される量（ごみ受入量）とし、試算方法は以下のとおりです。

【構成市町分の試算方法】

- ①構成市町の中間処理量は、パターン2（組合全体のごみ受入量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計）を35,216t/年以下に削減）を達成した場合のごみ排出量と同量とします。
- ②構成市町の中間処理に伴う焼却発生量（粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む）は、令和3年度における中間処理量と焼却発生量の比率を維持するものとします。
各年度における中間処理量×令和3年度の焼却発生量÷令和3年度の中間処理量

【組合全体分の試算方法】

- ③組合全体の数値は、構成市町の試算結果を合算し、算出します。

(1) 組合全体

構成市町別の試算結果に基づき、組合全体の中間処理量の推移を試算すると次のとおりであり、令和8年度における中間処理量は35,079t/年、焼却発生量は31,943t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処理 量	可燃ごみ (t/年)	32,568	31,944	31,410	30,730	30,114	29,682	29,532	29,220	28,990	28,760	28,599
	不燃ごみ (t/年)	969	956	939	914	895	885	883	873	868	860	856
	粗大ごみ (t/年)	2,588	2,555	2,515	2,449	2,401	2,368	2,355	2,329	2,312	2,294	2,281
	資源ごみ (t/年)	2,353	2,307	2,266	2,221	2,176	2,144	2,130	2,107	2,090	2,075	2,063
	合計 (t/年)	38,478	37,762	37,130	36,314	35,586	35,079	34,900	34,529	34,260	33,989	33,799
焼却発生量 ^{※1,2} (t/年)		35,044	34,390	33,814	33,069	32,406	31,943	31,781	31,443	31,199	30,951	30,779

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

(2) 中間市

目標達成時、中間市における中間処理量の推移は次のとおりであり、令和8年度における中間処理量は10,608t/年、焼却発生量は9,735t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処理 量	可燃ごみ (t/年)	9,858	9,685	9,542	9,362	9,193	9,106	9,067	8,973	8,905	8,836	8,789
	不燃ごみ (t/年)	295	291	287	281	277	273	273	271	269	266	265
	粗大ごみ (t/年)	629	625	617	591	581	581	574	568	564	560	557
	資源ごみ (t/年)	701	684	675	662	651	648	643	636	631	626	623
	合計 (t/年)	11,483	11,285	11,121	10,896	10,702	10,608	10,557	10,448	10,369	10,288	10,234
焼却発生量 ^{※1,2} (t/年)		10,538	10,356	10,206	9,999	9,821	9,735	9,688	9,588	9,516	9,441	9,392

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

(3) 水巻町

目標達成時、水巻町における中間処理量の推移は次のとおりであり、令和8年度における中間処理量は7,434t/年、焼却発生量は6,820t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処理 量	可燃ごみ (t/年)	7,320	7,122	6,946	6,734	6,543	6,392	6,368	6,308	6,264	6,221	6,189
	不燃ごみ (t/年)	193	191	189	177	174	169	173	171	170	169	168
	粗大ごみ (t/年)	455	443	429	422	407	397	393	389	387	384	382
	資源ごみ (t/年)	545	533	518	501	485	476	470	465	462	459	457
	合計 (t/年)	8,513	8,289	8,082	7,834	7,609	7,434	7,404	7,333	7,283	7,233	7,196
焼却発生量 ^{※1,2} (t/年)		7,810	7,604	7,415	7,187	6,981	6,820	6,793	6,727	6,682	6,636	6,602

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

(4) 岡垣町

目標達成時、岡垣町における中間処理量の推移は次のとおりであり、令和8年度における中間処理量は8,510t/年、焼却発生量は7,663t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処理 量	可燃ごみ (t/年)	7,305	7,249	7,216	7,145	7,092	7,045	7,009	6,939	6,888	6,837	6,799
	不燃ごみ (t/年)	232	229	228	226	224	224	221	219	218	216	215
	粗大ごみ (t/年)	759	756	752	745	739	732	731	723	718	713	709
	資源ごみ (t/年)	528	527	524	519	515	509	509	504	500	497	494
	合計 (t/年)	8,824	8,761	8,720	8,635	8,570	8,510	8,470	8,385	8,324	8,263	8,217
焼却発生量 ^{※1,2} (t/年)		7,946	7,889	7,852	7,776	7,717	7,663	7,627	7,551	7,496	7,441	7,399

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

(5) 芦屋町

目標達成時、芦屋町における中間処理量の推移は次のとおりであり、令和8年度における中間処理量は3,196t/年、焼却発生量は2,896t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処理 量	可燃ごみ (t/年)	3,112	3,017	2,929	2,824	2,727	2,677	2,630	2,570	2,518	2,466	2,425
	不燃ごみ (t/年)	107	105	102	98	95	92	92	89	88	86	85
	粗大ごみ (t/年)	271	262	255	246	237	233	229	224	219	215	211
	資源ごみ (t/年)	226	220	213	205	199	194	191	187	183	180	176
	合計 (t/年)	3,716	3,604	3,499	3,373	3,258	3,196	3,142	3,070	3,008	2,947	2,897
焼却発生量※1,2 (t/年)		3,367	3,266	3,170	3,056	2,952	2,896	2,847	2,782	2,725	2,670	2,625

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

(6) 遠賀町

目標達成時、遠賀町における中間処理量の推移は次のとおりであり、令和8年度における中間処理量は5,331t/年、焼却発生量は4,829t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処理 量	可燃ごみ (t/年)	4,973	4,871	4,777	4,665	4,559	4,462	4,458	4,430	4,415	4,400	4,397
	不燃ごみ (t/年)	142	140	133	132	125	127	124	123	123	123	123
	粗大ごみ (t/年)	474	469	462	445	437	425	428	425	424	422	422
	資源ごみ (t/年)	353	343	336	334	326	317	317	315	314	313	313
	合計 (t/年)	5,942	5,823	5,708	5,576	5,447	5,331	5,327	5,293	5,276	5,258	5,255
焼却発生量※1,2 (t/年)		5,383	5,275	5,171	5,051	4,935	4,829	4,826	4,795	4,780	4,763	4,761

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

6) 再生利用量の見込み

構成市町において、2) に示す資源化の目標（令和8年度におけるリサイクル率30%以上）を達成した場合の再生利用量の推移を以下の要領で試算します。なお、再生利用量の試算にあたっては、3) に示す2つのごみ排出量の目標のうち、資源ごみを含むパターン2（組合全体のごみ受入量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計）を35,216t/年以下に削減）を達成した場合のごみ排出量を基に行うこととします。

(1) 試算手法

構成市町において、資源化の目標を達成した場合の直接資源化量＋中間処理後資源化量、集団回収量、木くず等資源化量、焼却処理後資源化量を試算します。

試算方法は以下のとおりです。

【構成市町分の試算方法】

①中間市、水巻町、岡垣町の目標値は、令和3年度のリサイクル率が令和8年度の目標値を達成していないことから、令和8年度は30%とします。

芦屋町、遠賀町については、令和3年度のリサイクル率が本計画目標値を達成していることから、令和8年度のリサイクル率は令和3年度の数値（芦屋町：35.1%、遠賀町：32.5%）を維持するものとします。また、令和8年度以降は、令和8年度時点のリサイクル率を維持するものとします。

②集団回収量は、「資料3. ごみ排出量の将来予測」に示す将来予測結果を採用します。

③木くず等資源化量は令和3年度の実績値を採用します。

④焼却処理後資源化量は、5) に示す焼却発生量に対して、令和3年度の焼却発生量と焼却処理後資源化量の割合が維持されるものとします。

各年度における焼却発生量×令和3年度の焼却資源化量÷令和3年度の焼却発生量

⑤令和8～13年度における再生利用量は以下の式により算出します。

$(\text{ごみ総排出量} + \text{木くず等資源化量}) \times 0.3 \sim 0.351$

⑥令和8～13年度の直接資源化量＋中間処理後資源化量は、前述の⑤から②～④を差し引きした値とし、令和4年度～令和7年度は令和3年度及び令和8年度の比例按分とします。

【組合全体分の試算方法】

⑦組合全体の数値は、構成市町の試算結果を合算し、算出します。

(2) 試算結果

令和8年度におけるリサイクル率30%以上を達成した場合の試算結果を表4-7に示します。また、構成市町の試算結果を次ページ以降に示します。

表4-7 再生利用量の試算結果（目標達成時）

市町名	令和8年度における 再生利用量（t/年）				
	直接資源化量 ＋ 中間処理後資源化量	集団回収量	木くず等 資源化量	焼却処理後 資源化量	合計
中間市	1,255	783	956	710	3,704
水巻町	901	376	811	498	2,586
岡垣町	1,081	601	704	559	2,945
芦屋町	249	165	855	211	1,480
遠賀町	403	324	1,123	353	2,203
組合全体	3,889	2,249	4,449	2,331	12,918

①組合全体

構成市町の試算結果に基づき組合全体における再生利用量の推移を試算すると、次のとおりと見込まれます。資源化目標（令和8年度におけるリサイクル率30%以上）を達成した場合、焼却処理後資源化量を除く直接資源化＋中間処理後資源化量、集団回収量及び木くず等資源化量の小計は10,587t/年、焼却処理後資源化量を含む再生利用量は12,918t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量（t/年）		45,450	44,667	43,984	43,102	42,317	41,777	41,561	41,145	40,844	40,546	40,329
資源化量	直接資源化 ＋ 中間処理後資源化（t/年）	3,311	3,426	3,541	3,659	3,774	3,889	3,870	3,808	3,764	3,716	3,703
	集団回収（t/年）	2,523	2,456	2,405	2,339	2,282	2,249	2,212	2,167	2,135	2,108	2,081
	木くず等資源化（t/年）	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449
	小計（t/年）	10,283	10,331	10,395	10,447	10,505	10,587	10,531	10,424	10,348	10,273	10,233
焼却処理後資源化（t/年）		2,557	2,510	2,468	2,414	2,364	2,331	2,319	2,294	2,276	2,258	2,246
再生利用量（t/年）		12,840	12,841	12,863	12,861	12,869	12,918	12,850	12,718	12,624	12,531	12,479
リサイクル率（%）		28.3	28.7	29.2	29.8	30.4	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9

※リサイクル率＝再生利用量÷（ごみ総排出量＋木くず等資源化量）×100

②中間市

中間市における再生利用量の推移は次のとおりと見込まれます。資源化目標（令和8年度におけるリサイクル率30%以上）を達成した場合、焼却処理後資源化量を除く直接資源化＋中間処理後資源化量、集団回収量及び木くず等資源化量の小計は2,994t/年、焼却処理後資源化量を含む再生利用量は3,704t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量（t/年）		13,278	13,070	12,895	12,654	12,447	12,347	12,293	12,176	12,090	12,004	11,945
資源化量	直接資源化 ＋ 中間処理後資源化（t/年）	954	1,014	1,074	1,135	1,195	1,255	1,245	1,225	1,212	1,196	1,188
	集団回収（t/年）	839	829	818	802	789	783	780	772	765	760	755
	木くず等資源化（t/年）	956	956	956	956	956	956	956	956	956	956	956
	小計（t/年）	2,749	2,799	2,848	2,893	2,940	2,994	2,981	2,953	2,933	2,912	2,899
焼却処理後資源化（t/年）		769	756	745	730	717	710	707	700	694	689	685
再生利用量（t/年）		3,518	3,555	3,593	3,623	3,657	3,704	3,688	3,653	3,627	3,601	3,584
リサイクル率（%）		26.5	27.2	27.9	28.6	29.4	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※リサイクル率＝再生利用量÷（ごみ総排出量＋木くず等資源化量）×100

③水巻町

水巻町における再生利用量の推移は次のとおりと見込まれます。資源化目標（令和8年度におけるリサイクル率30%以上）を達成した場合、焼却処理後資源化量を除く直接資源化＋中間処理後資源化量、集団回収量及び木くず等資源化量の小計は 2,088t/年、焼却処理後資源化量を含む再生利用量は 2,586t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量 (t/年)		9,719	9,492	9,282	9,028	8,798	8,621	8,589	8,514	8,462	8,409	8,370
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化 (t/年)	735	768	801	835	868	901	896	882	872	863	855
	集団回収 (t/年)	395	392	389	383	378	376	374	370	368	365	363
	木くず等資源化 (t/年)	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811
	小計 (t/年)	1,941	1,971	2,001	2,029	2,057	2,088	2,081	2,063	2,051	2,039	2,029
焼却処理後資源化 (t/年)		570	555	541	525	509	498	496	491	488	484	482
再生利用量 (t/年)		2,511	2,526	2,542	2,554	2,566	2,586	2,577	2,554	2,539	2,523	2,511
リサイクル率 (%)		25.8	26.6	27.4	28.3	29.2	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※リサイクル率＝再生利用量÷（ごみ総排出量＋木くず等資源化量）×100

④岡垣町

岡垣町における再生利用量の推移は次のとおりと見込まれます。資源化目標（令和8年度におけるリサイクル率30%以上）を達成した場合、焼却処理後資源化量を除く直接資源化＋中間処理後資源化量、集団回収量及び木くず等資源化量の小計は 2,386t/年、焼却処理後資源化量を含む再生利用量は 2,945t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量 (t/年)		10,155	10,083	10,040	9,949	9,879	9,815	9,772	9,681	9,616	9,550	9,501
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化 (t/年)	777	838	899	959	1,020	1,081	1,073	1,057	1,046	1,035	1,035
	集団回収 (t/年)	627	618	616	610	605	601	598	592	588	583	580
	木くず等資源化 (t/年)	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704
	小計 (t/年)	2,108	2,160	2,219	2,273	2,329	2,386	2,375	2,353	2,338	2,322	2,310
焼却処理後資源化 (t/年)		580	576	573	568	563	559	557	551	547	543	540
再生利用量 (t/年)		2,688	2,736	2,792	2,841	2,892	2,945	2,932	2,904	2,885	2,865	2,850
リサイクル率 (%)		26.5	27.1	27.8	28.6	29.3	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※リサイクル率＝再生利用量÷（ごみ総排出量＋木くず等資源化量）×100

⑤芦屋町

芦屋町における再生利用量の推移は次のとおりと見込まれます。資源化目標（令和８年度におけるリサイクル率 35.1％）を達成した場合、焼却処理後資源化量を除く直接資源化＋中間処理後資源化量、集団回収量及び木くず等資源化量の小計は 1,269t/年、焼却処理後資源化量を含む再生利用量は 1,480t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量（t/年）		4,832	4,698	4,572	4,425	4,290	4,216	4,147	4,063	3,990	3,923	3,863
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化（t/年）	333	316	299	283	266	249	244	231	220	207	207
	集団回収（t/年）	261	239	218	197	177	165	150	138	127	121	111
	木くず等資源化（t/年）	855	855	855	855	855	855	855	855	855	855	855
	小計（t/年）	1,449	1,410	1,372	1,335	1,298	1,269	1,249	1,224	1,202	1,183	1,165
焼却処理後資源化（t/年）		245	238	231	222	215	211	207	202	198	194	191
再生利用量（t/年）		1,694	1,648	1,603	1,557	1,513	1,480	1,456	1,426	1,400	1,377	1,356
リサイクル率（％）		35.1	35.1	35.1	35.2	35.3	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1

※リサイクル率＝再生利用量÷（ごみ総排出量＋木くず等資源化量）×100

⑥遠賀町

遠賀町における再生利用量の推移は次のとおりと見込まれます。資源化目標（令和８年度におけるリサイクル率 32.5％）を達成した場合、焼却処理後資源化量を除く直接資源化＋中間処理後資源化量、集団回収量及び木くず等処理量の小計は 1,850/年、焼却処理後資源化量を含む再生利用量は 2,203t/年と見込まれます。

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量（t/年）		7,466	7,324	7,195	7,046	6,903	6,778	6,760	6,711	6,686	6,660	6,650
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化（t/年）	512	490	468	447	425	403	412	413	414	415	418
	集団回収（t/年）	401	378	364	347	333	324	310	295	287	279	272
	木くず等資源化（t/年）	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123
	小計（t/年）	2,036	1,991	1,955	1,917	1,881	1,850	1,845	1,831	1,824	1,817	1,813
焼却処理後資源化（t/年）		393	385	378	369	360	353	352	350	349	348	348
再生利用量（t/年）		2,429	2,376	2,333	2,286	2,241	2,203	2,197	2,181	2,173	2,165	2,161
リサイクル率（％）		32.5	32.4	32.4	32.4	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5

※リサイクル率＝再生利用量÷（ごみ総排出量＋木くず等資源化量）×100

7) 最終処分量の見込み

構成市町において、前項までに示すごみ排出量及び資源化量の推移に基づき、中間処理により発生する残渣等の最終処分量の推移を試算すると、次のとおりと見込まれます。

なお、試算にあたっては、3) に示す2つのごみ排出量の目標のうち、パターン2（組合全体のごみ受入量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの合計）を35,216t/年以下に削減）を達成した場合のごみ排出量を基に行うこととし、以下の試算方法で算出します。

【構成市町分の試算方法】

①最終処分量のうち、直接埋立は現在行っていないことから、直接埋立量は0tとします。

②焼却残渣量は、令和3年度の焼却発生量と焼却残渣量の比率を維持するものとします。

各年度における焼却発生量×令和3年度の焼却残渣量÷令和3年度の焼却発生量

③中間処理残渣量は、令和3年度の中間処理量と中間処理残渣量の比率を維持するものとします。

各年度における中間処理量×令和3年度の中間処理残渣量÷令和3年度の中間処理量

④前述の①～③の合計を最終処分量とし、最終処分率を以下の式で算出します。

最終処分量÷ごみ総排出量×100

【組合全体分の試算方法】

⑤組合全体の数値は、構成市町の試算結果を合算し、算出します。

(1) 組合全体

構成市町の試算結果に基づく、組合全体の令和8年度における最終処分量は4,907t/年と見込まれます。このうち、焼却残渣は3,793t/年、中間処理残渣は1,114t/年と見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)	41,001	40,218	39,535	38,653	37,868	37,328	37,112	36,696	36,395	36,097	35,880
直接埋立 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)	4,162	4,084	4,017	3,928	3,849	3,793	3,774	3,734	3,706	3,676	3,655
中間処理残渣 (t/年)	1,222	1,199	1,179	1,153	1,130	1,114	1,108	1,097	1,088	1,079	1,073
最終処分量 計 (t/年)	5,384	5,283	5,196	5,081	4,979	4,907	4,882	4,831	4,794	4,755	4,728
最終処分率 (%)	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(2) 中間市

ごみ排出量の削減目標及び資源化目標を達成した場合、中間市の令和8年度における最終処分量は1,496t/年と見込まれます。このうち、焼却残渣は1,156t/年、中間処理残渣は340t/年と見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)	12,322	12,114	11,939	11,698	11,491	11,391	11,337	11,220	11,134	11,048	10,989
直接埋立 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)	1,251	1,229	1,212	1,187	1,166	1,156	1,150	1,138	1,130	1,121	1,115
中間処理残渣 (t/年)	368	362	356	349	343	340	338	335	332	330	328
最終処分量 計 (t/年)	1,619	1,591	1,568	1,536	1,509	1,496	1,488	1,473	1,462	1,451	1,443
最終処分率 (%)	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(3) 水巻町

ごみ排出量の削減目標及び資源化目標を達成した場合、水巻町の令和8年度における最終処分量は1,036t/年と見込まれます。このうち、焼却残渣は810t/年、中間処理残渣は226t/年と見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)	8,908	8,681	8,471	8,217	7,987	7,810	7,778	7,703	7,651	7,598	7,559
直接埋立 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)	928	904	881	854	829	810	807	799	794	789	784
中間処理残渣 (t/年)	259	252	246	238	231	226	225	223	222	220	219
最終処分量 計 (t/年)	1,187	1,156	1,127	1,092	1,060	1,036	1,032	1,022	1,016	1,009	1,003
最終処分率 (%)	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(4) 岡垣町

ごみ排出量の削減目標及び資源化目標を達成した場合、岡垣町の令和8年度における最終処分量は1,185t/年と見込まれます。このうち、焼却残渣は910t/年、中間処理残渣は275t/年と見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)	9,451	9,379	9,336	9,245	9,175	9,111	9,068	8,977	8,912	8,846	8,797
直接埋立 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)	944	937	933	924	917	910	906	897	891	884	879
中間処理残渣 (t/年)	285	283	282	279	277	275	274	271	269	267	265
最終処分量 計 (t/年)	1,229	1,220	1,215	1,203	1,194	1,185	1,180	1,168	1,160	1,151	1,144
最終処分率 (%)	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(5) 芦屋町

ごみ排出量の削減目標及び資源化目標を達成した場合、芦屋町の令和8年度における最終処分量は455t/年と見込まれます。このうち、焼却残渣は344t/年、中間処理残渣は111t/年と見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)	3,977	3,843	3,717	3,570	3,435	3,361	3,292	3,208	3,135	3,068	3,008
直接埋立 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)	400	388	377	363	351	344	338	331	324	317	312
中間処理残渣 (t/年)	129	125	121	117	113	111	109	107	104	102	101
最終処分量 計 (t/年)	529	513	498	480	464	455	447	438	428	419	413
最終処分率 (%)	13.3	13.3	13.4	13.4	13.5	13.5	13.6	13.7	13.7	13.7	13.7

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(6) 遠賀町

ごみ排出量の削減目標及び資源化目標を達成した場合、遠賀町の令和8年度における最終処分量は735t/年と見込まれます。このうち、焼却残渣は573t/年、中間処理残渣は162t/年と見込まれます。

区分	実績	目標									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)	6,343	6,201	6,072	5,923	5,780	5,655	5,637	5,588	5,563	5,537	5,527
直接埋立 (t/年)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)	639	626	614	600	586	573	573	569	567	565	565
中間処理残渣 (t/年)	181	177	174	170	166	162	162	161	161	160	160
最終処分量 計 (t/年)	820	803	788	770	752	735	735	730	728	725	725
最終処分率 (%)	12.9	12.9	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.1	13.1	13.1	13.1

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

8) 目標達成時のごみ排出量等のまとめ

構成市町において、数値目標を達成した場合の令和8年度におけるごみ排出量（集団回収を含む）、収集運搬量、中間処理量、資源化量、最終処分量をまとめると、次のとおりです。

(1) 組合全体

①ごみ排出量（集団回収を含む）

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	32,568	31,944	31,410	30,730	30,114	29,682	29,532	29,220	28,990	28,760	28,599
不燃ごみ	(t/年)	969	956	939	914	895	885	883	873	868	860	856
粗大ごみ	(t/年)	2,588	2,555	2,515	2,449	2,401	2,368	2,355	2,329	2,312	2,294	2,281
資源ごみ	(t/年)	2,353	2,307	2,266	2,221	2,176	2,144	2,130	2,107	2,090	2,075	2,063
集団回収	(t/年)	2,523	2,456	2,405	2,339	2,282	2,249	2,212	2,167	2,135	2,108	2,081
合計	(t/年)	41,001	40,218	39,535	38,653	37,868	37,328	37,112	36,696	36,395	36,097	35,880

②収集運搬量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	32,568	31,944	31,410	30,730	30,114	29,682	29,532	29,220	28,990	28,760	28,599
不燃ごみ	(t/年)	969	956	939	914	895	885	883	873	868	860	856
粗大ごみ	(t/年)	2,588	2,555	2,515	2,449	2,401	2,368	2,355	2,329	2,312	2,294	2,281
資源ごみ	(t/年)	2,353	2,307	2,266	2,221	2,176	2,144	2,130	2,107	2,090	2,075	2,063
合計	(t/年)	38,478	37,762	37,130	36,314	35,586	35,079	34,900	34,529	34,260	33,989	33,799

③中間処理量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処 理 量	可燃ごみ (t/年)	32,568	31,944	31,410	30,730	30,114	29,682	29,532	29,220	28,990	28,760	28,599
	不燃ごみ (t/年)	969	956	939	914	895	885	883	873	868	860	856
	粗大ごみ (t/年)	2,588	2,555	2,515	2,449	2,401	2,368	2,355	2,329	2,312	2,294	2,281
	資源ごみ (t/年)	2,353	2,307	2,266	2,221	2,176	2,144	2,130	2,107	2,090	2,075	2,063
	合計 (t/年)	38,478	37,762	37,130	36,314	35,586	35,079	34,900	34,529	34,260	33,989	33,799
焼却発生量※1,2 (t/年)		35,044	34,390	33,814	33,069	32,406	31,943	31,781	31,443	31,199	30,951	30,779

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

④資源化量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量 (t/年)		45,450	44,667	43,984	43,102	42,317	41,777	41,561	41,145	40,844	40,546	40,329
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化 (t/年)	3,311	3,426	3,541	3,659	3,774	3,889	3,870	3,808	3,764	3,716	3,703
	集団回収 (t/年)	2,523	2,456	2,405	2,339	2,282	2,249	2,212	2,167	2,135	2,108	2,081
	木くず等資源化 (t/年)	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449	4,449
小計 (t/年)		10,283	10,331	10,395	10,447	10,505	10,587	10,531	10,424	10,348	10,273	10,233
焼却処理後資源化 (t/年)		2,557	2,510	2,468	2,414	2,364	2,331	2,319	2,294	2,276	2,258	2,246
再生利用量 (t/年)		12,840	12,841	12,863	12,861	12,869	12,918	12,850	12,718	12,624	12,531	12,479
リサイクル率 (%)		28.3	28.7	29.2	29.8	30.4	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9

※リサイクル率＝再生利用量÷(ごみ総排出量+木くず等資源化量)×100

⑤最終処分量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)		41,001	40,218	39,535	38,653	37,868	37,328	37,112	36,696	36,395	36,097	35,880
直接埋立 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)		4,162	4,084	4,017	3,928	3,849	3,793	3,774	3,734	3,706	3,676	3,655
中間処理残渣 (t/年)		1,222	1,199	1,179	1,153	1,130	1,114	1,108	1,097	1,088	1,079	1,073
最終処分量 計 (t/年)		5,384	5,283	5,196	5,081	4,979	4,907	4,882	4,831	4,794	4,755	4,728
最終処分率 (%)		13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(2) 中間市

①ごみ排出量（集団回収を含む）

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	9,858	9,685	9,542	9,362	9,193	9,106	9,067	8,973	8,905	8,836	8,789
不燃ごみ	(t/年)	295	291	287	281	277	273	273	271	269	266	265
粗大ごみ	(t/年)	629	625	617	591	581	581	574	568	564	560	557
資源ごみ	(t/年)	701	684	675	662	651	648	643	636	631	626	623
集団回収	(t/年)	839	829	818	802	789	783	780	772	765	760	755
合計	(t/年)	12,322	12,114	11,939	11,698	11,491	11,391	11,337	11,220	11,134	11,048	10,989

②収集運搬量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	9,858	9,685	9,542	9,362	9,193	9,106	9,067	8,973	8,905	8,836	8,789
不燃ごみ	(t/年)	295	291	287	281	277	273	273	271	269	266	265
粗大ごみ	(t/年)	629	625	617	591	581	581	574	568	564	560	557
資源ごみ	(t/年)	701	684	675	662	651	648	643	636	631	626	623
合計	(t/年)	11,483	11,285	11,121	10,896	10,702	10,608	10,557	10,448	10,369	10,288	10,234

③中間処理量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処理 量	可燃ごみ (t/年)	9,858	9,685	9,542	9,362	9,193	9,106	9,067	8,973	8,905	8,836	8,789
	不燃ごみ (t/年)	295	291	287	281	277	273	273	271	269	266	265
	粗大ごみ (t/年)	629	625	617	591	581	581	574	568	564	560	557
	資源ごみ (t/年)	701	684	675	662	651	648	643	636	631	626	623
	合計 (t/年)	11,483	11,285	11,121	10,896	10,702	10,608	10,557	10,448	10,369	10,288	10,234
焼却発生量 ^{※1,2} (t/年)		10,538	10,356	10,206	9,999	9,821	9,735	9,688	9,588	9,516	9,441	9,392

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×（R3焼却発生量÷R3中間処理量合計）

④資源化量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量 (t/年)		13,278	13,070	12,895	12,654	12,447	12,347	12,293	12,176	12,090	12,004	11,945
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化 (t/年)	954	1,014	1,074	1,135	1,195	1,255	1,245	1,225	1,212	1,196	1,188
	集団回収 (t/年)	839	829	818	802	789	783	780	772	765	760	755
	木くず等資源化 (t/年)	956	956	956	956	956	956	956	956	956	956	956
小計 (t/年)		2,749	2,799	2,848	2,893	2,940	2,994	2,981	2,953	2,933	2,912	2,899
焼却処理後資源化 (t/年)		769	756	745	730	717	710	707	700	694	689	685
再生利用量 (t/年)		3,518	3,555	3,593	3,623	3,657	3,704	3,688	3,653	3,627	3,601	3,584
リサイクル率 (%)		26.5	27.2	27.9	28.6	29.4	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※リサイクル率=再生利用量÷(ごみ総排出量+木くず等資源化量)×100

⑤最終処分量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)		12,322	12,114	11,939	11,698	11,491	11,391	11,337	11,220	11,134	11,048	10,989
直接埋立 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)		1,251	1,229	1,212	1,187	1,166	1,156	1,150	1,138	1,130	1,121	1,115
中間処理残渣 (t/年)		368	362	356	349	343	340	338	335	332	330	328
最終処分量 計 (t/年)		1,619	1,591	1,568	1,536	1,509	1,496	1,488	1,473	1,462	1,451	1,443
最終処分率 (%)		13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1

※最終処分率=最終処分量÷ごみ総排出量×100

(3) 水巻町

①ごみ排出量（集団回収を含む）

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	7,320	7,122	6,946	6,734	6,543	6,392	6,368	6,308	6,264	6,221	6,189
不燃ごみ	(t/年)	193	191	189	177	174	169	173	171	170	169	168
粗大ごみ	(t/年)	455	443	429	422	407	397	393	389	387	384	382
資源ごみ	(t/年)	545	533	518	501	485	476	470	465	462	459	457
集団回収	(t/年)	395	392	389	383	378	376	374	370	368	365	363
合計	(t/年)	8,908	8,681	8,471	8,217	7,987	7,810	7,778	7,703	7,651	7,598	7,559

②収集運搬量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	7,320	7,122	6,946	6,734	6,543	6,392	6,368	6,308	6,264	6,221	6,189
不燃ごみ	(t/年)	193	191	189	177	174	169	173	171	170	169	168
粗大ごみ	(t/年)	455	443	429	422	407	397	393	389	387	384	382
資源ごみ	(t/年)	545	533	518	501	485	476	470	465	462	459	457
合計	(t/年)	8,513	8,289	8,082	7,834	7,609	7,434	7,404	7,333	7,283	7,233	7,196

③中間処理量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間処理量	可燃ごみ (t/年)	7,320	7,122	6,946	6,734	6,543	6,392	6,368	6,308	6,264	6,221	6,189
	不燃ごみ (t/年)	193	191	189	177	174	169	173	171	170	169	168
	粗大ごみ (t/年)	455	443	429	422	407	397	393	389	387	384	382
	資源ごみ (t/年)	545	533	518	501	485	476	470	465	462	459	457
	合計 (t/年)	8,513	8,289	8,082	7,834	7,609	7,434	7,404	7,333	7,283	7,233	7,196
焼却発生量※1,2 (t/年)		7,810	7,604	7,415	7,187	6,981	6,820	6,793	6,727	6,682	6,636	6,602

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

④資源化量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量 (t/年)		9,719	9,492	9,282	9,028	8,798	8,621	8,589	8,514	8,462	8,409	8,370
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化 (t/年)	735	768	801	835	868	901	896	882	872	863	855
	集団回収 (t/年)	395	392	389	383	378	376	374	370	368	365	363
	木くず等資源化 (t/年)	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811	811
	小計 (t/年)	1,941	1,971	2,001	2,029	2,057	2,088	2,081	2,063	2,051	2,039	2,029
焼却処理後資源化 (t/年)		570	555	541	525	509	498	496	491	488	484	482
再生利用量 (t/年)		2,511	2,526	2,542	2,554	2,566	2,586	2,577	2,554	2,539	2,523	2,511
リサイクル率 (%)		25.8	26.6	27.4	28.3	29.2	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※リサイクル率＝再生利用量÷(ごみ総排出量+木くず等資源化量)×100

⑤最終処分量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)		8,908	8,681	8,471	8,217	7,987	7,810	7,778	7,703	7,651	7,598	7,559
直接埋立 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)		928	904	881	854	829	810	807	799	794	789	784
中間処理残渣 (t/年)		259	252	246	238	231	226	225	223	222	220	219
最終処分量 計 (t/年)		1,187	1,156	1,127	1,092	1,060	1,036	1,032	1,022	1,016	1,009	1,003
最終処分率 (%)		13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(4) 岡垣町

①ごみ排出量（集団回収を含む）

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	7,305	7,249	7,216	7,145	7,092	7,045	7,009	6,939	6,888	6,837	6,799
不燃ごみ	(t/年)	232	229	228	226	224	224	221	219	218	216	215
粗大ごみ	(t/年)	759	756	752	745	739	732	731	723	718	713	709
資源ごみ	(t/年)	528	527	524	519	515	509	509	504	500	497	494
集団回収	(t/年)	627	618	616	610	605	601	598	592	588	583	580
合計	(t/年)	9,451	9,379	9,336	9,245	9,175	9,111	9,068	8,977	8,912	8,846	8,797

②収集運搬量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	7,305	7,249	7,216	7,145	7,092	7,045	7,009	6,939	6,888	6,837	6,799
不燃ごみ	(t/年)	232	229	228	226	224	224	221	219	218	216	215
粗大ごみ	(t/年)	759	756	752	745	739	732	731	723	718	713	709
資源ごみ	(t/年)	528	527	524	519	515	509	509	504	500	497	494
合計	(t/年)	8,824	8,761	8,720	8,635	8,570	8,510	8,470	8,385	8,324	8,263	8,217

③中間処理量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間処理量	可燃ごみ (t/年)	7,305	7,249	7,216	7,145	7,092	7,045	7,009	6,939	6,888	6,837	6,799
	不燃ごみ (t/年)	232	229	228	226	224	224	221	219	218	216	215
	粗大ごみ (t/年)	759	756	752	745	739	732	731	723	718	713	709
	資源ごみ (t/年)	528	527	524	519	515	509	509	504	500	497	494
	合計 (t/年)	8,824	8,761	8,720	8,635	8,570	8,510	8,470	8,385	8,324	8,263	8,217
焼却発生量※1,2 (t/年)		7,946	7,889	7,852	7,776	7,717	7,663	7,627	7,551	7,496	7,441	7,399

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

④資源化量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量 (t/年)		10,155	10,083	10,040	9,949	9,879	9,815	9,772	9,681	9,616	9,550	9,501
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化 (t/年)	777	838	899	959	1,020	1,081	1,073	1,057	1,046	1,035	1,035
	集団回収 (t/年)	627	618	616	610	605	601	598	592	588	583	580
	木くず等資源化 (t/年)	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704	704
	小計 (t/年)	2,108	2,160	2,219	2,273	2,329	2,386	2,375	2,353	2,338	2,322	2,310
焼却処理後資源化 (t/年)		580	576	573	568	563	559	557	551	547	543	540
再生利用量 (t/年)		2,688	2,736	2,792	2,841	2,892	2,945	2,932	2,904	2,885	2,865	2,850
リサイクル率 (%)		26.5	27.1	27.8	28.6	29.3	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※リサイクル率＝再生利用量÷(ごみ総排出量+木くず等資源化量)×100

⑤最終処分量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)		9,451	9,379	9,336	9,245	9,175	9,111	9,068	8,977	8,912	8,846	8,797
直接埋立 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)		944	937	933	924	917	910	906	897	891	884	879
中間処理残渣 (t/年)		285	283	282	279	277	275	274	271	269	267	265
最終処分量 計 (t/年)		1,229	1,220	1,215	1,203	1,194	1,185	1,180	1,168	1,160	1,151	1,144
最終処分率 (%)		13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(5) 芦屋町

①ごみ排出量（集団回収を含む）

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	3,112	3,017	2,929	2,824	2,727	2,677	2,630	2,570	2,518	2,466	2,425
不燃ごみ	(t/年)	107	105	102	98	95	92	92	89	88	86	85
粗大ごみ	(t/年)	271	262	255	246	237	233	229	224	219	215	211
資源ごみ	(t/年)	226	220	213	205	199	194	191	187	183	180	176
集団回収	(t/年)	261	239	218	197	177	165	150	138	127	121	111
合計	(t/年)	3,977	3,843	3,717	3,570	3,435	3,361	3,292	3,208	3,135	3,068	3,008

②収集運搬量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	3,112	3,017	2,929	2,824	2,727	2,677	2,630	2,570	2,518	2,466	2,425
不燃ごみ	(t/年)	107	105	102	98	95	92	92	89	88	86	85
粗大ごみ	(t/年)	271	262	255	246	237	233	229	224	219	215	211
資源ごみ	(t/年)	226	220	213	205	199	194	191	187	183	180	176
合計	(t/年)	3,716	3,604	3,499	3,373	3,258	3,196	3,142	3,070	3,008	2,947	2,897

③中間処理量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間 処 理 量	可燃ごみ (t/年)	3,112	3,017	2,929	2,824	2,727	2,677	2,630	2,570	2,518	2,466	2,425
	不燃ごみ (t/年)	107	105	102	98	95	92	92	89	88	86	85
	粗大ごみ (t/年)	271	262	255	246	237	233	229	224	219	215	211
	資源ごみ (t/年)	226	220	213	205	199	194	191	187	183	180	176
	合計 (t/年)	3,716	3,604	3,499	3,373	3,258	3,196	3,142	3,070	3,008	2,947	2,897
焼却発生量 ^{※1,2} (t/年)		3,367	3,266	3,170	3,056	2,952	2,896	2,847	2,782	2,725	2,670	2,625

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×（R3焼却発生量÷R3中間処理量合計）

④資源化量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量 (t/年)		4,832	4,698	4,572	4,425	4,290	4,216	4,147	4,063	3,990	3,923	3,863
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化 (t/年)	333	316	299	283	266	249	244	231	220	207	207
	集団回収 (t/年)	261	239	218	197	177	165	150	138	127	121	111
	木くず等資源化 (t/年)	855	855	855	855	855	855	855	855	855	855	855
	小計 (t/年)	1,449	1,410	1,372	1,335	1,298	1,269	1,249	1,224	1,202	1,183	1,165
焼却処理後資源化 (t/年)		245	238	231	222	215	211	207	202	198	194	191
再生利用量 (t/年)		1,694	1,648	1,603	1,557	1,513	1,480	1,456	1,426	1,400	1,377	1,356
リサイクル率 (%)		35.1	35.1	35.1	35.2	35.3	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1	35.1

※リサイクル率＝再生利用量÷(ごみ総排出量+木くず等資源化量)×100

⑤最終処分量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)		3,977	3,843	3,717	3,570	3,435	3,361	3,292	3,208	3,135	3,068	3,008
直接埋立 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)		400	388	377	363	351	344	338	331	324	317	312
中間処理残渣 (t/年)		129	125	121	117	113	111	109	107	104	102	101
最終処分量 計 (t/年)		529	513	498	480	464	455	447	438	428	419	413
最終処分率 (%)		13.3	13.3	13.4	13.4	13.5	13.5	13.6	13.7	13.7	13.7	13.7

※最終処分率＝最終処分量÷ごみ総排出量×100

(6) 遠賀町

①ごみ排出量（集団回収を含む）

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	4,973	4,871	4,777	4,665	4,559	4,462	4,458	4,430	4,415	4,400	4,397
不燃ごみ	(t/年)	142	140	133	132	125	127	124	123	123	123	123
粗大ごみ	(t/年)	474	469	462	445	437	425	428	425	424	422	422
資源ごみ	(t/年)	353	343	336	334	326	317	317	315	314	313	313
集団回収	(t/年)	401	378	364	347	333	324	310	295	287	279	272
合計	(t/年)	6,343	6,201	6,072	5,923	5,780	5,655	5,637	5,588	5,563	5,537	5,527

②収集運搬量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
可燃ごみ	(t/年)	4,973	4,871	4,777	4,665	4,559	4,462	4,458	4,430	4,415	4,400	4,397
不燃ごみ	(t/年)	142	140	133	132	125	127	124	123	123	123	123
粗大ごみ	(t/年)	474	469	462	445	437	425	428	425	424	422	422
資源ごみ	(t/年)	353	343	336	334	326	317	317	315	314	313	313
合計	(t/年)	5,942	5,823	5,708	5,576	5,447	5,331	5,327	5,293	5,276	5,258	5,255

③中間処理量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
中間処理量	可燃ごみ (t/年)	4,973	4,871	4,777	4,665	4,559	4,462	4,458	4,430	4,415	4,400	4,397
	不燃ごみ (t/年)	142	140	133	132	125	127	124	123	123	123	123
	粗大ごみ (t/年)	474	469	462	445	437	425	428	425	424	422	422
	資源ごみ (t/年)	353	343	336	334	326	317	317	315	314	313	313
	合計 (t/年)	5,942	5,823	5,708	5,576	5,447	5,331	5,327	5,293	5,276	5,258	5,255
焼却発生量 ^{※1,2} (t/年)		5,383	5,275	5,171	5,051	4,935	4,829	4,826	4,795	4,780	4,763	4,761

※1 粗大ごみ等の中間処理により発生した可燃残渣を含む。

※2 目標年度の焼却発生量＝目標年度の中間処理量合計×(R3焼却発生量÷R3中間処理量合計)

④資源化量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量+木くず等資源化量 (t/年)		7,466	7,324	7,195	7,046	6,903	6,778	6,760	6,711	6,686	6,660	6,650
資源化量	直接資源化 + 中間処理後資源化 (t/年)	512	490	468	447	425	403	412	413	414	415	418
	集団回収 (t/年)	401	378	364	347	333	324	310	295	287	279	272
	木くず等資源化 (t/年)	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123	1,123
小計 (t/年)		2,036	1,991	1,955	1,917	1,881	1,850	1,845	1,831	1,824	1,817	1,813
焼却処理後資源化 (t/年)		393	385	378	369	360	353	352	350	349	348	348
再生利用量 (t/年)		2,429	2,376	2,333	2,286	2,241	2,203	2,197	2,181	2,173	2,165	2,161
リサイクル率 (%)		32.5	32.4	32.4	32.4	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5

※リサイクル率=再生利用量÷(ごみ総排出量+木くず等資源化量)×100

⑤最終処分量

区分		実績	目標									
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
ごみ総排出量 (t/年)		6,343	6,201	6,072	5,923	5,780	5,655	5,637	5,588	5,563	5,537	5,527
直接埋立 (t/年)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却残渣 (t/年)		639	626	614	600	586	573	573	569	567	565	565
中間処理残渣 (t/年)		181	177	174	170	166	162	162	161	161	160	160
最終処分量 計 (t/年)		820	803	788	770	752	735	735	730	728	725	725
最終処分率 (%)		12.9	12.9	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.1	13.1	13.1	13.1

※最終処分率=最終処分量÷ごみ総排出量×100